

大学番号：045

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

名古屋大学 工学部

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人名古屋大学  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 カチョウ クマガイ カナコ  
課長・熊谷 果奈子

電話番号 052-789-5758

（夜間） 同上

F A X 052-747-6500

e-mail sougoukikakusitu1@adm.nagoya-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 工学部

＜化学生命工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	32
6. 附帯事項等に対する履行状況等	59
7. その他全般的事項	60

＜物理工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	63
2. 授業科目の概要	68
3. 施設・設備の整備状況、経費	81
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	82
5. 教員組織の状況	90
6. 附帯事項等に対する履行状況等	127
7. その他全般的事項	128

＜マテリアル工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	132
2. 授業科目の概要	137
3. 施設・設備の整備状況、経費	151
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	152
5. 教員組織の状況	160
6. 附帯事項等に対する履行状況等	206
7. その他全般的事項	207

<電気電子情報工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	211
2. 授業科目の概要	216
3. 施設・設備の整備状況、経費	230
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	231
5. 教員組織の状況	239
6. 附帯事項等に対する履行状況等	283
7. その他全般的事項	284

<機械・航空宇宙工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	288
2. 授業科目の概要	293
3. 施設・設備の整備状況、経費	307
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	308
5. 教員組織の状況	316
6. 附帯事項等に対する履行状況等	356
7. その他全般的事項	357

<エネルギー理工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	361
2. 授業科目の概要	366
3. 施設・設備の整備状況、経費	379
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	381
5. 教員組織の状況	389
6. 附帯事項等に対する履行状況等	421
7. その他全般的事項	422

<環境土木・建築学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	426
2. 授業科目の概要	431
3. 施設・設備の整備状況、経費	449
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	451
5. 教員組織の状況	459
6. 附帯事項等に対する履行状況等	508
7. その他全般的事項	509

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

## (2) 大学名 名古屋大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601  
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

学部長	(ニイミ トモヒデ) 新美智秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水谷法美 (平成30年1月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
学科長等	(オカザキ ススム) 岡崎進 (平成29年4月)	(ヤシマ エイジ) <del>(アサヌマ ヒロユキ)</del> 八島栄次 浅沼浩之 (平成31年4月) (平成30年1月)	変更理由：学科長改選のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例)平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
工学部 化学生命 工学科 学士（工学）	工学関係	4年	99人	— 年次人	396人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	99 ( - ) [ - ]	99 ( - ) [ - ]	99 ( - ) [ - ]	99 ( - ) [ - ]	99 ( - ) [ - ]	99 ( - ) [ - ]	1.03倍	—	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	228 ( - ) [ 8 ]	52 ( - ) [ 47 ]	254 ( - ) [ 13 ]	51 ( - ) [ 47 ]	255 ( 6 ) [ 10 ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	211 ( - ) [ 7 ]	52 ( - ) [ 47 ]	237 ( - ) [ 13 ]	51 ( - ) [ 47 ]	237 ( 5 ) [ 10 ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	106 ( - ) [ 3 ]	2 ( - ) [ 2 ]	103 ( - ) [ 2 ]	3 ( - ) [ 3 ]	101 ( 4 ) [ 2 ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	103 ( - ) [ 1 ]	1 ( - ) [ 1 ]	101 ( - ) [ 0 ]	2 ( - ) [ 2 ]	99 ( 3 ) [ 1 ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A					1.05		1.04		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					103 [ 1 ] ( - )	1 [ 1 ] ( - )	101 [ 0 ] ( 0 )	2 [ 2 ] ( - )	103 [ 1 ] ( 4 )	2 [ 2 ] ( - )	2019年4月 編入学3名
2年次							103 [ 1 ] ( 0 )	1 [ 1 ] ( 0 )	99 [ 0 ] ( 2 )	1 [ 1 ] ( - )	
3年次									104 [ 1 ] ( - )	[ ] ( )	
4年次											
計	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	104 [ 2 ] ( - )		207 [ 4 ] ( 0 )		309 [ 5 ] ( 6 )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	104 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	207 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	313 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{104} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{207} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{313} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2									
	システム工学入門	1前	2									
	情報科学入門	1前	2									
	現代数学への流れ	1後	2									
	先端材料と物性物理	2前	2									
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2									
	物理現象の科学	2前	2									
	原子・分子の科学	2後	2			1						
	物質世界の認識	1前	2									
	物質と材料の科学	1後	2									
	現代の生命科学	2後	2									
	現代医療と生命科学	1前	2									
	生涯健康と医学	2後	2									
	健康増進科学	2前	2									
	遺伝子の世界	1後	2									
	食と農の科学	1前	2									
	動植物の科学	2前	2									
	微生物の科学	1後	2									
	バイオテクノロジー	2前	2									
	地球惑星の科学	1前	2									
	自然環境と人間	1後	2									
	エネルギーと環境	1前	2									
	自然環境と人間社会	1前	2									
	環境問題と人間	2前	2									
	都市と環境	1後	2									
	大気圏環境の科学	1前	2									
小計(27科目)		-	0	54	0	1	0	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後		2								
	芸術と人間精神	2前・後		2								
	表象芸術論	2前・後		2								
	音楽芸術論	2前・後		2								
	科学・技術の倫理	2前		2								
	科学技術史	2前・後		2								
	科学技術社会論	2前・後		2								
	科学技術とジェンダー	2前・後		2								
	宗教と人類文化	2前・後		2								
	異文化論	2後		2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前		2								
	留学生と日本	2後		2								
	名大の歴史をたどる	1前		2								
	大学でどう学ぶか	1前		2								
	キャリア形成論	2前・後		2								
	学問の面白さを知る	1前		2								
	切迫する自然災害に備える	2前		2								
	アーカイブズ入門-文書史料の世界をあるく-	2後		2								
	人間関係とコミュニケーション	2前		2								
	ピア・カウンセリング	2前		2								
小計(20科目)		-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2									
	システム工学入門	1前	2									
	情報科学入門	1前	2									
	現代数学への流れ	1後	2									
	先端材料と物性物理	2前	2									
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2									
	物理現象の科学	2前	2									
	原子・分子の科学	2後	2				1	1	1			
	物質世界の認識	1前	2				1	2	1			
	物質と材料の科学	1後	2									
	現代の生命科学	2後	2									
	現代医療と生命科学	1前	2									
	生涯健康と医学	2後	2									
	健康増進科学	2前	2									
	遺伝子の世界	1後	2									
	食と農の科学	1前	2									
	動植物の科学	2前	2									
	微生物の科学	1後	2									
	バイオテクノロジー	2前	2									
	地球惑星の科学	1前	2									
	自然環境と人間	1後	2									
	エネルギーと環境	1前	2									
	自然環境と人間社会	1前	2									
	環境問題と人間	2前	2									
	都市と環境	1後	2									
	大気圏環境の科学	1前	2									
小計(27科目)		-	0	54	0	2	3	2	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後		2								
	芸術と人間精神	2前・後		2								
	表象芸術論	2前・後		2								
	音楽芸術論	2前・後		2								
	科学・技術の倫理	2前		2								
	科学技術史	2前・後		2								
	科学技術社会論	2前・後		2								
	科学技術とジェンダー	2前・後		2								
	宗教と人類文化	2前・後		2								
	異文化論	2後		2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前		2								
	留学生と日本	2後		2								
	名大の歴史をたどる	1前		2								
	大学でどう学ぶか	1前		2								
	キャリア形成論	2前・後		2								
	学問の面白さを知る	1前		2								
	切迫する自然災害に備える	2前		2								
	アーカイブズ入門-文書史料の世界をあるく-	2後		2								
	人間関係とコミュニケーション	2前		2								
	ピア・カウンセリング	2前		2								
小計(20科目)		-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	



卒業要件及び履修方法

全学教育科目は47単位以上、専門系科目は専門基礎科目48単位以上、専門科目38単位以上、関連専門科目3単位以上の合計89単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から21単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から48単位以上(「化学生命工学実験1、2」、「熱力学1及び演習」、「構造・電気化学及び演習」、「量子化学1及び演習」、「無機化学1及び演習」、「有機化学1及び演習」、「有機化学2及び演習」、「有機化学3及び演習」、「分析化学1及び演習」、「実験安全学」、「生化学1及び演習」、「生化学2及び演習」の28単位を含むこと)、専門科目から38単位以上(「化学生命工学演習」、「化学生命工学実験3、4」、「化学生命工学序論」、「卒業研究A、B」計20単位を含むこと)、関連専門科目から3単位以上

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は47単位以上、専門系科目は専門基礎科目48単位以上、専門科目38単位以上、関連専門科目3単位以上の合計89単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から21単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から48単位以上(「化学生命工学実験1、2」、「熱力学1及び演習」、「構造・電気化学及び演習」、「量子化学1及び演習」、「無機化学1及び演習」、「有機化学1及び演習」、「有機化学2及び演習」、「有機化学3及び演習」、「分析化学1及び演習」、「実験安全学」、「生化学1及び演習」、「生化学2及び演習」の28単位を含むこと)、専門科目から38単位以上(「化学生命工学演習」、「化学生命工学実験3、4」、「化学生命工学序論」、「卒業研究A、B」計20単位を含むこと)、関連専門科目から3単位以上



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 教育科目	哲学	1前		2								
	歴史学	1後・2前		2								
	文学	1前		2								
	地理学	1後		2								
	社会学	2前		2								
	心理学Ⅰ	1後・2前		2								
	心理学Ⅱ	1後		2								
	教育学	1前		2								
	日本国憲法	2前		2								
	法学	1前		2								
	政治学	1後		2								
	経済学A	1前		2								
	経営学	1後		2								
	国際関係論	1前		2								
	国際開発学	2前		2								
	統計学	1前		2								
	比較教育論	1後		2								
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	
理系 基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前		2								
	微分積分学Ⅱ	1後		2								
	線形代数学Ⅰ	1前		2								
	線形代数学Ⅱ	1後		2								
	複素関数論	2前		2								
	力学Ⅰ	1前	2									
	力学Ⅱ	1後	2									
	電磁気学Ⅰ	1後	2									
	電磁気学Ⅱ	2前	2									
	物理学実験	1後	1.5									
	化学基礎Ⅰ	1前	2		1	2						
	化学基礎Ⅱ	1後	2			1						
	化学実験	1前	1.5									
小計(13科目)	-	13	12	0	1	3	0	0	0	0	0	
文系 教養科目	生と死の人間学	2後		2								
	現代社会の思想的課題	2後		2								
	科学・技術の哲学	2前		2								
	文化を読む	1前		2								
	表象と文化	2前		2								
	芸術と人間	2前		2								
	社会変動と人間生活	2前		2								
	人間と行動	1前		2								
	現代社会と教育	1前		2								
	教育と発達心理学	1前		2								
	現代社会と法	2後		2								
	民主主義の歴史と現在	1前		2								
	市場経済と社会	2後		2								
	産業社会と企業	1前		2								
	グローバル化時代の国際社会	2後		2								
	開発の光と影	2前		2								
	社会と環境	2前		2								
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 教育科目	哲学	1前		2								
	歴史学	1後・2前		2								
	文学	1前		2								
	地理学	1後		2								
	社会学	2前		2								
	心理学Ⅰ	1後・2前		2								
	心理学Ⅱ	1後		2								
	教育学	1前		2								
	日本国憲法	2前		2								
	法学	1前		2								
	政治学	1後		2								
	経済学A	1前		2								
	経営学	1後		2								
	国際関係論	1前		2								
	国際開発学	2前		2								
	統計学	1前		2								
	比較教育論	1後		2								
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	
理系 基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前		2								
	微分積分学Ⅱ	1後		2								
	線形代数学Ⅰ	1前		2								
	線形代数学Ⅱ	1後		2								
	複素関数論	2前		2								
	力学Ⅰ	1前	2									
	力学Ⅱ	1後	2									
	電磁気学Ⅰ	1後	2									
	電磁気学Ⅱ	2前	2									
	物理学実験	1後	1.5									
	化学基礎Ⅰ	1前	2			2	2	1				
	化学基礎Ⅱ	1後	2			1	1	1				
	化学実験	1前	1.5			1	3					
小計(13科目)	-	13	12	0	4	6	2	0	0	0	0	
文系 教養科目	生と死の人間学	2後		2								
	現代社会の思想的課題	2後		2								
	科学・技術の哲学	2前		2								
	文化を読む	1前		2								
	表象と文化	2前		2								
	芸術と人間	2前		2								
	社会変動と人間生活	2前		2								
	人間と行動	1前		2								
	現代社会と教育	1前		2								
	教育と発達心理学	1前		2								
	現代社会と法	2後		2								
	民主主義の歴史と現在	1前		2								
	市場経済と社会	2後		2								
	産業社会と企業	1前		2								
	グローバル化時代の国際社会	2後		2								
	開発の光と影	2前		2								
	社会と環境	2前		2								
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2									
	システム工学入門	1前	2									
	情報科学入門	1前	2									
	現代数学への流れ	1後	2									
	先端材料と物性物理	2前	2									
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2									
	物理現象の科学	2前	2									
	原子・分子の科学	2後	2			1						
	物質世界の認識	1前	2									
	物質と材料の科学	1後	2									
	現代の生命科学	2後	2									
	現代医療と生命科学	1前	2									
	生涯健康と医学	2後	2									
	健康増進科学	2前	2									
	遺伝子の世界	1後	2									
	食と農の科学	1前	2									
	動植物の科学	2前	2									
	微生物の科学	1後	2									
	バイオテクノロジー	2前	2									
	地球惑星の科学	1前	2									
	自然環境と人間	1後	2									
	エネルギーと環境	1前	2									
	自然環境と人間社会	1前	2									
	環境問題と人間	2前	2									
	都市と環境	1後	2									
	大気圏環境の科学	1前	2									
小計(27科目)	-	0	54	0	1	0	0	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2									
	芸術と人間精神	2前・後	2									
	表象芸術論	2前・後	2									
	音楽芸術論	2前・後	2									
	科学・技術の倫理	2前	2									
	科学技術史	2前・後	2									
	科学技術社会論	2前・後	2									
	科学技術とジェンダー	2前・後	2									
	宗教と人類文化	2前・後	2									
	異文化論	2後	2									
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2									
	留学生と日本	2後	2									
	名大の歴史をたどる	1前	2									
	大学でどう学ぶか	1前	2									
	キャリア形成論	2前・後	2									
	学問の面白さを知る	1前	2									
	切迫する自然災害に備える	2前	2									
	アーカイブズ入門―文書史料の世界をあるく―	2後	2									
	人間関係とコミュニケーション	2前	2									
	ピア・カウンセリング	2前	2									
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2									
	システム工学入門	1前	2									
	情報科学入門	1前	2									
	現代数学への流れ	1後	2									
	先端材料と物性物理	2前	2									
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2									
	物理現象の科学	2前	2									
	原子・分子の科学	2後	2				1			1		
	物質世界の認識	1前	2				1		2	1		
	物質と材料の科学	1後	2									
	現代の生命科学	2後	2									
	現代医療と生命科学	1前	2									
	生涯健康と医学	2後	2									
	健康増進科学	2前	2									
	遺伝子の世界	1後	2									
	食と農の科学	1前	2									
	動植物の科学	2前	2									
	微生物の科学	1後	2									
	バイオテクノロジー	2前	2									
	地球惑星の科学	1前	2									
	自然環境と人間	1後	2									
	エネルギーと環境	1前	2									
	自然環境と人間社会	1前	2									
	環境問題と人間	2前	2									
	都市と環境	1後	2									
	大気圏環境の科学	1前	2									
小計(27科目)	-	0	54	0	2	2	2	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2									
	芸術と人間精神	2前・後	2									
	表象芸術論	2前・後	2									
	音楽芸術論	2前・後	2									
	科学・技術の倫理	2前	2									
	科学技術史	2前・後	2									
	科学技術社会論	2前・後	2									
	科学技術とジェンダー	2前・後	2									
	宗教と人類文化	2前・後	2									
	異文化論	2後	2									
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2									
	留学生と日本	2後	2									
	名大の歴史をたどる	1前	2									
	大学でどう学ぶか	1前	2									
	キャリア形成論	2前・後	2									
	学問の面白さを知る	1前	2									
	切迫する自然災害に備える	2前	2									
	アーカイブズ入門―文書史料の世界をあるく―	2後	2									
	人間関係とコミュニケーション	2前	2									
	ピア・カウンセリング	2前	2									
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	化学生命工学実験 1	3前	3			4	4	2	5		
	化学生命工学実験 2	3前	3			4	4		5		
	数学 1 及び演習	2前		4			3				
	数学 2 及び演習	2後		4			2	1			
	熱力学 1 及び演習	2前	2			1		1			
	熱力学 2 及び演習	2後		2		1	1				
	反応速度論及び演習	1前		2		1			1		
	構造・電気化学及び演習	2後	2			1	1		1		
	量子化学 1 及び演習	2前	2				1		1		
	量子化学 2 及び演習	2後		2		1	1		1		
	無機化学 1 及び演習	1後	2				1		1		
	無機化学 2 及び演習	2前		2			1		1		
	有機化学 1 及び演習	1前	2			2	1		2		
	有機化学 2 及び演習	1後	2			1	1		2		
	有機化学 3 及び演習	2前	2			1	1		2		
	有機化学 4 及び演習	2後		2		1	1	1			
	高分子基礎化学	2後	2			4					
	分析化学 1 及び演習	1後	2			3	2			1	
	分析化学 2 及び演習	2前		2		3	2			1	
	化学工学基礎	2前		2		1	1				
実験安全学	2後	2			1	3					
生化学 1 及び演習	1後	2			1	2					
生化学 2 及び演習	2前	2			1	1					
生化学 3 及び演習	2後		2		1	1					
生化学 4 及び演習	3前		2		1	1					
小計(25科目)	-		28	28	0	34	36	5	22	0	2
専門科目	化学生命工学演習	4前・後	2			21	18	5			
	化学生命工学実験 3	3後	3			2	4	1	5	1	
	化学生命工学実験 4	3後	3			2	4	2	5		
	化学生命工学序論	1前	2			21					
	無機合成化学	3前		2		1					
	無機材料化学	3後		2		2					
	有機構造化学	3後		2			1	1			
	有機化学 5	3前		2			1	1	2		
	エネルギー・計算化学	3後		2		4	1				
	分析化学 3	3後		2		3	2			1	
	高分子合成化学	3前		2		2					
	高分子物理化学	3後		2		2					
	生化学 5	3後		2		1	1				
	生物反応工学	3後		2		1	1			1	
	生物情報工学	3前		2			1				
化学生命工学特別講義	3前		2							1	
卒業研究 A	4前	5			22	21	6	20			
卒業研究 B	4後	5			22	21	6	20			
小計(18科目)	-		20	24	0	106	76	22	52	0	3
関連専門科目	電気工学通論第 1	4前		2							1
	電気工学通論第 2	4後		2							1
	特許及び知的財産	2後		1							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	工場見学	4前		1			2				
	工場実習	3前		1		21					
	工学概論第 1	1前		1							1
	工学概論第 2	4前		1							1
	工学概論第 3	4後		2							3
	工学概論第 4	1前		3							1
	工学倫理	1前		2							1
	化学・生物産業概論	1・2前		2			1				4
小計(13科目)	-		0	22	0	21	3	0	0	0	16
合計(206科目)	-		61	342	0	165	121	27	74	0	22

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	化学生命工学実験 1	3前	3			5	6	1	5		
	化学生命工学実験 2	3前	3				10	4	11		
	数学 1 及び演習	2前		4			3				
	数学 2 及び演習	2後		4			2	1			
	熱力学 1 及び演習	2前	2			1	1	1			
	熱力学 2 及び演習	2後		2		1	1				
	反応速度論及び演習	1前		2		1			1		
	構造・電気化学及び演習	2後	2			1	1		1		
	量子化学 1 及び演習	2前	2				1		1		
	量子化学 2 及び演習	2後		2		1	1		1		
	無機化学 1 及び演習	1後	2				1		1		1
	無機化学 2 及び演習	2前		2			1		1		
	有機化学 1 及び演習	1前	2			2			2		
	有機化学 2 及び演習	1後	2			1	1		2		
	有機化学 3 及び演習	2前	2			1	1		2		
	有機化学 4 及び演習	2後		2		1	1	1	1		
	高分子基礎化学	2後	2			4					
	分析化学 1 及び演習	1後	2			3	3				
	分析化学 2 及び演習	2前		2		3	3				
	化学工学基礎	2前		2		1	1				
実験安全学	2後	2				1		1			
生化学 1 及び演習	1後	2			1	2					
生化学 2 及び演習	2前	2			1	1					
生化学 3 及び演習	2後		2		1	1	1				
生化学 4 及び演習	3前		2		1	1					
小計(25科目)	-		28	28	0	31	43	9	29	0	1
専門科目	化学生命工学演習	4前・後	2			19	18	5			
	化学生命工学実験 3	3後	3			2	5	1	5		
	化学生命工学実験 4	3後	3			2	11	3	6		1
	化学生命工学序論	1前	2			14	1				
	無機合成化学	3前		2		2					
	無機材料化学	3後		2		2					
	有機構造化学	3後		2			1	1			
	有機化学 5	3前		2			1	1	2		
	エネルギー・計算化学	3後		2		4	1				
	分析化学 3	3後		2		3	3				
	高分子合成化学	3前		2		2					
	高分子物理化学	3後		2		1	1				
	生化学 5	3後		2			1				
	生物反応工学	3後		2		1	1	1			
	生物情報工学	3前		2			1				
化学生命工学特別講義	3前		2							3	
卒業研究 A	4前	5			20	20	6	18		1	
卒業研究 B	4後	5			20	20	6	18		1	
小計(18科目)	-		20	24	0	92	85	24	49	0	6
関連専門科目	電気工学通論第 1	4前		2							1
	電気工学通論第 2	4後		2							1
	特許及び知的財産	2後		1							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	工場見学	4前		1			1				
	工場実習	3前		1		18					
	工学概論第 1	1前		1							7
	工学概論第 2	4前		1							1
	工学概論第 3	4後		2							3
	工学概論第 4	1前		3							7
	工学倫理	1前		2							1
	化学・生物産業概論	1・2前		2			1				3
小計(13科目)	-		0	22	0	18	2	0	0	0	27
合計(206科目)	-		61	342	0	154	143	37	78	0	34

## 卒業要件及び履修方法

全学教育科目は47単位以上、専門系科目は専門基礎科目48単位以上、専門科目38単位以上、関連専門科目3単位以上の合計89単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

## 1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から21単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

## 2. 専門系科目

専門基礎科目から48単位以上(「化学生命工学実験1、2」、「熱力学1及び演習」、「構造・電気化学及び演習」、「量子化学1及び演習」、「無機化学1及び演習」、「有機化学1及び演習」、「有機化学2及び演習」、「有機化学3及び演習」、「分析化学1及び演習」、「実験安全学」、「生化学1及び演習」、「生化学2及び演習」の28単位を含むこと)、専門科目から38単位以上(「化学生命工学演習」、「化学生命工学実験3、4」、「化学生命工学序論」、「卒業研究A、B」計20単位を含むこと)、関連専門科目から3単位以上

## 卒業要件及び履修方法

全学教育科目は47単位以上、専門系科目は専門基礎科目48単位以上、専門科目38単位以上、関連専門科目3単位以上の合計89単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

## 1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から21単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

## 2. 専門系科目

専門基礎科目から48単位以上(「化学生命工学実験1、2」、「熱力学1及び演習」、「構造・電気化学及び演習」、「量子化学1及び演習」、「無機化学1及び演習」、「有機化学1及び演習」、「有機化学2及び演習」、「有機化学3及び演習」、「分析化学1及び演習」、「実験安全学」、「生化学1及び演習」、「生化学2及び演習」の28単位を含むこと)、専門科目から38単位以上(「化学生命工学演習」、「化学生命工学実験3、4」、「化学生命工学序論」、「卒業研究A、B」計20単位を含むこと)、関連専門科目から3単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナー B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」に、「准教授2」から「准教授3」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・誤記の訂正により、「複素関数論」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・誤記の訂正により、「電磁気学Ⅱ」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験1」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」に、「講師0」から「講師2」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験2」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「熱力学1及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「熱力学2及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造・電気化学及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「無機化学2及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学1及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授1」に、「助教3」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学2及び演習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学3及び演習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学4及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分析化学1及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分析化学2及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生化学1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師5」に、兼任・兼担の教員を「6」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験3」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験4」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学序論」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「無機合成化学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機構造化学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学5」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授22」に、「准教授22」から「准教授21」に、「助教22」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「4」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授22」に、「准教授22」から「准教授21」に、「助教22」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「4」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気工学通論第1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気工学通論第2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学・生命産業概論」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「2」から「4」に変更。

### 【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナー A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授5」に、「准教授0」から「准教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナー B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に、「准教授3」から「准教授2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学実験」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「原子・分子の化学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物質世界の認識」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験1」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に、「准教授4」から「准教授5」に、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験2」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授0」に、「准教授4」から「准教授10」に、「講師0」から「講師4」に、「助教5」から「助教11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「熱力学1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「無機化学1及び演習」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「無機化学2及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学4及び演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分析化学1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分析化学2及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験安全学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生化学3及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学演習」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験3」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験4」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授11」に、「講師2」から「講師3」に、「助教5」から「助教6」に兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学序論」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授14」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「無機合成化学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分析化学3」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高分子物理化学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生化学5」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生物反応工学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学特別講義」の兼任・兼担の教員を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授20」に、「准教授21」から「准教授20」に、「助教20」から「助教18」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授20」に、「准教授21」から「准教授20」に、「助教20」から「助教18」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場見学」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授18」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第1」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第4」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学・生物産業概論」の兼任・兼担の教員を「4」から「3」に変更。

**【令和元年度】**

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナー B」の専任教員等の配置を「教授 2」から「教授 4」に、「准教授 2」から「准教授 0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学実験」の専任教員等の配置を「准教授 3」から「准教授 4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「原子・分子の化学」の専任教員等の配置を「准教授 0」から「准教授 1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験 1」の専任教員等の配置を「助教 5」から「助教 4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験 2」の専任教員等の配置を「准教授 10」から「准教授 9」に、「講師 4」から「講師 3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「無機化学 1 及び演習」の専任教員等の配置を「助教 1」から「助教 2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「無機化学 2 及び演習」の専任教員等の配置を「准教授 0」から「准教授 1」に、「助教 1」から「助教 2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学 4 及び演習」の専任教員等の配置を「講師 1」から「講師 0」に、「助教 1」から「助教 2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分析化学 1 及び演習」の専任教員等の配置を「准教授 3」から「准教授 4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分析化学 2 及び演習」の専任教員等の配置を「准教授 3」から「准教授 4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生化学 2 及び演習」の専任教員等の配置を「教授 1」から「教授 0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学演習」の専任教員等の配置を「教授 19」から「教授 20」に、「准教授 18」から「准教授 19」に、「講師 5」から「講師 4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験 3」の専任教員等の配置を「助教 5」から「助教 4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学実験 4」の専任教員等の配置を「准教授 11」から「准教授 10」に、「講師 3」から「講師 2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学序論」の専任教員等の配置を「教授 14」から「教授 13」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学 5」の専任教員等の配置を「講師 1」から「講師 0」に、「助教 2」から「助教 1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分析化学 3」の専任教員等の配置を「准教授 3」から「准教授 4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高分子物理化学」の専任教員等の配置を「講師 0」から「講師 1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生化学 5」の専任教員等の配置を「教授 0」から「教授 1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学生命工学特別講義」の兼任・兼担の教員を「3」から「6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究 A」の専任教員等の配置を「教授 20」から「教授 21」に、「准教授 20」から「准教授 21」に、「講師 6」から「講師 5」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究 B」の専任教員等の配置を「教授 20」から「教授 21」に、「准教授 20」から「准教授 21」に、「講師 6」から「講師 5」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の専任教員等の配置を「教授 18」から「教授 20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学・生物産業概論」の兼任・兼担の教員を「3」から「5」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度 (平成 29 年度開設であれば平成 28 年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	180 科目	0 科目	206 科目	26 科目	180 科目	0 科目	206 科目	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{206} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡  施設整備（新築、改 修、解体）に伴う、面 積・室数の増減のため (元)	
	校舎敷地	628,131 <del>617,966</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131	<del>617,966</del> ㎡		
	運動場用地	105,775 <del>105,994</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775	<del>105,994</del> ㎡		
	小 計	733,906 <del>723,960</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906	<del>723,960</del> ㎡		
	そ の 他	2,507,320 <del>2,495,186</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320	<del>2,495,186</del> ㎡		
	合 計	3,241,226 <del>3,219,146</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226	<del>3,219,146</del> ㎡		
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体		
	590,883 <del>578,743</del> ㎡ (590,883 <del>578,743</del> ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	590,883	<del>578,743</del> ㎡ (590,883 <del>578,743</del> ㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 <del>234</del> 室	232 <del>240</del> 室	1,680 <del>1,326</del> 室	16 <del>17</del> 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 室用途変更のため(元)		
	工学部 化学生命工学科		57 55 56 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種					〔うち外国書〕 点
	工学部 化学生命工学科	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	569 (596)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	569 (596)	0 0	
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	<del>24,829</del> ㎡ 28,681 ㎡	<del>2,031</del> 2,195 席	3,140,500 冊					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	9,229 ㎡	弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位 で入学者を募集している ため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集 停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化 学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化 学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率に ついては、学部単位で 入学者を募集している ため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含 む。 保健学科については、 平成31年度より2年次 編入及び3年次編入を 廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーショ ン学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集 停止 平成29年度より学生募集 停止 平成29年度より学生募集 停止 平成29年度より学生募集 停止 平成29年度より学生募集 停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		



大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学) 修士(歴史学)	—		昭和28年度 平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学)	0.38				
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01				
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学) 博士(学術)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科								昭和28年度 平成7年度			
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05					
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12					
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻  (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<工学部 化学生命工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡崎 進 <平成29年4月> 工学博士
		熱力学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	関 隆広 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子化学2及び演習 高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 高分子物理化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 物質世界の認識
専	教授	菊田 浩一 <平成29年4月> 工学博士
		分析化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡崎 進 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学実験1 熱力学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	関 隆広 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子化学2及び演習 高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 高分子物理化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 物質世界の認識
専	教授	菊田 浩一 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡崎 進 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学実験1 熱力学1及び演習 化学生命工学演習 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	関 隆広 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 量子化学2及び演習 高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 物質世界の認識
専	教授	菊田 浩一 <平成29年4月> 工学博士
		基礎セミナーA 化学基礎I 化学基礎II 化学実験 化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡崎 進 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学実験1 熱力学1及び演習 化学生命工学演習 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	関 隆広 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 量子化学2及び演習 高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 物質世界の認識
専	教授	菊田 浩一 <平成29年4月> 工学博士
		化学基礎I 化学基礎II 化学実験 化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	薩摩 篤 <平成29年4月> 工学博士
		反応速度論及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 化学基礎I
専	教授	山下 誠 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 化学生命工学序論 工場実習 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	山本 芳彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	松下 裕秀 <平成29年4月> 工学博士
		高分子基礎化学 高分子物理化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	薩摩 篤 <平成29年4月> 工学博士
		反応速度論及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 化学基礎I
専	教授	山下 誠 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 <b>有機化学1及び演習</b> 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	山本 芳彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>有機化学1及び演習</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>
専	教授	松下 裕秀 <平成29年4月> 工学博士
		高分子基礎化学 高分子物理化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	薩摩 篤 <平成29年4月> 工学博士
		反応速度論及び演習 化学生命工学演習 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 化学基礎I
専	教授	山下 誠 <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>基礎セミナーB</b> <b>有機化学1及び演習</b> 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	山本 芳彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>有機化学1及び演習</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>
専	教授	松下 裕秀 <平成29年4月> 工学博士
		高分子基礎化学 高分子物理化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	薩摩 篤 <平成29年4月> 工学博士
		反応速度論及び演習 化学生命工学演習 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 化学基礎I
専	教授	山下 誠 <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>基礎セミナーB</b> <b>有機化学1及び演習</b> 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B <b>工場実習</b>
専	教授	山本 芳彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>有機化学1及び演習</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>
専	教授	松下 裕秀 <平成29年4月> 工学博士
		高分子基礎化学 <b>化学生命工学演習</b> 高分子物理化学 <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>工場実習</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 亮太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学演習 化学生命工学実験3 化学生命工学序論 無機合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 高分子合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	石原 一彰 <平成29年4月> 工学博士
		有機化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 基礎セミナーA
専	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学2及び演習 生化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 亮太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学演習 化学生命工学実験3 化学生命工学序論 無機合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 高分子合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	石原 一彰 <平成29年4月> 工学博士
		<b>化学生命工学実験2</b> 有機化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 基礎セミナーA
専	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学2及び演習 生化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 亮太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 化学生命工学序論 無機合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 高分子合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	石原 一彰 <平成29年4月> 工学博士
		有機化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 基礎セミナーA
専	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学2及び演習 生化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 亮太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学演習 化学生命工学実験3 化学生命工学序論 無機合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 高分子合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	<b>清中 茂樹</b> <平成31年3月> 博士(工学)
		<b>化学生命工学演習 生化学5 卒業研究A 卒業研究B 工場実習</b>
専	教授	石原 一彰 <平成29年4月> 工学博士
		有機化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 基礎セミナーA
専	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学2及び演習 生化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	大井 貴史 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学4及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	大槻 主税 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学演習 化学生命工学実験3 化学生命工学序論 無機材料化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	大井 貴史 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学生命工学実験2</b> 有機化学4及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	大槻 主税 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学演習 化学生命工学実験3 化学生命工学序論 無機材料化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習  分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	大井 貴史 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学4及び演習 化学生命工学演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	大槻 主税 <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>原子・分子の科学</b> 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 化学生命工学序論 無機材料化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	長田 実 <平成30年4月> 理学博士
		<b>基礎セミナーB</b> 無機化学2及び演習 化学生命工学序論 無機合成化学 無機材料化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習  分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	大井 貴史 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学4及び演習 化学生命工学演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	大槻 主税 <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>原子・分子の科学</b> 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 化学生命工学序論 無機材料化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	<b>中西 和樹</b> <平成31年1月> 博士(工学)
		<b>無機材料化学</b>
専	教授	長田 実 <平成30年4月> 理学博士
		<b>基礎セミナーB</b> 無機化学2及び演習 化学生命工学序論 無機合成化学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鳥本 司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	楠 美智子 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学演習 化学生命工学序論 無機材料化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	忍久保 洋 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鳥本 司 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造・電気化学及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	楠 美智子 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学演習 化学生命工学序論 無機材料化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学)
		生化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	忍久保 洋 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鳥本 司 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造・電気化学及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学)
		生化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	忍久保 洋 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鳥本 司 <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーB 構造・電気化学及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	忍久保 洋 <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 有機化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	八島 栄次 <平成29年4月> 工学博士
		高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 高分子合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	飯島 信司 <平成29年4月> 農学博士
		化学生命工学演習 化学生命工学序論 生化学5 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 基礎セミナーA
専	教授	堀 克敏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	八島 栄次 <平成29年4月> 工学博士
		高分子基礎化学 化学生命工学演習 化学生命工学序論 高分子合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	飯島 信司 <平成29年4月> 農学博士
		化学生命工学演習 化学生命工学序論 生化学5 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 基礎セミナーA
専	教授	堀 克敏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	八島 栄次 <平成29年4月> 工学博士
		高分子基礎化学 化学生命工学演習  高分子合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	堀 克敏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	八島 栄次 <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーB</b> 高分子基礎化学 化学生命工学演習  高分子合成化学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	教授	堀 克敏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士
		化学工学基礎 生化学4及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	助教	安井 隆雄 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	浦口 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子化学2及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士
		化学工学基礎 生化学4及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	助教	安井 隆雄 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	浦口 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子化学2及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 化学工学基礎 生化学4及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	准教授	安井 隆雄 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 <b>分析化学1及び演習</b> <b>分析化学2及び演習</b> <b>化学生命工学演習</b> <b>化学生命工学実験4</b> <b>分析化学3</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	浦口 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>化学実験</b> 化学生命工学実験2 有機化学3及び演習  化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学生命工学実験1</b> 量子化学2及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 化学工学基礎 生化学4及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習
専	准教授	安井 隆雄 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 化学生命工学実験1 <b>分析化学1及び演習</b> <b>分析化学2及び演習</b> <b>化学生命工学演習</b> <b>化学生命工学実験4</b> <b>分析化学3</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	<b>井改 知幸</b> <b>&lt;平成31年4月&gt;</b> <b>博士(工学)</b>
		化学生命工学演習 <b>有機化学5</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>
専	准教授	浦口 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>化学実験</b> 化学生命工学実験2 有機化学3及び演習  化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b> <b>化学生命工学実験1</b> 量子化学2及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加地 範匡 <平成29年4月> 博士(薬学)
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場見学
専	准教授	加藤 竜司 <平成29年4月> 博士(工学)
		生物情報工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	榎田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		生化学1及び演習 化学生命工学演習  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	熊谷 純 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習  分析化学3 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加地 範匡 <平成29年4月> 博士(薬学)
		化学生命工学実験1 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B 工場見学
専	准教授	加藤 竜司 <平成29年4月> 博士(工学)
		生物情報工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	榎田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		生化学1及び演習 化学生命工学演習  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	熊谷 純 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習  分析化学3 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 竜司 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 生物情報工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	榎田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>物質世界の認識</b> <b>化学生命工学実験2</b> 生化学1及び演習 化学生命工学演習 <b>化学生命工学実験4</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	熊谷 純 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 <b>化学生命工学序論</b> 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 竜司 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 生物情報工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	榎田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>物質世界の認識</b> <b>化学生命工学実験2</b> 生化学1及び演習 化学生命工学演習 <b>化学生命工学実験4</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	熊谷 純 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学演習 <b>化学生命工学序論</b> 分析化学3 卒業研究A 卒業研究B



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐藤 浩太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	坂本 涉 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	三宅 由寛 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機構造化学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	篠田 涉 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験1 量子化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐藤 浩太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 <b>有機化学5</b> 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	坂本 涉 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>無機化学2及び演習</b> 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	三宅 由寛 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機構造化学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	篠田 涉 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験1 <b>数学1及び演習</b> <b>熱力学2及び演習</b> 量子化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐藤 浩太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 <b>有機化学5</b> 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	三宅 由寛 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b> 化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機構造化学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	篠田 涉 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験1 <b>数学1及び演習</b> <b>熱力学2及び演習</b> 量子化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三宅 由寛 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b> 化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機構造化学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	篠田 涉 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験1 <b>数学1及び演習</b> <b>熱力学2及び演習</b> 量子化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 エネルギー・計算化学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	<b>小林 亮</b> <平成30年10月> 博士(工学)
		<b>無機化学2及び演習</b>



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神谷 由紀子 <平成29年4月> 博士(薬学)
		化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	清水 一憲 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学工学基礎 生化学4及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	西島 謙一 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学生命工学演習 生化学5 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	竹岡 敬和 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神谷 由紀子 <平成29年4月> 博士(薬学)
		生化学1及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	清水 一憲 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学工学基礎 生化学4及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	西島 謙一 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学生命工学演習 生化学5 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	竹岡 敬和 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B 化学・生物産業概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神谷 由紀子 <平成29年4月> 博士(薬学)
		化学実験 化学生命工学実験2 生化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	清水 一憲 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学工学基礎 生化学4及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	西島 謙一 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学基礎I 化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 生化学5 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	竹岡 敬和 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 数学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 化学・生物産業概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神谷 由紀子 <平成29年4月> 博士(薬学)
		化学実験 化学生命工学実験2 生化学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	清水 一憲 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学工学基礎 生化学4及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	西島 謙一 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学基礎I 化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 生化学5 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	竹岡 敬和 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 数学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 化学・生物産業概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	波多野 学 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎I
専	准教授	鳴瀧 彩絵 <平成29年4月> 博士(工学)
		無機化学1及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	鈴木 秀士 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験1 数学2及び演習 構造・電気化学及び 演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	波多野 学 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎I
専	准教授	鳴瀧 彩絵 <平成29年4月> 博士(工学)
		無機化学1及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	鈴木 秀士 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験1 数学2及び演習 構造・電気化学及び 演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	波多野 学 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎I
専	准教授	鳴瀧 彩絵 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>物質世界の認識</b> 無機化学1及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	鈴木 秀士 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験1 数学2及び演習 構造・電気化学及び 演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	波多野 学 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎I
専	准教授	鳴瀧 彩絵 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>原子・分子の科学</b> <b>物質世界の認識</b> 無機化学1及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	<b>林 剛介</b> <b>&lt;平成31年3月&gt;</b> <b>博士(理学)</b>
		<b>分析化学1及び演習</b> <b>分析化学2及び演習</b> <b>化学生命工学演習</b> <b>分析化学3</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>
専	准教授	鈴木 秀士 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験1 数学2及び演習 構造・電気化学及び 演習 実験安全学 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鈴木 淳巨 <平成29年4月> 博士(工学)
		生化学3及び演習 化学生命工学演習  生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	杉本 泰伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		生化学2及び演習  卒業研究A 卒業研究B 化学基礎II
専	准教授	高野 敦志 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学実験1 数学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	大松 亨介 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学4及び演習  卒業研究A 卒業研究B
兼任	講師	湯川 博 <平成29年4月> 博士(医学)
		分析化学2及び演習 化学生命工学実験3 分析化学3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鈴木 淳巨 <平成29年4月> 博士(工学)
		生化学3及び演習 化学生命工学演習  生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	枚本 泰伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		生化学2及び演習  卒業研究A 卒業研究B 化学基礎II
専	准教授	高野 敦志 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学実験1 数学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	大松 亨介 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学4及び演習  卒業研究A 卒業研究B
兼任	講師	湯川 博 <平成29年4月> 博士(医学)
		分析化学2及び演習 化学生命工学実験3 分析化学3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鈴木 淳巨 <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 化学生命工学実験2 生化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	枚本 泰伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		生化学2及び演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎II
専	准教授	高野 敦志 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学実験1 数学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	吉井 範行 <平成30年4月> 博士(理学)
		基礎セミナーB 熱力学1及び演習
専	准教授	大松 亨介 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 有機化学4及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	湯川 博 <平成29年4月> 博士(医学)
		基礎セミナーA 分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学実験3 分析化学3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鈴木 淳巨 <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 化学生命工学実験2 生化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	枚本 泰伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		生化学2及び演習 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎II
専	准教授	高野 敦志 <平成29年4月> 工学博士
		化学生命工学実験1 数学1及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	吉井 範行 <平成30年4月> 博士(理学)
		熱力学1及び演習
専	准教授	大松 亨介 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 有機化学4及び演習 化学生命工学演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	湯川 博 <平成29年4月> 博士(医学)
		分析化学1及び演習 分析化学2及び演習 化学生命工学実験3 分析化学3

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	逢坂 直樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機化学5 卒業研究A 卒業研究B 工場見学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	逢坂 直樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機化学5 卒業研究A 卒業研究B 工場見学
専	講師	伊藤 淳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機構造化学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	沢邊 恭一 <平成29年4月> 理学博士
		数学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	中谷 肇 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学生命工学演習  生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	野呂 篤史 <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学1及び演習 化学生命工学演習  卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	逢坂 直樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機化学5 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	伊藤 淳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		原子・分子の科学 化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機構造化学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	沢邊 恭一 <平成29年4月> 理学博士
		化学基礎I 数学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	中谷 肇 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学生命工学実験2 生化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	野呂 篤史 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学基礎II 化学生命工学実験1 熱力学1及び演習 化学生命工学演習  卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	伊藤 淳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		原子・分子の科学 化学生命工学実験2 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 有機構造化学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	沢邊 恭一 <平成29年4月> 理学博士
		化学基礎I 数学2及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	中谷 肇 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学生命工学実験2 生化学3及び演習 化学生命工学演習 化学生命工学実験4 生物反応工学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	野呂 篤史 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学基礎II 化学生命工学実験1 熱力学1及び演習 化学生命工学演習 高分子物理化学 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	UYANIK Muhammet <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	蟹江 慧 <平成29年4月> 博士(工学) 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	亀山 達矢 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験1 構造・電気化学及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	金岡 英徳 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	澁谷 正俊 <平成29年4月> 博士(薬学) 有機化学4及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	ウヤヌク ムハメット <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	蟹江 慧 <平成29年4月> 博士(工学) 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	亀山 達矢 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験1 構造・電気化学及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	金岡 英徳 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	澁谷 正俊 <平成29年4月> 博士(薬学) 物質世界の認識 化学生命工学実験2 有機化学4及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	ウヤヌク ムハメット <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 有機化学4及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	安井 猛 <平成30年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2
専	助教	蟹江 慧 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	亀山 達矢 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験1 構造・電気化学及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	金岡 英徳 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	澁谷 正俊 <平成29年4月> 博士(薬学) 物質世界の認識 化学生命工学実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	ウヤヌク ムハメット <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	安井 猛 <平成30年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 有機化学4及び演習 有機化学5
専	助教	蟹江 慧 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	亀山 達矢 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験1 構造・電気化学及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	金岡 英徳 <平成29年4月> 博士(工学) 化学生命工学実験2 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原 光生 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子化学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	荒巻 吉孝 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学1及び演習 有機化学5 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	石川 聖人 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	村山 恵司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	大山 順也 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 反応速度論及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原 光生 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子化学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	荒巻 吉孝 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学1及び演習 有機化学5 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	石川 聖人 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	村山 恵司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	大山 順也 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 反応速度論及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原 光生 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 量子化学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	荒巻 吉孝 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学1及び演習 有機化学5 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	石川 聖人 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	村山 恵司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	大山 順也 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 反応速度論及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	原 光生 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 量子化学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	荒巻 吉孝 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 瑛祐 <平成31年4月> 博士(工学)
		無機化学1及び演習 無機化学2及び演習
専	助教	織田 晃 <平成31年2月> 博士(理学)
		反応速度論及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	石川 聖人 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	村山 恵司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	田浦 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藤本 和士 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 量子化学1及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藤野 公茂 <平成29年4月> 修士(学術)
		化学生命工学実験1  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	内山 峰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習  卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	田浦 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藤本 和士 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 量子化学1及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藤野 公茂 <平成29年4月> 修士(学術)
		化学生命工学実験1  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	内山 峰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習  卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>無機化学1及び演習</b> 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	田浦 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>化学生命工学実験2</b> 有機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藤本 和士 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 量子化学1及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藤野 公茂 <平成29年4月> 修士(学術)
		化学生命工学実験1 <b>化学生命工学実験4</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	内山 峰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習 <b>有機化学5</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>福井 識人</b>  <平成30年4月> 博士(理学)
		<b>化学生命工学実験2</b> <b>有機化学2及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>無機化学1及び演習</b> 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	田浦 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>化学生命工学実験2</b> 有機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藤本 和士 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験1 量子化学1及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藤野 公茂 <平成29年4月> 修士(学術)
		化学生命工学実験1 <b>化学生命工学実験4</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	内山 峰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>福井 識人</b>  <平成30年4月> 博士(理学)
		<b>化学生命工学実験2</b> <b>有機化学2及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀 彰宏 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	林 幸彦朗 <平成29年4月> 博士(工学)
		無機化学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	鈴木 克規 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	廣戸 聡 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習 有機化学3及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	堀部 貴大 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4
兼任	教授	鬼頭 雅弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀 彰宏 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	林 幸彦朗 <平成29年4月> 博士(工学)
		無機化学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	鈴木 克規 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	廣戸 聡 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 有機化学2及び演習 有機化学3及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	堀部 貴大 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4
兼任	教授	鬼頭 雅弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀 彰宏 <平成29年4月> 博士(理学)
		無機化学2及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	鈴木 克規 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	堀部 貴大 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀 彰宏 <平成29年4月> 博士(理学)
		無機化学2及び演習 化学生命工学実験3 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	鈴木 克規 <平成29年4月> 博士(理学)
		化学生命工学実験2 有機化学3及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	中野 遼 <平成30年7月> 博士(工学)
		有機化学4及び演習
専	助教	堀部 貴大 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4 卒業研究A 卒業研究B
兼任	准教授	栗本 宗明 <平成31年4月> 博士(工学)
		電気工学通論第1
兼任	教授	鬼頭 雅弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		電気工学通論第2
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
専	助教	乗松 航 <平成29年4月> 博士(工学)
		無機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	永江 峰幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		電気工学通論第2
兼任	教授	佐藤 健一 <平成29年4月> 工学博士
		電気工学通論第1
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
専	助教	乗松 航 <平成29年4月> 博士(工学)
		無機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	永江 峰幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		電気工学通論第2
兼任	教授	佐藤 健一 <平成29年4月> 工学博士
		電気工学通論第1
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	准教授	乗松 航 <平成29年4月> 博士(工学)
		無機化学1及び演習 卒業研究A 卒業研究B
兼任	助教	永江 峰幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4
兼任	講師	黒田 敏秋 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		電気工学通論第2
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	助教	永江 峰幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学生命工学実験4
兼任	講師	関戸 淳二 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	古川 智康 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	京 基樹 <平成29年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	SURUVU NAGANJANEYULU <平成29年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	京 基樹 <平成29年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 誠 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	京 基樹 <平成29年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山中 浩二 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	千野 直孝 <平成31年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	高木 愛子 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	丸山 厚 <平成31年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義
兼任	講師	京 基樹 <平成29年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古澤 和行 <平成29年4月> 博士(工学) 経営工学
兼任	講師	高橋 一正 <平成29年4月> 博士(工学) 産業と経済
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古澤 和行 <平成29年4月> 博士(工学) 経営工学
兼任	講師	高橋 一正 <平成29年4月> 博士(工学) 産業と経済
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐倉 義朗 <平成30年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	古澤 和行 <平成29年4月> 博士(工学) 経営工学
兼任	講師	高橋 一正 <平成29年4月> 博士(工学) 産業と経済
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	手塚 育志 <平成30年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐倉 義朗 <平成30年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	坂口 裕樹 <平成31年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義
兼任	講師	央戸 厚 <平成31年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義
兼任	講師	古澤 和行 <平成29年4月> 博士(工学) 経営工学
兼任	講師	高橋 一正 <平成29年4月> 博士(工学) 産業と経済
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	杉江 良祐 <平成30年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	大槻 高史 <平成30年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義
兼任	講師	大嶋 孝志 <平成30年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義
兼任	講師	瀧上 唯夫 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	森 敦紀 <平成31年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義
兼任	講師	杉江 良祐 <平成30年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	杉本 渉 <平成31年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	藤澤 哲郎 <平成31年4月> 博士(工学) 化学生命工学特別講義

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	周 游 <平成29年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	周 游 <平成29年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	松岡 亮 <平成29年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	西山 久雄 <平成29年4月> 博士(工学) 基礎セミナーB
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	周 游 <平成31年4月> 博士(工学) 化学・生物産業概論
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更  
岡崎進、菊田浩一、山下誠、山本芳彦、石原一彰、大井貴史、鳥本司、渡邊信久、佐藤浩太郎、坂本渉、篠田渉、神谷由紀子、竹岡敬和、伊藤淳一、沢邊恭一、中谷肇、野呂篤史、澁谷正俊、佐藤健一、SURUVU NAGANJANEYULU、松岡亮、西山久雄、比屋根均

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
岡崎進、関隆広、菊田浩一、薩摩篤、山下誠、山本芳彦、松田亮太郎、石原一彰、村上裕、大井貴史、大槻主税、忍久保洋、八島栄次、安井隆雄、浦口大輔、永野修作、加藤竜司、櫻田啓、熊谷純、三宅由寛、神谷由紀子、杉本泰伸、清水一憲、西島謙一、竹岡敬和、鳴瀧彩絵、鈴木秀士、鈴木淳巨、高野淳志、大松亨介、逢阪直樹、伊藤淳一、沢邊恭一、中谷肇、野呂篤史、澁谷正俊、UYANIK Muhammet、蟹江慧、金岡英徳、原光生、石川聖人、村山恵司、中村仁、田浦大輔、藤野公茂、内山峰人、堀彰宏、鈴木克規、堀部貴大、湯川博

・以下辞任  
楠美智子、飯島信司、加地範匡、坂本渉、林幸彦朗、廣戸聡、SURUVU NAGANJANEYULU、松岡亮、西山久雄、周遊

・以下就任  
長田実、吉井範行、安井猛、福井謙人、黒田敏秋、伊藤誠、奥村由美、梶川しのぶ、古賀恵美、佐倉義朗、手塚育志、秋澤淳、小河真由美、小室輝代、森達博、杉江良祐、大槻高史、大嶋孝志、瀧上唯夫、中村武志、田中典子、日下部玲子、宮崎秀敏

・以下担当種別及び職名の変更  
安井隆雄、湯川博、乗松航、永江峰幸

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
菊田浩一、山下誠、松下裕秀、松田亮太郎、上垣外正己、長田実、鳥本司、忍久保洋、八島栄次、安井隆雄、永野修作、鳴瀧彩絵、吉井範行、湯川博、野呂篤史、澁谷正俊、ウヤヌク・ムハメット、安井猛、荒巻吉孝、内山峰人

・以下辞任  
渡邊信久、佐藤浩太郎、逢坂直樹、大山順也、佐藤健一、乗松航、黒田敏秋、伊藤誠、山口佳一、手塚育志、大槻高史、大嶋孝志、瀧上唯夫

・以下就任  
清中茂樹、中西和樹、井改知幸、小林亮、林剛介、山本瑛祐、織田晃、中野遼、栗本宗明、関戸淳二、古川智康、山中浩二、千野直孝、高木愛子、丸山厚、坂口裕樹、矢戸厚、森敦紀、杉本渉、藤澤哲郎、周游

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
21	22	0	22	65	23	24	5	21	73
(23)	(21)	(6)	(22)	(72)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
21	22	0	22	65	21	22	0	22	65
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{65}{65} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{73} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし						
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0 人			必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	加地 範匡	H29.3	必修	化学生命工学実験1	①	H29.12.31付け退職のため辞任 (30)
				必修	分析化学1及び演習	①	
				必修	分析化学2及び演習	①	
				必修	化学生命工学演習	①	
				選択	分析化学3	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
2	准教授	坂本 渉	H30.3	選択	無機化学2及び演習	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)
				必修	化学生命工学演習	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
3	助教	林 幸彦朗	H29.8	選択	無機化学2及び演習	①	H29.8.31付け退職に就任のため辞任 (30)
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
4	助教	廣戸 聡	H30.3	必修	化学生命工学実験2	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)
				選択	有機化学2及び演習	①	
				選択	有機化学3及び演習	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
5	教授	渡邊 信久	H31.3	必修	生化学2及び演習	①	H31.3.26付け退職のため辞任 (元)
				必修	化学生命工学演習	①	
				必修	化学生命工学序論	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
				選択	工場実習	①	
6	准教授	佐藤 浩太郎	H31.3	必修	化学生命工学実験2	①	H31.3.31付け退職のため辞任 (元)
				必修	化学生命工学演習	①	
				必修	化学生命工学実験4	①	
				選択	有機化学5	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
				選択	基礎セミナーB	①	



7	講師	逢坂 直樹	H30.9	必修	化学生命工学実験2	①	H30.9.30付け退職のため辞任(元)						
				必修	化学生命工学演習	①							
				必修	化学生命工学実験4	①							
				選択	有機化学5	①							
				必修	卒業研究A	①							
				必修	卒業研究B	①							
8	助教	大山 順也	H30.5	必修	化学生命工学実験1	①	H30.5.1付け退職のため辞任(元)						
				選択	反応速度論及び演習	①							
				必修	化学生命工学実験3	①							
				必修	卒業研修A	①							
				必修	卒業研修B	①							
合計(F)						後任補充状況の集計(G)							
辞任した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
8	人	必修	33	科目	必修	33	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	45	科目	計	45	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
8	人	必修	33 科目	必修	33 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	12 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	45 科目	計	45 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{8}{65} = \boxed{12.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	楠 美智子	必修	化学生命工学演習	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)			
			必修	化学生命工学序論	①				
			選択	無機材料化学	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	工場実習	①				
2	教授	飯島 信司	必修	化学生命工学演習	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)			
			必修	化学生命工学序論	①				
			選択	生化学5	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	工場実習	①				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。          なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 化学生命工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。</li> <li>・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。</li> <li>・教授会 年4回程度：講師以上が参加。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。</li> <li>また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施）</li> <li>・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。</li> <li>・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。</li> <li>・教授会での各種説明会の実施。</li> <li>・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。</li> <li>・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。</li> <li>・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。</li> </ul>
---

b 実施方法

- ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。
- ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。
- ・学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・平成30年度教授会での説明会  
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席  
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席  
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、工学部では、工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すため、基礎教育に関して共通部分の多い分野を統合した学科構成に再編（平成29年度から教育組織を改編し、化学生命工学科、物理工学科、マテリアル工学科、電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科、エネルギー工学科、環境土木・建築学科の7学科構成）し、遅い年次で専門分野が選択できる基礎を重視し、創成型科目も充実させた教育カリキュラムへの変更を行うことにより、学部及び大学院教育を充実させ、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

- (1) 学部では、教養科目、基礎科目を総合大学の強みを生かした全学科目として開講し、人間としての素養を含む基礎を教える。続く専門教育では演習を加えた授業形態で応用力をつける。また、創成型科目※を充実させて、総合力、創造力、俯瞰力を涵養し、大学院での学習に繋げる。

(※ 1年次からの専門系科目を拡大し、専門教育初期の段階から、既存の知識にとらわれず自らの発想に基づいて授業を設計する科目)

ただし、日本技術者教育認定機構（JABEE）認定プログラムに沿った教育を採用している学科（環境土木・建築学科）においては、それと齟齬のないカリキュラムとする。

- (2) 導入教育として、安全教育、倫理教育、情報セキュリティ教育、知財教育に関するカリキュラムを充実させる。

- (3) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月頃 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年 6月 1日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

## (2) 大学名 名古屋大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601  
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

学部長	(ニイミ トモヒデ) 新美智秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水谷法美 (平成30年1月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
学科長等	(ササイ マサキ) 笹井理生 (平成29年4月)	(カンワヤ サトシ) <del>(ナカツカ オサム)</del> 柏谷聡 中塚理 (平成31年4月) <del>(平成30年4月)</del>	変更理由：学科長改選のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。



(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 物理工学科 学士（工学）	工学関係	4年	83人	— 年次人	332人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1.03倍	—	
志願者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
受験者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
合格者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
B 入学者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
入学定員超過率 B/A					1.04		1.03		1.02						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	87 [ 3 ] ( - )	0 [ 0 ] ( - )	85 [ 2 ] ( 0 )	1 [ 1 ] ( - )	88 [ 2 ] ( 3 )	1 [ 1 ] ( - )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	/		87 [ 3 ] ( 0 )	0 [ 0 ] ( 0 )	86 [ 1 ] ( 4 )	0 [ 0 ] ( - )	
3年次			/				/		/		/
4年次	/				/						
計			[ ] ( )	[ ] ( )			[ ] ( )	[ 3 ] ( )	87 [ 3 ] ( )	173 [ 6 ] ( 0 )	257 [ 7 ] ( 7 )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	87人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	173人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	他大学への入学(1人)
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	257人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		1人		1人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{87} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{173} = \boxed{0.57} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{256} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。









科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	工学倫理	1前		2							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	電気工学通論第1	3前		2		1	1				
	電気工学通論第2	3後		2		1					
	特許及び知的財産	4後		1							1
	工場見学	3前		1			17				1
	高分子物理化学	3後		2		1	1				
	自動制御	4前		2		1					
	原子核工学概論	4後		2							1
	物理学特別講義2 a	4前・後		1							1
	物理学特別講義2 b	4前・後		1							1
	物理学特別講義2 c	4前・後		1							1
	物理学特別講義2 d	4前・後		1							1
	工学概論第1	1前		1							1
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							1
	データ統計解析B	4前		2							1
	テクニカルライティング	4前		2		1					
小計(20科目)		-	0	33	0	5	19	0	0	0	17
合計(222科目)		-	75	339	0	117	110	0	110	0	29

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目31単位以上、専門科目49単位以上、関連専門科目4単位以上の合計84単位以上を修得すること。卒業要件は合計133単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から31単位以上(「物理学演習1」、「数学1及び演習」、「解析力学及び演習」、「熱力学」、「物理学演習2a、2b」、「物理学実験第1」、「数学2及び演習」、「電磁気学Ⅲ」、「量子力学A」、「統計力学A」、「物理学演習3a、3b、4a、4b」の27単位を含むこと)、専門科目から49単位以上(「物性物理学第1」、「連続体の力学」、「計算物理学および演習」、「量子力学B」、「統計力学B」、「物性物理学第2」、「物理学演習5a、5b」、「物理学実験第2」、「物理光学」、「物性物理学第3、第4」、「物理学実験第3」、「卒業研究A、B」の33単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	工学倫理	1前		2							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	電気工学通論第1	3前		2		0	0				1
	電気工学通論第2	3後		2		0					1
	特許及び知的財産	4後		1							1
	工場見学	3前		1			14				0
	高分子物理化学	3後		2		1	0				
	自動制御	4前		2		0					1
	原子核工学概論	4後		2							1
	物理学特別講義2 a	4前・後		1							1
	物理学特別講義2 b	4前・後		1							1
	物理学特別講義2 c	4前・後		1							1
	物理学特別講義2 d	4前・後		1							1
	工学概論第1	1前		1							7
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							7
	物理工学概論	4前		2		18	14				
	データ統計解析B	4前		2			0	0			2
テクニカルライティング	4前		2							1	
小計(21科目)		-	0	35	0	19	28	0	0	0	33
合計(223科目)		-	75	341	0	131	106	14	128	0	40

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目31単位以上、専門科目49単位以上、関連専門科目4単位以上の合計84単位以上を修得すること。卒業要件は合計133単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から31単位以上(「物理学演習1」、「数学1及び演習」、「解析力学及び演習」、「熱力学」、「物理学演習2a、2b」、「物理学実験第1」、「数学2及び演習」、「電磁気学Ⅲ」、「量子力学A」、「統計力学A」、「物理学演習3a、3b、4a、4b」の27単位を含むこと)、専門科目から49単位以上(「物性物理学第1」、「連続体の力学」、「計算物理学および演習」、「量子力学B」、「統計力学B」、「物性物理学第2」、「物理学演習5a、5b」、「物理学実験第2」、「物理光学」、「物性物理学第3、第4」、「物理学実験第3」、「卒業研究A、B」の33単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上











科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	工学倫理	1前		2							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	電気工学通論第1	3前		2		0	0				1
	電気工学通論第2	3後		2		0					1
	特許及び知的財産	4後		1							1
	工場見学	3前		1			14				0
	高分子物理化学	3後		2		1	0				
	自動制御	4前		2		1					
	原子核工学概論	4後		2							1
	物理学特別講義2a	4前・後		1							1
	物理学特別講義2b	4前・後		1							1
	物理学特別講義2c	4前・後		1							1
	物理学特別講義2d	4前・後		1							1
	工学概論第1	1前		1							1
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							1
	理工学概論	4前		2		18	14				
	データ統計解析B	4前		2							1
	テクニカルライティング	4前		2		0					1
小計(21科目)	-	0	35	0	20	28	0	0	0	19	
合計(223科目)	-	75	341	0	125	104	12	109	0	24	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目31単位以上、専門科目49単位以上、関連専門科目4単位以上の合計84単位以上を修得すること。卒業要件は合計133単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から31単位以上(「理工学演習1」、「数学1及び演習」、「解析力学及び演習」、「熱力学」、「理工学演習2a、2b」、「理工学実験第1」、「数学2及び演習」、「電磁気学Ⅲ」、「量子力学A」、「統計力学A」、「理工学演習3a、3b、4a、4b」の27単位を含むこと)、専門科目から49単位以上(「物性物理学第1」、「連続体の力学」、「計算物理学および演習」、「量子力学B」、「統計力学B」、「物性物理学第2」、「理工学演習5a、5b」、「理工学実験第2」、「物理光学」、「物性物理学第3、第4」、「理工学実験第3」、「卒業研究A、B」の33単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	工学倫理	1前		2							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	電気工学通論第1	3前		2		0	0				1
	電気工学通論第2	3後		2		0					1
	特許及び知的財産	4後		1							1
	工場見学	3前		1			14				0
	高分子物理化学	3後		2		1	0				
	自動制御	4前		2		0					1
	原子核工学概論	4後		2							1
	物理学特別講義2a	4前・後		1							1
	物理学特別講義2b	4前・後		1							1
	物理学特別講義2c	4前・後		1							1
	物理学特別講義2d	4前・後		1							1
	工学概論第1	1前		1							7
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							7
	理工学概論	4前		2		18	14				
	データ統計解析B	4前		2			1	1			1
	テクニカルライティング	4前		2		0					1
小計(21科目)	-	0	35	0	19	29	1	0	0	32	
合計(223科目)	-	75	341	0	129	107	15	115	0	40	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目31単位以上、専門科目49単位以上、関連専門科目4単位以上の合計84単位以上を修得すること。卒業要件は合計133単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から31単位以上(「理工学演習1」、「数学1及び演習」、「解析力学及び演習」、「熱力学」、「理工学演習2a、2b」、「理工学実験第1」、「数学2及び演習」、「電磁気学Ⅲ」、「量子力学A」、「統計力学A」、「理工学演習3a、3b、4a、4b」の27単位を含むこと)、専門科目から49単位以上(「物性物理学第1」、「連続体の力学」、「計算物理学および演習」、「量子力学B」、「統計力学B」、「物性物理学第2」、「理工学演習5a、5b」、「理工学実験第2」、「物理光学」、「物性物理学第3、第4」、「理工学実験第3」、「卒業研究A、B」の33単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**として記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・誤記の訂正により、「複素関数論」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「力学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・誤記の訂正により、「電磁気学Ⅱ」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学序論」の専任教員等の配置を「准教授17」から「准教授14」に、「講師0」から「講師2」に、「助教19」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学演習1」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「解析力学及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験第1」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に、「助教6」から「助教10」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子力学A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学演習3a」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「振動と波動」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験第2」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物性物理学第4」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験第3」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算アルゴリズム」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学セミナー」の専任教員等の配置を「准教授17」から「准教授14」に、「講師0」から「講師2」に、「助教18」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授20」から「教授18」に、「准教授19」から「准教授14」に、「講師0」から「講師2」に、「助教25」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授20」から「教授18」に、「准教授19」から「准教授14」に、「講師0」から「講師2」に、「助教25」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気工学通論第1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気工学通論第2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場見学」の専任教員等の配置を「准教授17」から「准教授14」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高分子物理化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・カリキュラム充実のため、「物理学概論」を追加。
- ・担当教員の見直しにより、「テクニカルライティング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。

**【平成30年度】**

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナー A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授4」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナー B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数学 I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「力学II」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁気学 I」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁気学 II」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端材料と物性物理」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギーと環境」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学序論」の専任教員等の配置を「助教20」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学実験第1」の専任教員等の配置を「助教10」から「助教15」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子力学A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学演習3a」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「連続体の力学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学実験第2」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学熱力学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学実験第3」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子材料化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶力学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ソフトマター物理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学セミナー」の専任教員等の配置を「助教20」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「助教20」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「助教20」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「自動制御」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第1」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第4」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「データ統計解析B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。

**【令和元年度】**

- ・担当教員の見直しにより、「物理工学序論」の専任教員等の配置を「助教19」から「助教20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学演習4b」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学実験第2」の専任教員等の配置を「助教9」から「助教14」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学熱力学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学実験第3」の専任教員等の配置を「助教9」から「助教14」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理工学セミナー」の専任教員等の配置を「助教19」から「助教20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「助教19」から「助教20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「助教19」から「助教20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「データ統計解析B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師1」から「講師0」に、兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
38 科目	184 科目	0 科目	222 科目	38 科目	185 科目	0 科目	223 科目	
				[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{222} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡  施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320-2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 -2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)			
(3) 教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 室用途変更のため（元）	
		工学部 物理工学科		6 7 <del>6 9</del> 7 0 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	工学部物理工学科							
		198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	569 (596)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	569 (596)	0 0	
(6) 図書館		面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		9,229 ㎡	弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度 平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学) 修士(学術)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学)	0.38				
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01				
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学) 博士(学術)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—	平成14年度		愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻  (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
					修士(建築学)					
博士(環境学)					博士(工学)					
博士(建築学)										
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学)	0.48				
					修士(地理学)					
					修士(法学)					
					修士(経済学)					
博士(環境学)					博士(社会学)					
博士(社会学)					博士(地理学)					
博士(地理学)					博士(法学)					
博士(法学)					博士(経済学)					
博士(経済学)										
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
博士(情報科学)					博士(工学)	—				
博士(工学)					博士(学術)	—				
博士(学術)										
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
博士(情報科学)					博士(工学)	—				
博士(工学)					博士(学術)	—				
博士(学術)										
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
博士(情報科学)					博士(工学)	—				
博士(工学)					博士(学術)	—				
博士(学術)										
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
博士(情報科学)					博士(工学)	—				
博士(工学)					博士(学術)	—				
博士(学術)										



大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 物理工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岸田 英夫  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 原子物理学 物理光学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	笹井 理生  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論 統計力学A 物理学演習3b 生物物理学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岸田 英夫  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 原子物理学 物理光学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	笹井 理生  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論 統計力学A 物理学演習3b 生物物理学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岸田 英夫  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理光学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	笹井 理生  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論 統計力学A 物理学演習3b 生物物理学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岸田 英夫  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理光学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	笹井 理生  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論 統計力学A 物理学演習3b 生物物理学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松永 克志  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理工学序論  物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	生田 博志  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理工学序論 数学1及び演習 物性物理学第3 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 先端材料と物性物理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松永 克志  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理工学序論  物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 物理工学概論
専	教授	生田 博志  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理工学序論 数学1及び演習 物性物理学第3 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 物理工学概論 先端材料と物性物理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松永 克志  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料と物性物理 物理工学序論  物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 物理工学概論
専	教授	生田 博志  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料と物性物理 物理工学序論 数学1及び演習 物性物理学第3 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 物理工学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松永 克志  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料と物性物理 物理工学序論 化学熱力学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 物理工学概論
専	教授	生田 博志  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料と物性物理 物理工学序論 数学1及び演習 物性物理学第3 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 物理工学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 秀文  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	曾田 一雄  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 秀文  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	曾田 一雄  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 秀文  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>原子物理学</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	曾田 一雄  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 物理学序論 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 秀文  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>原子物理学</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	曾田 一雄  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 物理学序論 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	増淵 雄一  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理工学序論 応用物性 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 高分子物理化学
専	教授	竹延 大志  <平成29年4月> 博士(材料科学)
		物理工学序論 物性物理学第2 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	増淵 雄一  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理工学序論 応用物性 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 高分子物理化学 <b>物理工学概論</b>
専	教授	竹延 大志  <平成29年4月> 博士(材料科学)
		物理工学序論 物性物理学第2 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	増淵 雄一  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>線形代数学 I</b> 物理工学序論 応用物性 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 高分子物理化学 <b>物理工学概論</b>
専	教授	竹延 大志  <平成29年4月> 博士(材料科学)
		<b>基礎セミナーB</b> 物理工学序論 物性物理学第2 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	増淵 雄一  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>線形代数学 I</b> 物理工学序論 応用物性 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 高分子物理化学 <b>物理工学概論</b>
専	教授	竹延 大志  <平成29年4月> 博士(材料科学)
		<b>基礎セミナーB</b> 物理工学序論 物性物理学第2 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹中 康司  <平成29年4月> 博士(工学)
		理工学序論 連続体の力学 統計力学B 理工学演習5b 理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	中塚 理  <平成29年4月> 博士(工学)
		理工学序論 理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 力学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹中 康司  <平成29年4月> 博士(工学)
		理工学序論 連続体の力学 統計力学B 理工学演習5b 理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>理工学概論</b>
専	教授	中塚 理  <平成29年4月> 博士(工学)
		理工学序論 <b>理工学演習1</b> 理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>理工学概論</b> 力学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹中 康司  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 理工学序論 統計力学B 理工学演習5b 理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>理工学概論</b>
専	教授	中塚 理  <平成29年4月> 博士(工学)
		力学II <b>理工学序論</b> 理工学演習1 理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹中 康司  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 理工学序論 統計力学B 理工学演習5b 理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>理工学概論</b>
専	教授	中塚 理  <平成29年4月> 博士(工学)
		力学II <b>理工学序論</b> 理工学演習1 理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 紹良  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論 数学2及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 微分積分学Ⅱ
専	教授	長谷川 正  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 紹良  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論 数学2及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b> 微分積分学Ⅱ
専	教授	長谷川 正  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 紹良  <平成29年4月> 工学博士
		微分積分学Ⅱ 物理学序論 数学2及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	長谷川 正  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 紹良  <平成29年4月> 工学博士
		微分積分学Ⅱ 物理学序論 数学2及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	長谷川 正  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 物理学序論 <b>化学熱力学</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田仲 由喜夫  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論 量子力学B 物理学演習5 a 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田仲 由喜夫  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論 量子力学B 物理学演習5 a 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田仲 由喜夫  <平成29年4月> 理学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 物理学序論 量子力学B 物理学演習5 a 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	<b>柏谷 聡</b>  <平成30年4月> 博士(理学)
		<b>物理学序論</b> <b>量子力学A</b> <b>物理学演習3 a</b> <b>物理学セミナー</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田仲 由喜夫  <平成29年4月> 理学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 物理学序論 量子力学B 物理学演習5 a 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	<b>柏谷 聡</b>  <平成30年4月> 博士(理学)
		<b>物理学序論</b> <b>量子力学A</b> <b>物理学演習3 a</b> <b>物理学セミナー</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>物理学概論</b>



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 賢二  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習4 a 物理学 量子力学C 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	武藤 俊介  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 賢二  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習4 a 物理学 量子力学C 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	武藤 俊介  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 賢二  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習4 a 物理学 量子力学C 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	武藤 俊介  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論 <b>熱力学</b> <b>物理学演習2 a</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 賢二  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習4 a 物理学 量子力学C 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	武藤 俊介  <平成29年4月> 工学博士
		物理学序論 <b>熱力学</b> <b>物理学演習2 a</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤 博  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習2b 物性物理学第1 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	齋藤 晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 電磁気学Ⅲ 物理学演習4b 計算機プログラミング 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤 博  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習2b 物性物理学第1 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	齋藤 晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 電磁気学Ⅲ 物理学演習4b 計算機プログラミング 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤 博  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>電磁気学Ⅱ</b> 物理学序論 物理学演習2b 物性物理学第1 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	齋藤 晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 電磁気学Ⅲ 物理学演習4b 計算機プログラミング 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤 博  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>電磁気学Ⅱ</b> 物理学序論 物理学演習2b 物性物理学第1 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>
専	教授	齋藤 晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 電磁気学Ⅲ 物理学演習4b 計算機プログラミング 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 弥八  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理工学序論 熱力学 物理工学演習2 a 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	准教授	伊東 裕  <平成29年4月> 理学修士
		物理工学序論 化学物理学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 化学基礎 I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 弥八  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理工学序論 熱力学 物理工学演習2 a 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B <b>物理工学概論</b> 基礎セミナーA
専	准教授	伊東 裕  <平成29年4月> 理学修士
		物理工学序論 化学物理学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊東 裕  <平成29年4月> 理学修士
		<b>化学基礎 I</b> 物理工学序論 化学物理学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊東 裕  <平成29年4月> 理学修士
		<b>化学基礎 I</b> 物理工学序論 化学物理学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 佳比古  <平成29年4月> 博士(科学)
		物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 力学I
専	准教授	寺田 智樹  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理工学序論 生物科学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 佳比古  <平成29年4月> 博士(科学)
		物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理工学概論 力学I
専	准教授	寺田 智樹  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理工学序論 生物科学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理工学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 佳比古  <平成29年4月> 博士(科学)
		力学I 物理学実験 物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理工学概論
専	准教授	寺田 智樹  <平成29年4月> 博士(理学)
		基礎セミナーA 物理工学序論 生物科学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理工学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 佳比古  <平成29年4月> 博士(科学)
		力学I 物理学実験 物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理工学概論
専	准教授	寺田 智樹  <平成29年4月> 博士(理学)
		基礎セミナーA 物理工学序論 生物科学 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理工学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 剛史  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 化学基礎I
専	准教授	植田 研二  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 剛史  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理工学序論 <b>振動と波動</b> 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b> 化学基礎I
専	准教授	植田 研二  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 剛史  <平成29年4月> 博士(理学)
		化学基礎I 物理工学序論 <b>振動と波動</b> 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b>
専	准教授	植田 研二  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>先端材料と物性物理</b> 物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 剛史  <平成29年4月> 博士(理学)
		化学基礎I 物理工学序論 <b>振動と波動</b> 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b>
専	准教授	植田 研二  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>先端材料と物性物理</b> 物理工学序論 物理工学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理工学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		石原 卓  <平成29年4月> 博士(工学)
専	准教授	物理学序論 流体物理学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		石原 卓  <平成29年4月> 博士(工学)
専	准教授	物理学序論 流体物理学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		畝山 多加志  <平成30年4月> 博士(理学)
専	准教授	物理学序論 計算物理学および演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		畝山 多加志  <平成30年4月> 博士(理学)
専	准教授	物理学序論 計算物理学および演習 ソフトマター物理学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口 由紀  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 量子力学A 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学
専	准教授	曾我部 知広  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 計算アルゴリズム 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 線形代数学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口 由紀  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 量子力学A <b>物理学演習3a</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>
専	准教授	曾我部 知広  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 計算アルゴリズム 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b> 線形代数学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口 由紀  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>
専	准教授	曾我部 知広  <平成29年4月> 博士(工学)
		線形代数学Ⅱ 物理学序論 計算アルゴリズム 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口 由紀  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>
専	准教授	曾我部 知広  <平成29年4月> 博士(工学)
		線形代数学Ⅱ 物理学序論 計算アルゴリズム 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丹羽 健  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学
専	准教授	中村 篤智  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丹羽 健  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論
専	准教授	中村 篤智  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論 基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丹羽 健  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギーと環境 物理学序論 連続体の力学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論
専	准教授	中村 篤智  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーB 物理学序論 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丹羽 健  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギーと環境 物理学序論 連続体の力学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論
専	准教授	中村 篤智  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーB 物理学序論 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 和昌  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 電子計測工学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学
専	准教授	片山 尚幸  <平成29年4月> 博士(科学)
		物理学序論 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 和昌  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 電子計測工学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論
専	准教授	片山 尚幸  <平成29年4月> 博士(科学)
		物理学序論 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 和昌  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 物理学序論 電子計測工学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論
専	准教授	片山 尚幸  <平成29年4月> 博士(科学)
		先端材料と物性物理 物理学序論 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 和昌  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 物理学序論 電子計測工学 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論
専	准教授	片山 尚幸  <平成29年4月> 博士(科学)
		先端材料と物性物理 物理学序論 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 物理学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	芳松 克則  <平成29年4月> 博士(情報学)
		物理学序論 計算物理学および演習  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学
専	准教授	栗原 真人  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 解析力学及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	芳松 克則  <平成29年4月> 博士(情報学)
		物理学序論 計算物理学および演習  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>
専	准教授	栗原 真人  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 解析力学及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	芳松 克則  <平成29年4月> 博士(情報学)
		物理学序論 <b>流体物理学</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>
専	准教授	栗原 真人  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 解析力学及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	芳松 克則  <平成29年4月> 博士(情報学)
		物理学序論 <b>流体物理学</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>
専	准教授	栗原 真人  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 解析力学及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B 工場見学 <b>物理学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		安坂 幸師  <平成29年4月> 博士(工学)
専	講師	物理学序論 物理学実験第1 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
		黒澤 昌志  <平成29年4月> 博士(工学)
専	講師	物理学序論 物性物理学第4 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		安坂 幸師  <平成29年4月> 博士(工学)
専	講師	力学Ⅱ 物理学序論 物理学実験第1 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
		黒澤 昌志  <平成29年4月> 博士(工学)
専	講師	電磁気学Ⅰ 物理学序論 物性物理学第4 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		安坂 幸師  <平成29年4月> 博士(工学)
専	講師	力学Ⅱ 物理学序論 物理学実験第1 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
		黒澤 昌志  <平成29年4月> 博士(工学)
専	講師	電磁気学Ⅰ 物理学序論 物性物理学第4 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	羽尻 哲也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	浦田 隆広  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学実験第3  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	横井 達矢  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	羽尻 哲也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	浦田 隆広  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b>  物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	横井 達矢  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	羽尻 哲也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b>  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	浦田 隆広  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> <b>物理学実験第2</b> 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	横井 達矢  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  <b>物理学実験第1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	羽尻 哲也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> <b>物理学実験第2</b> <b>物理学実験第3</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	浦田 隆広  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> <b>物理学実験第2</b> 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	横井 達矢  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第2</b> <b>物理学実験第3</b> <b>物理学実験第1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横山 泰範  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第2 物理学セミナー  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	岡本 直也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学演習4b 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	加藤 政彦  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横山 泰範  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	岡本 直也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>数学1及び演習</b> 物理学演習4b 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	加藤 政彦  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横山 泰範  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 <b>物理学実験第3</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	岡本 直也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>数学1及び演習</b> 物理学演習4b 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	加藤 政彦  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横山 泰範  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 <b>物理学実験第3</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	岡本 直也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>数学1及び演習</b> 物理学演習4b 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	加藤 政彦  <平成29年4月> 理学博士
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	蒲江  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	宮武 勇登  <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		物理学序論 数学2及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	蒲江  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	宮武 勇登  <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		物理学序論 数学2及び演習 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	蒲江  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第1 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	佐々木 拓也  <平成30年10月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第1  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	蒲江  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第1 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	佐々木 拓也  <平成30年10月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第1 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	坂下 満男  <平成29年4月> 理工学学士
		物理学序論 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 哲也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	坂下 満男  <平成29年4月> 理工学学士
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 哲也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	坂下 満男  <平成29年4月> 理工学学士
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 哲也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>柴山 茂久</b>  <b>&lt;平成30年6月&gt;</b> <b>博士(工学)</b>
		<b>物理学序論</b> <b>物理学実験第2</b> <b>物理学実験第3</b> <b>物理学セミナー</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	坂下 満男  <平成29年4月> 理工学学士
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 哲也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>柴山 茂久</b>  <b>&lt;平成30年6月&gt;</b> <b>博士(工学)</b>
		<b>物理学序論</b> <b>物理学実験第2</b> <b>物理学実験第3</b> <b>物理学セミナー</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石田 高史  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	千見寺 浄慈  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習3b 物理学演習4a 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石田 高史  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	千見寺 浄慈  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習3b 物理学演習4a 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石田 高史  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	千見寺 浄慈  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習3b 物理学演習4a 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石田 高史  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	千見寺 浄慈  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習3b 物理学演習4a 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	洗平 昌晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学演習2b 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	大塚 真弘  <平成29年4月> 博士(理学)
		卒業研究A  卒業研究B
専	助教	竹内 和歌奈  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	洗平 昌晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習2b 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	大塚 真弘  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	竹内 和歌奈  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第1 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	洗平 昌晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習2b 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	大塚 真弘  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学実験第1  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	竹内 和歌奈  <平成29年4月> 博士(工学)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	洗平 昌晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学演習2b 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	大塚 真弘  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学実験第1 物理学実験第2 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	竹内 和歌奈  <平成29年4月> 博士(工学)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中原 仁  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第2 物理学セミナー  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	中村 優斗  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第3  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中原 仁  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	中村 優斗  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b>  物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中原 仁  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 <b>物理学実験第3</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	中村 優斗  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> <b>物理学実験第2</b> 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中原 仁  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 <b>物理学実験第3</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	中村 優斗  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> <b>物理学実験第2</b> 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	田中 久暁  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 物理学実験第3  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	畑野 敬史  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学実験第2 物理学セミナー  卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	田中 久暁  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b>  物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	畑野 敬史  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2  物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	田中 久暁  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> <b>物理学実験第2</b> 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	畑野 敬史  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 <b>物理学実験第3</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	田中 久暁  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> <b>物理学実験第2</b> 物理学実験第3 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	畑野 敬史  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学実験第1</b> 物理学実験第2 <b>物理学実験第3</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢田 圭司  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	教授	古橋 武  <平成29年4月> 工学博士
		電気工学通論第2
兼任	教授	佐藤 健一  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気工学通論第1
兼任	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢田 圭司  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学演習1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	教授	<b>古橋 武</b>  <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> <b>工学博士</b>
		<b>電気工学通論第2</b>
兼任	教授	<b>佐藤 健一</b>  <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> <b>博士(工学)</b>
		<b>電気工学通論第1</b>
兼任	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢田 圭司  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学演習1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	教授	<b>古橋 武</b>  <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> <b>工学博士</b>
		<b>電気工学通論第2</b>
兼任	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢田 圭司  <平成29年4月> 博士(理学)
		物理学序論 <b>物理学演習1</b> 物理学セミナー 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>剣持 智哉</b>  <b>&lt;平成31年4月&gt;</b> <b>博士(数理学)</b>
		物理学序論 <b>数学2及び演習</b> <b>物理学セミナー</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	教授	<b>古橋 武</b>  <b>&lt;平成29年4月&gt;</b> <b>工学博士</b>
		<b>電気工学通論第2</b>
兼任	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小島 康明 <平成29年4月> 博士(工学)
		原子核工学概論
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		自動制御
兼任	准教授	小島 康明 <平成29年4月> 博士(工学)
		原子核工学概論
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		自動制御
兼任	准教授	岡本 正吾 <平成30年4月> 博士(情報科学)
		データ統計解析B
兼任	准教授	小島 康明 <平成29年4月> 博士(工学)
		原子核工学概論
兼任	准教授	田畑 彰守 <平成30年4月> 博士(工学)
		電気工学通論第1
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		自動制御
兼任	准教授	岡本 正吾 <平成30年4月> 博士(情報科学)
		データ統計解析B
兼任	准教授	小島 康明 <平成29年4月> 博士(工学)
		原子核工学概論
兼任	准教授	田畑 彰守 <平成30年4月> 博士(工学)
		電気工学通論第1
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	黒田 敏秋 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	伊藤 誠 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	関戸 淳二 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	古川 智康 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	山中 浩二 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	高木 愛子 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 工学博士 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 工学博士 工学概論第1



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	瀧上 唯夫 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理
兼任	講師	古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学) 経営工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理
兼任	講師	古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学) 経営工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								高橋 一正			高橋 一正
						兼任	講師	<平成30年4月>		兼任	講師
								博士(工学)			博士(工学)
								産業と経済			産業と経済

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更  
岸田 英夫, 笹井 理生, 松永 克志, 生田 博志, 浅野 秀文, 曾田 一雄, 増淵 雄一, 竹延 大志, 竹中 康司, 中塚 理, 張 紹良, 長谷川 正, 田仲 由喜夫, 白石 賢二, 武藤 俊介, 澤 博, 齋藤 晃, 齋藤 弥八, 伊東 裕, 岡本 佳比古, 寺田 智樹, 小山 剛史, 植田 研二, 石原 卓, 川口 由紀, 曾我部 知広, 中村 篤智, 飯田 和昌, 片山 尚幸, 芳松 克則, 栗原 真人, 安坂 幸師, 黒澤 昌志, 浦田 隆広, 横山 泰範, 岡本 直也, 坂下 満男, 山本 哲也, 石田 高史, 洗平 昌晃, 大塚 真弘, 竹内 和歌奈, 中原 仁, 中村 優斗, 田中 久暁, 畑野 敬史, 矢田 圭司, 古橋 武, 佐藤 健一, 道木 慎二

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
岸田 英夫, 松永 克志, 浅野 秀文, 曾田 一雄, 増淵 雄一, 竹延 大志, 竹中 康司, 長谷川 正, 武藤 俊介, 澤 博, 伊東 裕, 岡本 佳比古, 寺田 智樹, 植田 研二, 川口 由紀, 丹羽 健, 飯田 和昌, 片山 尚幸, 芳松 克則, 安坂 幸師, 黒澤 昌志, 羽尻 哲也, 浦田 隆広, 横井 達矢, 横山 泰範, 加藤 政彦, 蒲 江, 大塚 真弘, 中原 仁, 中村 優斗, 田中 久暁, 畑野 敬史  
・以下辞任  
齋藤 弥八, 石原 卓, 宮武 勇登, 竹内 和歌奈, 佐藤 健一, 柴山 茂久  
・以下就任  
柏谷 聡, 畝山 多加志, 佐々木 拓也, 岡本 正吾, 田畑 彰守, 黒田 敏秋, 伊藤 誠, 奥村 由美, 梶川 しのぶ, 宮崎 秀俊, 古賀 恵美, 秋澤 淳, 小河 真由美, 小室 輝代, 森 達博, 瀧上 唯夫, 中村 武志, 日下部 玲子, 古澤 和行, 高橋 一正

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
松永 克志, 長谷川 正, 畝山 多加志, 羽尻 哲也, 横井 達矢, 佐々木 拓也, 大塚 真弘  
・以下辞任  
岡本 直也, 黒田 敏秋, 伊藤 誠, 山口 佳一, 瀧上 唯夫  
・以下就任  
劔持 智哉, 関戸 淳二, 古川 智康, 山中 浩二, 高木 愛子

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一-Iにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
20	19	0	25	64	18	14	2	20	54
(18)	(14)	(2)	(20)	(54)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
20	19	0	25	64	20	19	0	25	64
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{64}{64} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{54} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	石原 卓	H29.7	選択	物理工学序論	①	H29.7.31付け退職のため辞任 (30)						
				選択	流体物理学	①							
				選択	物理工学セミナー	①							
				必修	卒業研究A	①							
				必修	卒業研究B	①							
				選択	工場見学	①							
				選択	物理工学概論	①							
2	助教	宮武 勇登	H30.3	選択	物理工学序論	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)						
				必修	数学2及び演習	①							
				選択	物理工学セミナー	①							
				必修	卒業研究A	①							
				必修	卒業研究B	①							
3	助教	竹内 和歌奈	H30.3	選択	物理工学序論	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)						
				必修	物理工学実験第1	①							
				必修	物理工学実験第2	①							
				必修	物理工学実験第3	①							
				選択	物理工学セミナー	①							
				必修	卒業研究A	①							
				必修	卒業研究B	①							
4	助教	岡本 直也	H31.3	選択	物理工学序論	①	H31.3.31付け退職のため辞任 (元)						
				必修	数学1及び演習	①							
				必修	物理工学演習4b	①							
				選択	物理工学セミナー	①							
				必修	卒業研究A	①							
				必修	卒業研究B	①							
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
4	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	25	科目	計	25	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
4	人	必修	14 科目	必修	14 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	25 科目	計	25 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{64} = \boxed{6.25} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	齋藤 弥八	選択	物理工学序論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)			
			必修	熱力学	①				
			必修	物理工学演習2 a	①				
			選択	物理工学セミナー	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	物理工学概論	①				
			選択	基礎セミナーA	①				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。  
なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 物理工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。</li> <li>・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会 月1回程度開催:新旧学科・専攻から代表委員が参加。</li> <li>・教授会 年4回程度:講師以上が参加。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会では、教育制度全般(基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導體制、教育内容・方法・評価)について検討・改善するための取組を分掌。</li> <li>また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学主催の新任教員研修FDへの参加(本学高等教育研究センターが実施)</li> <li>・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。</li> <li>・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。</li> <li>・教授会での各種説明会の実施。</li> <li>・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。</li> <li>・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。</li> <li>・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。</li> <li>・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等</li> </ul>
--



を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会  
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席  
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席  
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、工学部では、工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すため、基礎教育に関して共通部分の多い分野を統合した学科構成に再編（平成29年度から教育組織を改編し、化学生命工学科、物理工学科、マテリアル工学科、電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科、エネルギー理工学科、環境土木・建築学科の7学科構成）し、遅い年次で専門分野が選択できる基礎を重視し、創成型科目も充実させた教育カリキュラムへの変更を行うことにより、学部及び大学院教育を充実させ、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 学部では、教養科目、基礎科目を総合大学の強みを生かした全学科目として開講し、人間としての素養を含む基礎を教える。続く専門教育では演習を加えた授業形態で応用力をつける。また、創成型科目※を充実させて、総合力、創造力、俯瞰力を涵養し、大学院での学習に繋げる。  
(※ 1年次からの専門系科目を拡大し、専門教育初期の段階から、既存の知識にとらわれず自らの発想に基づいて授業を設計する科目)  
ただし、日本技術者教育認定機構（JABEE）認定プログラムに沿った教育を採用している学科（環境土木・建築学科）においては、それと齟齬のないカリキュラムとする。

(2) 導入教育として、安全教育、倫理教育、情報セキュリティ教育、知財教育に関するカリキュラムを充実させる。

(3) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

② 自己点検・評価報告書  
a 公表（予定）時期  
・令和元年10月頃 公表予定  
b 公表方法  
・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。  
・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画  
・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年 6月 1日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

## (2) 大学名 名古屋大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601  
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

学部長	(ニイミ トモヒデ) 新美智秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水谷法美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
学科長等	(コバシ マコト) 小橋 眞 (平成29年4月)	(コヤマ トシユキ) <del>(タカミ セイイチ)</del> 小山敏幸 <del>高見誠</del> (平成31年4月) <del>(平成30年4月)</del>	変更理由：学科長改選のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 マテリアル 工学科 学士（工学）	工学関係	4年	110人	— 年次 人	440人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	110 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	110 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	110 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	1.00倍	—	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	285 ( - ) [ 4 ]	— ( - ) [ - ]	193 ( - ) [ 4 ]	— ( - ) [ - ]	251 ( 4 ) [ 6 ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	275 ( - ) [ 4 ]	— ( - ) [ - ]	181 ( - ) [ 3 ]	— ( - ) [ - ]	232 ( 4 ) [ 6 ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	111 ( - ) [ 1 ]	— ( - ) [ - ]	114 ( - ) [ 2 ]	— ( - ) [ - ]	114 ( 3 ) [ 3 ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	109 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	112 ( - ) [ 1 ]	— ( - ) [ - ]	111 ( 1 ) [ 0 ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A					0.99		1.01		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	109 [ 0 ] ( - )	0 [ 0 ] ( - )	113 [ 1 ] ( 1 )	0 [ 0 ] ( - )	113 [ 0 ] ( 2 )	0 [ 0 ] ( - )	2019年4月 編入学1名
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	/		107 [ 0 ] ( 0 )	0 [ 0 ] ( 0 )	117 [ 1 ] ( 6 )	0 [ 0 ] ( - )	
3年次			/				/		/		
4年次	/				/						
計			[ ] ( )	[ ] ( )			109 [ 0 ] ( - )	220 [ 1 ] ( 1 )	331 [ 1 ] ( 8 )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	109人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	他の教育機関への入学(1人)
平成30年度	220人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	除籍(1人)
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	331人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		2人		2人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{109} = \boxed{0.91} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{220} = \boxed{0.45} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{330} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2									
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2										
	システム工学入門	1前	2										
	情報科学入門	1前	2										
	現代数学への流れ	1後	2										
	先端材料と物性物理	2前	2										
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2										
	物理現象の科学	2前	2										
	原子・分子の科学	2後	2										
	物質世界の認識	1前	2										
	物質と材料の科学	1後	2										
	現代の生命科学	2後	2										
	現代医療と生命科学	1前	2										
	生涯健康と医学	2後	2										
	健康増進科学	2前	2										
	遺伝子の世界	1後	2										
	食と農の科学	1前	2										
	動植物の科学	2前	2										
	微生物の科学	1後	2										
	バイオテクノロジー	2前	2										
	地球惑星の科学	1前	2										
	自然環境と人間	1後	2										
	エネルギーと環境	1前	2										
	自然環境と人間社会	1前	2										
	環境問題と人間	2前	2										
	都市と環境	1後	2										
	大気圏環境の科学	1前	2										
小計(27科目)	-	0	54	0	0	0	0	0	0	0		0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2										
	芸術と人間精神	2前・後	2										
	表象芸術論	2前・後	2										
	音楽芸術論	2前・後	2										
	科学・技術の倫理	2前	2										
	科学技術史	2前・後	2										
	科学技術社会論	2前・後	2										
	科学技術とジェンダー	2前・後	2										
	宗教と人類文化	2前・後	2										
	異文化論	2後	2										
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2										
	留学生と日本	2後	2										
	名大の歴史をたどる	1前	2										
	大学でどう学ぶか	1前	2										
	キャリア形成論	2前・後	2										
	学問の面白さを知る	1前	2										
	切迫する自然災害に備える	2前	2										
	アーカイブズ入門―文書史料の世界をあるく―	2後	2										
	人間関係とコミュニケーション	2前	2										
	ピア・カウンセリング	2前	2										
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0		0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2									
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2										
	システム工学入門	1前	2										
	情報科学入門	1前	2								1		
	現代数学への流れ	1後	2										
	先端材料と物性物理	2前	2										
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2										
	物理現象の科学	2前	2										
	原子・分子の科学	2後	2										
	物質世界の認識	1前	2										
	物質と材料の科学	1後	2										1
	現代の生命科学	2後	2										
	現代医療と生命科学	1前	2										
	生涯健康と医学	2後	2										
	健康増進科学	2前	2										
	遺伝子の世界	1後	2										
	食と農の科学	1前	2										
	動植物の科学	2前	2										
	微生物の科学	1後	2										
	バイオテクノロジー	2前	2										
	地球惑星の科学	1前	2										
	自然環境と人間	1後	2										
	エネルギーと環境	1前	2										
	自然環境と人間社会	1前	2										
	環境問題と人間	2前	2										
	都市と環境	1後	2										
	大気圏環境の科学	1前	2										
小計(27科目)	-	0	54	0		4	0	0	0	0		0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2										
	芸術と人間精神	2前・後	2										
	表象芸術論	2前・後	2										
	音楽芸術論	2前・後	2										
	科学・技術の倫理	2前	2										
	科学技術史	2前・後	2										
	科学技術社会論	2前・後	2										
	科学技術とジェンダー	2前・後	2										
	宗教と人類文化	2前・後	2										
	異文化論	2後	2										
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2										
	留学生と日本	2後	2										
	名大の歴史をたどる	1前	2										
	大学でどう学ぶか	1前	2										
	キャリア形成論	2前・後	2										
	学問の面白さを知る	1前	2										
	切迫する自然災害に備える	2前	2										
	アーカイブズ入門―文書史料の世界をあるく―	2後	2										
	人間関係とコミュニケーション	2前	2										
	ピア・カウンセリング	2前	2										
小計(20科目)	-	0	40	0		0	0	0	0	0		0	



卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目43単位以上、専門科目41単位以上、関連専門科目1単位以上の合計85単位以上を修得すること。卒業要件は合計134単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から43単位(「コンピュータリテラシー及びプログラミング」、「結晶物理学」、「物理化学1」、「化学プロセス工学」、「材料力学」、「マテリアル量子工学」、「マテリアル固体物理1」、「数学1及び演習」、「設計製図」、「物理化学2」、「機器分析概論」、「材料強度学」、「マテリアル固体物理2及び演習」、「先端マテリアル工学概論1」、「数学2及び演習」、「先端プロセス工学1」、「物理化学3及び演習」、「熱移動と拡散」、「相平衡論」、「流動及び演習」、「学生実験1」)、専門科目から41単位以上(「マテリアル量子化学」、「反応工学」、「物理化学演習」、「固体物理演習」、「学生実験2」、「物理化学4」、「マテリアル工学演習」、「卒業研究A、B」の22単位を含むこと)、関連専門科目から1単位以上

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目43単位以上、専門科目41単位以上、関連専門科目1単位以上の合計85単位以上を修得すること。卒業要件は合計134単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から43単位(「コンピュータリテラシー及びプログラミング」、「結晶物理学」、「物理化学1」、「化学プロセス工学」、「材料力学」、「マテリアル量子工学」、「マテリアル固体物理1」、「数学1及び演習」、「設計製図」、「物理化学2」、「機器分析概論」、「材料強度学」、「マテリアル固体物理2及び演習」、「先端マテリアル工学概論1」、「数学2及び演習」、「先端プロセス工学1」、「物理化学3及び演習」、「熱移動と拡散」、「相平衡論」、「流動及び演習」、「学生実験1」)、専門科目から41単位以上(「マテリアル量子化学」、「反応工学」、「物理化学演習」、「固体物理演習」、「学生実験2」、「物理化学4」、「マテリアル工学演習」、「卒業研究A、B」の22単位を含むこと)、関連専門科目から1単位以上











卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目43単位以上、専門科目41単位以上、関連専門科目1単位以上の合計85単位以上を修得すること。卒業要件は合計134単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から43単位(「コンピュータリテラシー及びプログラミング」、「結晶物理学」、「物理化学1」、「化学プロセス工学」、「材料力学」、「マテリアル量子工学」、「マテリアル固体物理1」、「数学1及び演習」、「設計製図」、「物理化学2」、「機器分析概論」、「材料強度学」、「マテリアル固体物理2及び演習」、「先端マテリアル工学概論1」、「数学2及び演習」、「先端プロセス工学1」、「物理化学3及び演習」、「熱移動と拡散」、「相平衡論」、「流動及び演習」、「学生実験1」)、専門科目から41単位以上(「マテリアル量子化学」、「反応工学」、「物理化学演習」、「固体物理演習」、「学生実験2」、「物理化学4」、「マテリアル工学演習」、「卒業研究A、B」の22単位を含むこと)、関連専門科目から1単位以上

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目43単位以上、専門科目41単位以上、関連専門科目1単位以上の合計85単位以上を修得すること。卒業要件は合計134単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から43単位(「コンピュータリテラシー及びプログラミング」、「結晶物理学」、「物理化学1」、「化学プロセス工学」、「材料力学」、「マテリアル量子工学」、「マテリアル固体物理1」、「数学1及び演習」、「設計製図」、「物理化学2」、「機器分析概論」、「材料強度学」、「マテリアル固体物理2及び演習」、「先端マテリアル工学概論1」、「数学2及び演習」、「先端プロセス工学1」、「物理化学3及び演習」、「熱移動と拡散」、「相平衡論」、「流動及び演習」、「学生実験1」)、専門科目から41単位以上(「マテリアル量子化学」、「反応工学」、「物理化学演習」、「固体物理演習」、「学生実験2」、「物理化学4」、「マテリアル工学演習」、「卒業研究A、B」の22単位を含むこと)、関連専門科目から1単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・誤記の訂正により、「複素関数論」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・誤記の訂正により、「電磁気学Ⅱ」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「コンピューター・リテラシー及びプログラミング」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶物理学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル量子工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル個体物理1」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端マテリアル工学概論1」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授21」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学1」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授21」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理化学3及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「熱移動と拡散」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学生実験1」の専任教員等の配置を「准教授15」から「准教授14」に、兼任・兼担の教員を「0」から「5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「反応工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理化学演習」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に、「准教授0」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端マテリアル工学概論2」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授21」に、「准教授14」から「准教授15」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学2」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授21」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「金属材料学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学エネルギーシステム」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「システム制御」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル工学演習」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授21」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学工学概論」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料工学概論」の専任教員等の配置を「教授12」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授24」から「教授21」に、「准教授25」から「准教授15」に、「講師0」から「講師6」に、「助教24」から「助教18」に、兼任・兼担の教員を「5」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授24」から「教授21」に、「准教授25」から「准教授15」に、「講師0」から「講師6」に、「助教24」から「助教18」に、兼任・兼担の教員を「5」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「テクニカルライティング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル工学概論」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授21」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授21」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場見学」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授21」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーA」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授7」に、「准教授2」から「准教授4」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数学I」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数学I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「力学I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「力学II」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁気学II」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学基礎I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学基礎II」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授2」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学実験」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「システム工学入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物質世界の認識」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物質と材料の科学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「コンピューター・リテラシー及びプログラミング」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶物理学」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理化学1」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料力学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル量子工学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル個体物理1」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「設計製図」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理化学2」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機器分析概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル個体物理2及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端マテリアル工学特論1」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学1」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理化学3及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「熱移動と拡散」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学生実験1」の専任教員等の配置を「助教18」から「助教17」に、兼任・兼担の教員を「5」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル量子科学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理化学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料塑性学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気化学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「粒子・粉体工学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端マテリアル工学特論2」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学2」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授2」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体物理演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学生実験2」の専任教員等の配置を「助教18」から「助教17」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理化学4」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造材料学及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「金属材料学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授2」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「セラミック材料学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電子デバイス工学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「拡散システム」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「システム制御」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境システム工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル工学演習」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学工学概論」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授20」に、「准教授15」から「准教授16」に、「講師6」から「講師3」に、「助教18」から「助教17」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授20」に、「准教授15」から「准教授16」に、「講師6」から「講師3」に、「助教18」から「助教17」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第1」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第4」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マテリアル工学概論」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場見学」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授20」に変更。

**【令和元年度】**

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーA」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「コンピューター・リテラシー及びプログラミング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「熱移動と拡散」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学生実験1」の専任教員等の配置を「准教授15」から「准教授18」に、「助教17」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「素材プロセス工学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「混相流動」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分離システム」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端マテリアル工学特論2」の専任教員等の配置を「准教授15」から「准教授18」に、兼任・兼任の教員を「0」から「10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学生実験2」の専任教員等の配置を「准教授14」から「准教授18」に、「助教17」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理化学4」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼任の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「システム制御」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「准教授16」から「准教授18」に、「助教17」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「准教授16」から「准教授18」に、「助教17」から「助教19」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
38 科目	174 科目	0 科目	212 科目	38 科目	174 科目	0 科目	212 科目	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{212} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡  施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）	
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320-2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 -2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	590,883 -578,743 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	590,883 -578,743 ㎡	大学全体		
	(590,883 578,743 ㎡)	( 0 ㎡)	( 0 ㎡)	(590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成31年4月 室用途変更のため（元）		
	工学部 マテリアル工学科			8 2 7 8 7 7 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学部 マテリアル工学科	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	794 969	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	794 969	0 0	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次— 2年次—	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		



大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)					
					博士(歴史学)					
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
綜合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻  (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<工学部 マテリアル工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇佐美 徳隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1
		物理化学演習 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2
		固体物理演習
		マテリアル工学演習
		材料工学概論
		卒業研究A
		卒業研究B
		マテリアル工学概論
		工場実習
		工場見学
		電磁気学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇佐美 徳隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1
		物理化学演習 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2
		固体物理演習
		マテリアル工学演習
		材料工学概論
		卒業研究A
		卒業研究B
		マテリアル工学概論
		工場実習
		工場見学
		電磁気学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇佐美 徳隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		マテリアル固体物理 2及び演習 先端マテリアル工学 概論1
		マテリアル量子化学
		先端マテリアル工学 概論2
		電子デバイス工学
		マテリアル工学演習
		卒業研究A
		卒業研究B
		マテリアル工学概論
		工場実習
		工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇佐美 徳隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		マテリアル固体物理2 及び演習 先端マテリアル工学概 論1
		マテリアル量子化学
		先端マテリアル工学概 論2
		電子デバイス工学
		マテリアル工学演習
		卒業研究A
		卒業研究B
		マテリアル工学概論
		工場実習
		工場見学



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇治原 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 相平衡論 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 固体物理演習  電子デバイス工学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇治原 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 相平衡論 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 固体物理演習  電子デバイス工学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇治原 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1  相平衡論 先端マテリアル工学概論2  <b>材料機能物性学</b>  マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇治原 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1  相平衡論 先端マテリアル工学概論2  <b>材料機能物性学</b>  マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学
専	教授	<b>永岡 勝俊</b>  <平成31年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーB</b> <b>先端マテリアル工学概論1</b> <b>流動及び演習</b> <b>先端マテリアル工学概論2</b> <b>マテリアル工学演習</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>マテリアル工学概論</b> <b>工場実習</b> <b>工場見学</b> <b>マテリアル工学概論</b> <b>工場実習</b> <b>工場見学</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	興戸 正純  <平成29年4月> 工学博士
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	興戸 正純  <平成29年4月> 工学博士
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	興戸 正純  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーB</b> 先端マテリアル工学概論1 先端マテリアル工学概論2 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	興戸 正純  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーB</b> <b>物質と材料の科学</b> 先端マテリアル工学概論1 先端マテリアル工学概論2 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	元廣 友美  <平成29年4月> 工学博士
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 材料機能物性学 マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	元廣 友美  <平成29年4月> 工学博士
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 材料機能物性学 マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	元廣 友美  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> <b>物質と材料の科学</b> 先端マテリアル工学概論1 先端マテリアル工学概論2  マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤 元信  <平成29年4月> 工学博士
		先端材料工学概論1 先端プロセス工学1 先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 拡散システム 材料工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤 元信  <平成29年4月> 工学博士
		先端材料工学概論1 先端プロセス工学1 先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 拡散システム 材料工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤 元信  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 先端材料工学概論1  先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 拡散システム 材料工学演習  卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤 元信  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 先端材料工学概論1  先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 拡散システム 材料工学演習  卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 剛久  <平成29年4月> 博士(工学)
		機器分析概論 先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 物理化学演習 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 固体物理演習 セラミック材料学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 剛久  <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶物理学 マテリアル量子工学 機器分析概論 先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 物理化学演習 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 固体物理演習 セラミック材料学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 剛久  <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶物理学 機器分析概論 先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 物理化学演習 先端マテリアル工学概論2 固体物理演習 セラミック材料学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 剛久  <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶物理学 機器分析概論 先端マテリアル工学概論1 先端マテリアル工学概論2 固体物理演習 セラミック材料学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市野 良一  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 物理化学3及び演習 物理化学演習 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市野 良一  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 物理化学3及び演習 物理化学演習 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市野 良一  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 化学基礎II 先端マテリアル工学 概論1 物理化学3及び演習 素材プロセス工学 先端マテリアル工学 概論2 マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市野 良一  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 化学基礎II 先端マテリアル工学概 論1 物理化学3及び演習 素材プロセス工学 先端マテリアル工学概 論2 マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小橋 眞  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度学  先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 材料塑性学 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 固体物理演習 マテリアル工学演習  材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小橋 眞  <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータ・リテ ラシー及びプログラ ミング  材料強度学 先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 材料塑性学 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 固体物理演習 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小橋 眞  <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータ・リテ ラシー及びプログラ ミング  材料力学  先端マテリアル工学 概論1  先端マテリアル工学 概論2  構造材料学及び演習 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小橋 眞  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学  先端マテリアル工学概 論1  先端マテリアル工学概 論2  構造材料学及び演習 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小山 敏幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 材料組織学 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 物理化学演習 固体物理演習 理論計算材料学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学 基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小山 敏幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>結晶物理学</b> 先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 材料組織学 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 物理化学演習 固体物理演習 理論計算材料学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学 基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小山 敏幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1  材料組織学 先端マテリアル工学概論2  理論計算材料学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学 基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小山 敏幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1  材料組織学 先端マテリアル工学概論2  理論計算材料学 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小澤 正邦  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2  マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小澤 正邦  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2  マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小澤 正邦  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 物質と材料の科学 先端マテリアル工学概論1  先端マテリアル工学概論2  セラミック材料学 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小澤 正邦  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 物質と材料の科学 先端マテリアル工学概論1  先端マテリアル工学概論2  セラミック材料学 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学
		松尾 豊  <平成31年4月> 博士(理学)
		基礎セミナーA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<p>川尻 喜章</p> <p>&lt;平成29年6月&gt; Ph.D(工学)(米 国)</p> <p>システム工学入門</p> <p>拡散システム システム制御</p> <p>化学工学概論</p>
		<p>則永 行庸</p> <p>&lt;平成29年4月&gt; 博士(工学)</p> <p>先端マテリアル工学 概論1</p> <p>先端プロセス工学1</p> <p>混相流動</p> <p>先端マテリアル工学 概論2</p> <p>先端プロセス工学2</p> <p>物理化学演習</p> <p>化学反応システム</p> <p>マテリアル工学演習</p> <p>化学工学概論</p> <p>卒業研究A</p> <p>卒業研究B</p> <p>マテリアル工学概論</p> <p>工場実習</p> <p>工場見学</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>川尻 喜章</p> <p>&lt;平成29年6月&gt; Ph.D(工学)(米 国)</p> <p>システム工学入門</p> <p>拡散システム システム制御</p> <p>化学工学概論</p>
		<p>則永 行庸</p> <p>&lt;平成29年4月&gt; 博士(工学)</p> <p>先端マテリアル工学 概論1</p> <p>先端プロセス工学1</p> <p>混相流動</p> <p>先端マテリアル工学 概論2</p> <p>先端プロセス工学2</p> <p>物理化学演習</p> <p>化学反応システム</p> <p>マテリアル工学演習</p> <p>化学工学概論</p> <p>卒業研究A</p> <p>卒業研究B</p> <p>マテリアル工学概論</p> <p>工場実習</p> <p>工場見学</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>川尻 喜章</p> <p>&lt;平成29年6月&gt; Ph.D(工学)(米 国)</p> <p>システム工学入門</p> <p>拡散システム システム制御</p> <p>化学工学概論</p>
		<p>則永 行庸</p> <p>&lt;平成29年4月&gt; 博士(工学)</p> <p>化学基礎Ⅱ</p> <p>先端マテリアル工学 概論1</p> <p>混相流動</p> <p>先端マテリアル工学 概論2</p> <p>化学反応システム</p> <p>マテリアル工学演習</p> <p>化学工学概論</p> <p>卒業研究A</p> <p>卒業研究B</p> <p>マテリアル工学概論</p> <p>工場実習</p> <p>工場見学</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<p>川尻 喜章</p> <p>&lt;平成29年6月&gt; Ph.D(工学)(米 国)</p> <p>システム工学入門</p> <p>先端マテリアル工学 概論1</p> <p>先端マテリアル工学 概論2</p> <p>拡散システム システム制御</p> <p>マテリアル工学演習</p> <p>化学工学概論</p> <p>卒業研究A</p> <p>卒業研究B</p> <p>マテリアル工学概論</p> <p>工場実習</p> <p>工場見学</p>
		<p>則永 行庸</p> <p>&lt;平成29年4月&gt; 博士(工学)</p> <p>化学基礎Ⅱ</p> <p>先端マテリアル工学 概論1</p> <p>混相流動</p> <p>先端マテリアル工学 概論2</p> <p>化学反応システム</p> <p>マテリアル工学演習</p> <p>化学工学概論</p> <p>卒業研究A</p> <p>卒業研究B</p> <p>マテリアル工学概論</p> <p>工場実習</p> <p>工場見学</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	足立 吉隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2  マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	足立 吉隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2  マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	足立 吉隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学 概論2  <b>構造材料学及び演習</b> <b>金属材料学</b> マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	足立 吉隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 先端マテリアル工学概 論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学概 論2  <b>構造材料学及び演習</b> <b>金属材料学</b> マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村田 純教  <平成29年4月> 工学博士
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村田 純教  <平成29年4月> 工学博士
		<b>結晶物理学</b> 先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 靖博  <平成29年4月> 工学博士
		物理化学2 先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 靖博  <平成29年4月> 工学博士
		物理化学2 先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 靖博  <平成29年4月> 工学博士
		<b>物質世界の認識</b> 物理化学2 先端マテリアル工学 概論1 先端マテリアル工学 概論2 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 靖博  <平成29年4月> 工学博士
		<b>物質世界の認識</b> 物理化学2 先端マテリアル工学概 論1 先端マテリアル工学概 論2 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入山 恭寿  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 物理化学演習 電気化学 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入山 恭寿  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 物理化学演習 電気化学 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入山 恭寿  <平成29年4月> 博士(工学)
		化学基礎Ⅰ 機器分析概論 先端マテリアル工学概論1  電気化学 先端マテリアル工学概論2  マテリアル工学演習  材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入山 恭寿  <平成29年4月> 博士(工学)
		化学基礎Ⅰ 機器分析概論 先端マテリアル工学概論1  電気化学 先端マテリアル工学概論2  マテリアル工学演習  材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入谷 英司
		<平成29年4月>
		工学博士
		先端マテリアル工学 概論1
		先端プロセス工学1
		流動及び演習
		混相流動
		分離システム
		先端マテリアル工学 概論2
		先端プロセス工学2
		マテリアル工学演習
		化学工学概論
		卒業研究A
		卒業研究B
マテリアル工学概論		
工場実習		
工場見学		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入谷 英司
		<平成29年4月>
		工学博士
		先端マテリアル工学 概論1
		先端プロセス工学1
		流動及び演習
		混相流動
		分離システム
		先端マテリアル工学 概論2
		先端プロセス工学2
		マテリアル工学演習
		化学工学概論
		卒業研究A
		卒業研究B
マテリアル工学概論		
工場実習		
工場見学		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入谷 英司
		<平成29年4月>
		工学博士
		先端マテリアル工学 概論1
		先端プロセス工学1
		流動及び演習
		混相流動
		分離システム
		先端マテリアル工学 概論2
		先端プロセス工学2
		マテリアル工学演習
		化学工学概論
		卒業研究A
		卒業研究B
マテリアル工学概論		
工場実習		
工場見学		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入谷 英司
		<平成29年4月>
		工学博士
		先端マテリアル工学 概論1
		先端プロセス工学1
		流動及び演習
		混相流動
		分離システム
		先端マテリアル工学 概論2
		先端プロセス工学2
		マテリアル工学演習
		化学工学概論
		卒業研究A
		卒業研究B
マテリアル工学概論		
工場実習		
工場見学		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平澤 政廣  <平成29年4月> 工学博士
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 熱移動と拡散 素材プロセス工学 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 物理化学4 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平澤 政廣  <平成29年4月> 工学博士
		先端マテリアル工学概論1 先端プロセス工学1 熱移動と拡散 素材プロセス工学 先端マテリアル工学概論2 先端プロセス工学2 物理化学4 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平澤 政廣  <平成29年4月> 工学博士
		基礎セミナーA 物理化学1 機器分析概論 先端マテリアル工学概論1 先端マテリアル工学概論2 マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平澤 政廣  <平成29年4月> 工学博士
		基礎セミナーA 物理化学1 機器分析概論 先端マテリアル工学概論1 先端マテリアル工学概論2 マテリアル工学演習 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 英紀  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料工学概論1 先端プロセス工学1 粒子・粉体工学 先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 環境システム工学 材料システム工学 材料工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 英紀  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料工学概論1 先端プロセス工学1 粒子・粉体工学 先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 環境システム工学 材料システム工学 材料工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 英紀  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 先端材料工学概論1  粒子・粉体工学 先端材料工学概論2 環境システム工学 材料システム工学 材料工学演習  卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 英紀  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料工学概論1  粒子・粉体工学 先端材料工学概論2 環境システム工学 材料システム工学 材料工学演習  卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 永宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料工学概論1 先端プロセス工学1 先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 材料工学演習 卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 永宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端材料工学概論1 先端プロセス工学1 <b>物理化学3及び演習</b> 先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 材料工学演習 卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 永宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 先端材料工学概論1  物理化学3及び演習 先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 材料工学演習 卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 永宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 先端材料工学概論1  物理化学3及び演習 先端材料工学概論2 先端プロセス工学2 材料工学演習 卒業研究A 卒業研究B 材料工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高見 誠一  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 反応工学 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 化学反応システム マテリアル工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高見 誠一  <平成29年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 反応工学 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 化学反応システム マテリアル工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高見 誠一  <平成29年4月> 博士(工学)
		線形代数学Ⅱ 先端マテリアル工学 概論1 反応工学 先端マテリアル工学 概論2 化学反応システム マテリアル工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高見 誠一  <平成29年4月> 博士(工学)
		線形代数学Ⅱ 先端マテリアル工学 概論1 反応工学 先端マテリアル工学 概論2 化学反応システム マテリアル工学演習 化学工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高嶋 圭史  <平成29年4月> 博士(理学)
		数学1及び演習 先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1  先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 固体物理演習 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高嶋 圭史  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>マテリアル量子工学</b> 数学1及び演習 先端マテリアル工学 概論1 先端プロセス工学1 先端マテリアル工学 概論2 先端プロセス工学2 固体物理演習 マテリアル工学演習 材料工学概論 卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高嶋 圭史  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>力学I</b>  先端マテリアル工学 概論1 <b>数学2及び演習</b>  先端マテリアル工学 概論2  マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高嶋 圭史  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>力学I</b>  先端マテリアル工学概 論1 <b>数学2及び演習</b>  先端マテリアル工学概 論2  マテリアル工学演習  卒業研究A 卒業研究B マテリアル工学概論 工場実習 工場見学
		<b>川角 昌弥</b>  <平成31年4月> Ph.D(工学)(米 国)
		<b>基礎セミナーA</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安田 啓司  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 化学実験
専	准教授	伊藤 孝寛  <平成29年4月> 博士(理学)
		数学2及び演習 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 線形代数学I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安田 啓司  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 化学実験
専	准教授	伊藤 孝寛  <平成29年4月> 博士(理学)
		線形代数学I  <b>マテリアル固体物理 1</b> 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安田 啓司  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 化学実験
専	准教授	伊藤 孝寛  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>力学II</b> マテリアル固体物理1 <b>機器分析概論</b> 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 <b>固体物理演習</b> 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安田 啓司  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学概 論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 化学実験
専	准教授	伊藤 孝寛  <平成29年4月> 博士(理学)
		<b>力学II</b> マテリアル固体物理1 <b>機器分析概論</b> 学生実験1 先端マテリアル工学概 論2 <b>固体物理演習</b> 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 孝至  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1  先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	向井 康人  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 分離システム 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
		黒川 康良  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 孝至  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	向井 康人  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 分離システム 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	講師	黒川 康良  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 孝至  <平成29年4月> 博士(工学)
		設計製図 数学2及び演習 熱移動と拡散 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	向井 康人  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 学生実験1 分離システム 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	講師	黒川 康良  <平成29年4月> 博士(工学)
		マテリアル固体物理 1 マテリアル固体物理 2及び演習 固体物理演習 電子デバイス工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 孝至  <平成29年4月> 博士(工学)
		設計製図 数学2及び演習 熱移動と拡散 学生実験1 先端マテリアル工学概 論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	向井 康人  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 学生実験1 分離システム 先端マテリアル工学概 論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	黒川 康良  <平成29年4月> 博士(工学)
		マテリアル固体物理1 マテリアル固体物理2 及び演習 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 固体物理演習 学生実験2 電子デバイス工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田 健介  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1  先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	山本 徹也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理化学1 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 材料システム工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田 健介  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1  先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	山本 徹也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理化学1 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 材料システム工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田 健介  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>先端プロセス工学1</b> 学生実験1  先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	山本 徹也  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理化学1 学生実験1 <b>粒子・粉体工学</b> 先端マテリアル工学 概論2 <b>固体物理演習</b> 学生実験2 材料システム工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田 健介  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>先端プロセス工学1</b> 学生実験1  <b>素材プロセス工学</b> 先端マテリアル工学概 論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	山本 徹也  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 物理化学1 学生実験1 <b>粒子・粉体工学</b> 先端マテリアル工学概 論2 <b>固体物理演習</b> 学生実験2 材料システム工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 義弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		化学プロセス工学 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 化学エネルギーシス テム 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	小林 敬幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 化学エネルギーシス テム 環境システム工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 義弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		化学プロセス工学 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 化学エネルギーシス テム 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	小林 敬幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 化学エネルギーシス テム 環境システム工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 義弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		化学プロセス工学 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 化学エネルギーシス テム 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	小林 敬幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>数学1及び演習</b> 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 化学エネルギーシス テム 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 義弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		化学プロセス工学 学生実験1 先端マテリアル工学概 論2 学生実験2 化学エネルギーシステ ム 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	小林 敬幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>数学1及び演習</b> 学生実験1 先端マテリアル工学概 論2 学生実験2 化学エネルギーシステ ム 卒業研究A 卒業研究B



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松岡 辰郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2  学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	松宮 弘明  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B 化学基礎Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松岡 辰郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2  学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	松宮 弘明  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 物理化学演習 先端マテリアル工学 概論2  卒業研究A 卒業研究B 化学基礎Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松岡 辰郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		線形代数学Ⅱ 電磁気学Ⅱ 化学基礎Ⅱ  学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 固体物理演習  学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	松宮 弘明  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理化学2 機器分析概論 学生実験1 物理化学演習 先端マテリアル工学 概論2  卒業研究A 卒業研究B 化学基礎Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松岡 辰郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		線形代数学Ⅱ 化学基礎Ⅱ コンピュータ・リテ ラシー及びプログラ ミング 学生実験1 先端マテリアル工学概 論2 固体物理演習  学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	松宮 弘明  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理化学2 機器分析概論 学生実験1 物理化学演習 先端マテリアル工学概 論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B 化学基礎Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塚田 祐貴  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2  学生実験2  卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	田川 美穂  <平成29年4月> 博士(学術)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2  学生実験2  卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塚田 祐貴  <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータ・リテ ラシー及びプログラ ミング 学生実験1  先端マテリアル工学 概論2  学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	田川 美穂  <平成29年4月> 博士(学術)
		学生実験1 先端マテリアル工学 概論2  学生実験2  卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塚田 祐貴  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 線形代数学I コンピュータ・リテ ラシー及びプログラ ミング 学生実験1  マテリアル量子化学 先端マテリアル工学 概論2 固体物理演習 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	田川 美穂  <平成29年4月> 博士(学術)
		マテリアル量子工学 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 固体物理演習 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	乗松 航  <平成31年4月> 博士(工学)
		電磁気学II 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2 物理化学4 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	塚田 祐貴  <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータ・リテ ラシー及びプログラ ミング 学生実験1  マテリアル量子化学 先端マテリアル工学 概論2 固体物理演習 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	田川 美穂  <平成29年4月> 博士(学術)
		マテリアル量子工学 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 固体物理演習 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯川 伸樹  <平成29年4月> 工学博士
		設計製図 学生実験1 材料塑性学 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 構造材料学及び演習 金属材料学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	稗田 純子  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯川 伸樹  <平成29年4月> 工学博士
		設計製図 学生実験1 材料塑性学 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 構造材料学及び演習 金属材料学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	稗田 純子  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯川 伸樹  <平成29年4月> 工学博士
		設計製図 学生実験1 材料塑性学 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 構造材料学及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	藤原 幸一  <平成30年11月> 博士(工学)
		線形代数学I 学生実験1 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 システム制御 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	稗田 純子  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 物理化学3及び演習 学生実験1 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯川 伸樹  <平成29年4月> 工学博士
		設計製図 学生実験1 材料塑性学 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 構造材料学及び演習 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	藤原 幸一  <平成30年11月> 博士(工学)
		線形代数学I 学生実験1 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 システム制御 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	稗田 純子  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 物理化学3及び演習 学生実験1 先端マテリアル工学概論2 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 尚記  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学  マテリアル固体物理2 及び演習  学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2  金属材料学 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 尚記  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学  マテリアル固体物理2 及び演習  学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2  金属材料学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	橋爪 進  <平成29年4月> 工学修士
		コンピュータ・リテ ラシー及びプログラ ミング  システム制御 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	原田 俊太  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 尚記  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度学  先端プロセス工学1 学生実験1 先端マテリアル工学 概論2 学生実験2  構造材料及び演習  卒業研究A 卒業研究B
専	講師	原田 俊太  <平成29年4月> 博士(工学)
		力学Ⅱ 電磁気学Ⅱ 先端プロセス工学2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 尚記  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度学  先端プロセス工学1 学生実験1 先端マテリアル工学概 論2 学生実験2  構造材料及び演習  卒業研究A 卒業研究B
専	講師	原田 俊太  <平成29年4月> 博士(工学)
		力学Ⅱ 電磁気学Ⅱ 先端プロセス工学2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	阿部 英嗣  <平成29年4月> 博士(工学)  学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	出口 清一  <平成29年4月> 博士(工学)  卒業研究A 卒業研究B
専	講師	棚橋 満  <平成29年4月> 博士(工学)  熱移動と拡散 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	本山 宗主  <平成29年4月> 博士(エネルギー科 学)  物理化学演習  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	阿部 英嗣  <平成29年4月> 博士(工学)  学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	出口 清一  <平成29年4月> 博士(工学)  化学基礎Ⅱ  環境システム工学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	本山 宗主  <平成29年4月> 博士(エネルギー科 学)  基礎セミナーA 線形代数学Ⅰ 物理化学演習 電気化学 物理化学4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	阿部 英嗣  <平成29年4月> 博士(工学)  設計製図 学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	出口 清一  <平成29年4月> 博士(工学)  化学基礎Ⅱ 熱移動と拡散 環境システム工学 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	本山 宗主  <平成29年4月> 博士(エネルギー科 学)  線形代数学Ⅰ 物理化学演習 電気化学 物理化学4 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	阿部 英嗣  <平成29年4月> 博士(工学)  設計製図 学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	窪田 光宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山下 誠司  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山口 毅  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	窪田 光宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山下 誠司  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山口 毅  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	窪田 光宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山下 誠司  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山口 毅  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	窪田 光宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	後藤 和泰  <平成31年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山下 誠司  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山口 毅  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山田 博史  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	持箸 晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 貴之  <平成29年6月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	小川 登志男  <平成30年10月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山田 博史  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	持箸 晃  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 貴之  <平成29年6月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	小川 登志男  <平成30年10月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山田 博史  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 貴之  <平成29年6月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	小川 登志男  <平成30年10月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山田 博史  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	山本 貴之  <平成29年6月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	小川 登志男  <平成30年10月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	上野 智永  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	神田 英輝  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	谷 春樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	町田 洋  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	上野 智永  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	神田 英輝  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	谷 春樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	町田 洋  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	上野 智永  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	神田 英輝  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	谷 春樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	町田 洋  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	上野 智永  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	神田 英輝  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	谷 春樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	町田 洋  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	湯川 宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	徳永 智春  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	湯川 宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	徳永 智春  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	湯川 宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	徳永 智春  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	湯川 宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	徳永 智春  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	入澤 寿平  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	萩尾 健史  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	片桐 誠之  <平成29年4月> 博士(農学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	入澤 寿平  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	萩尾 健史  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	片桐 誠之  <平成29年4月> 博士(農学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	入澤 寿平  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b> 学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	萩尾 健史  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b> 学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>服部 将朋</b>  <平成30年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b>
専	助教	片桐 誠之  <平成29年4月> 博士(農学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	入澤 寿平  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b> 学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	萩尾 健史  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b> 学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>服部 将朋</b>  <平成30年4月> 博士(工学)
		<b>化学実験</b> <b>学生実験1</b> <b>学生実験2</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b>
専	助教	片桐 誠之  <平成29年4月> 博士(農学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢嵐 智之  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	鈴木 飛鳥  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	高橋 勲  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢嵐 智之  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	鈴木 飛鳥  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	高橋 勲  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士 テクニカルライティ ング
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢嵐 智之  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	鈴木 飛鳥  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	高橋 勲  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢嵐 智之  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	鈴木 飛鳥  <平成29年4月> 博士(工学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	高橋 勲  <平成29年4月> 博士(理学)
		学生実験1 学生実験2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	旭 良司 <平成31年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	井須 紀文 <平成31年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	加藤 健次 <平成31年4月> 博士(工学)
		先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	関戸 淳二 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒田 敏秋 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	伊藤 誠 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古川 智康 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	山中 浩二 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 隆三 <平成31年4月> 博士(工学) 先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	高木 愛子 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡部 徹 <平成31年4月> 博士(工学) 先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	震 浩樹 <平成31年4月> 博士(工学) 先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	金田 裕光 <平成31年4月> 博士(工学) 先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	原田 英幸 <平成31年4月> 博士(工学) 先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	瀧上 唯夫 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒田 一幸 <平成31年4月> 博士(工学) 先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年 月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	島 明生 <平成31年4月> 博士(工学) 先端マテリアル工学 概論2
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更  
山本剛久、小橋眞、小山敏幸、村田純教、齋藤永宏、高嶋圭史、川尻喜章、伊藤孝寛、伊藤孝至、松宮弘明、塚田裕貴、橋爪進、黒川康良、出口清一、棚橋満、本山宗主、山本貴之、原田俊太、山田陽滋

【平成30年度】

・以下担当教員の見直しによる変更  
宇佐美徳隆、宇治原徹、興戸正純、元廣友美、後藤元信、市野良一、小橋眞、小山敏幸、小澤正邦、則永行庸、足立吉隆、田邊靖博、入山恭寿、平澤政廣、北英紀、齋藤永宏、高見誠一、高嶋圭史、川尻喜章、伊藤孝寛、伊藤孝至、向井康人、黒田健介、山本徹也、小林敏幸、松岡辰郎、松宮弘明、塚田裕貴、田川美穂、稗田純子、湯川伸樹、高田尚記、黒川康良、出口清一、棚橋満、本山宗主、原田俊太、阿部英嗣、入澤寿平、荻尾健史

・以下辞任  
村田純教、橋爪進、棚橋満、持箸晃、高橋勲

・以下就任  
藤原幸一、小川登志男、服部政朋、黒田敏秋、伊藤誠、奥村由美、梶川しのぶ、宮崎秀俊、古賀恵美、秋澤淳、小河真由美、小室輝代、森達博、瀧上唯夫、中村武志、日下部玲子、比屋根均

【令和元年度】

・以下担当教員の見直しによる変更  
興戸正純、小橋眞、小山敏幸、川尻喜章、足立吉隆、北英紀、向井康人、黒川康良、黒田健介、山本徹也、小林敏幸、松岡辰郎、松宮弘明、塚田裕貴、出口清一、本山宗主、服部政朋

・以下辞任  
元廣友美、入谷英司、谷春樹、黒田敏秋、伊藤誠、山口佳一、瀧上唯夫

・以下就任  
永岡勝俊、松尾豊、川角昌弥、乗松航、後藤和泰、旭良司、井須紀文、加藤健次、関戸淳二、古川智康、山中浩二、田中隆三、高木愛子、岡部徹、霞浩樹、金田裕光、原田英幸、黒田一幸、島明生

・以下職名の変更  
黒川康良

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
24	25	0	24	73	22	18	3	19	62
(21)	(15)	(6)	(18)	(60)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
24	25	0	24	73	24	25	0	24	73
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{73}{73} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{62} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当なし							
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人			必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
				選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	講師	橋爪 進	H30.3	必修	コンピュータ・リテラシー及びプログラミング	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)		
				選択	システム制御	①			
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
2	講師	棚橋 満	H30.3	必修	熱移動と拡散	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)		
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
3	助教	持箸 晃	H29.11	必修	学生実験1	①	H29.11.30付け退職のため辞任 (30)		
				必修	学生実験2	①			
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
4	助教	高橋 勲	H29.7	必修	学生実験1	①	H29.7.31付け退職のため辞任 (30)		
				必修	学生実験2	①			
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
5	助教	谷 春樹	H31.3	必修	学生実験1	①	H31.3.31付け退職のため辞任 (元)		
				必修	学生実験2	①			
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
5	人			必修	18 科目	必修	18 科目	必修	0 科目
				選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	19 科目	計	19 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
5	人	必修	18 科目	必修	18 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	19 科目	計	19 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{73} = \boxed{6.84} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	村田 純教	必修	結晶物理学	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)			
			必修	先端マテリアル工学概論1	①				
			必修	先端プロセス工学1	①				
			選択	先端マテリアル工学概論2	①				
			選択	先端プロセス工学2	①				
			必修	マテリアル工学演習	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	マテリアル工学概論	①				
			選択	工場実習	①				
選択	工場見学	①							
2	教授	元廣 友美	選択	基礎セミナーA	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)			
			選択	物質と材料の科学	①				
			必修	先端マテリアル工学概論1	①				
			選択	先端マテリアル工学概論2	①				
			必修	マテリアル工学演習	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	マテリアル工学概論	①				
			選択	工場実習	①				
			選択	工場見学	①				
3	教授	入谷 英司	必修	先端マテリアル工学概論1	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)			
			必修	流動及び演習	①				
			選択	混相流動	①				
			選択	分離システム	①				
			選択	先端マテリアル工学概論2	①				
			必修	マテリアル工学演習	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	マテリアル工学概論	①				
			選択	工場実習	①				
選択	工場見学	①							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3	人	必修	15 科目	必修	15 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	17 科目	選択	17 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	32 科目	計	32 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。  
なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、  
今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <工学部 マテリアル工学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。</li> <li>・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会 月1回程度開催:新旧学科・専攻から代表委員が参加。</li> <li>・教授会 年4回程度:講師以上が参加。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会では、教育制度全般(基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価)について検討・改善するための取組を分掌。</li> <li>また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学主催の新任教員研修FDへの参加(本学高等教育研究センターが実施)</li> <li>・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。</li> <li>・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。</li> <li>・教授会での各種説明会の実施。</li> <li>・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。</li> <li>・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。</li> <li>・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。</li> <li>・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等</li> </ul>
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会  
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席  
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席  
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、工学部では、工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人材を育成することを目的としている。
- その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すため、基礎教育に関して共通部分の多い分野を統合した学科構成に再編（平成29年度から教育組織を改編し、化学生命工学科、物理工学科、マテリアル工学科、電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科、エネルギー工学科、環境土木・建築学科の7学科構成）し、遅い年次で専門分野が選択できる基礎を重視し、創成型科目も充実させた教育カリキュラムへの変更を行うことにより、学部及び大学院教育を充実させ、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。
- 今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。
- (1) 学部では、教養科目、基礎科目を総合大学の強みを生かした全学科目として開講し、人間としての素養を含む基礎を教える。続く専門教育では演習を加えた授業形態で応用力をつける。また、創成型科目※を充実させて、総合力、創造力、俯瞰力を涵養し、大学院での学習に繋げる。
- (※ 1年次からの専門系科目を拡大し、専門教育初期の段階から、既存の知識にとらわれず自らの発想に基づいて授業を設計する科目)
- ただし、日本技術者教育認定機構（JABEE）認定プログラムに沿った教育を採用している学科（環境土木・建築学科）においては、それと齟齬のないカリキュラムとする。
- (2) 導入教育として、安全教育、倫理教育、情報セキュリティ教育、知財教育に関するカリキュラムを充実させる。
- (3) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・令和元年10月頃 公表予定
- b 公表方法
- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
  - ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

## (2) 大学名 名古屋大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601  
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		
学部長	(ニイミ トモヒデ) 新美智秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水谷法美 (平成30年1月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月1日(30)

<p>学科長等</p>	<p>(フルハシ タケシ)</p> <p>古 橋 武</p> <p>(平成29年4月)</p>	<p>(オオノ ノリヤス)</p> <p><del>(ヨシダ ユタカ)</del></p> <p>大 野 哲 靖</p> <p>吉 田 隆</p> <p>(平成31年4月)</p> <p>(平成30年4月)</p>	<p>変更理由：学科長改選のため</p> <p>変更年月日：平成31年4月1日(元)</p>
-------------	---	---	--

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 電気電子 情報工学科 学士(工学)	工学関係	4年	118人	— 年次 人	472人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	118 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	118 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	118 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	1.02倍	—	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	354 ( - ) [ 8 ]	55 ( - ) [ 53 ]	387 ( - ) [ 8 ]	69 ( - ) [ 67 ]	357 ( 15 ) [ 8 ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	336 ( - ) [ 8 ]	55 ( - ) [ 53 ]	364 ( - ) [ 8 ]	69 ( - ) [ 67 ]	349 ( 14 ) [ 8 ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	122 ( - ) [ 4 ]	3 ( - ) [ 1 ]	122 ( - ) [ 4 ]	3 ( - ) [ 3 ]	121 ( 5 ) [ 2 ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	121 ( - ) [ 3 ]	3 ( - ) [ 1 ]	121 ( - ) [ 3 ]	2 ( - ) [ 2 ]	116 ( 4 ) [ 1 ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A					1.05		1.04		0.98				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	121 [ 3 ] ( - )	3 [ 1 ] ( - )	122 [ 3 ] ( 1 )	2 [ 2 ] ( - )	119 [ 1 ] ( 3 )	2 [ 2 ] ( - )	2019年4月 編入学4名
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	/		119 [ 2 ] ( 0 )	3 [ 3 ] ( 0 )	123 [ 4 ] ( 4 )	3 [ 3 ] ( - )	
3年次			/				/		/		
4年次	/				/						
計			[ ] ( )	[ ] ( )			124 [ 4 ] ( - )	246 [ 10 ] ( 1 )	366 [ 11 ] ( 7 )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	124 人	1 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	1 人	[他の教育機関への入学](1名)
平成30年度	246 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	369 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{124} = \boxed{0.8} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{246} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{369} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<工学部 電気電子情報工学科>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎科目	基礎セミナーA	1前		2		3						
	基礎セミナーB	1後		2		2	1					
小計(2科目)			0	4	0	5	1	0	0	0	0	
言語文化I	英語(基礎)	1前		1								
	英語(中級)	1後		1								
	英語(コミュニケーション)	1後		2								
	英語(上級)	2前		2								
	ドイツ語1	1前		1.5								
	ドイツ語2	1前		1.5								
	ドイツ語3	1後		1.5								
	ドイツ語4	1後		1.5								
	フランス語1	1前		1.5								
	フランス語2	1前		1.5								
	フランス語3	1後		1.5								
	フランス語4	1後		1.5								
	ロシア語1	1前		1.5								
	ロシア語2	1前		1.5								
	ロシア語3	1後		1.5								
	ロシア語4	1後		1.5								
	中国語1	1前		1.5								
	中国語2	1前		1.5								
	中国語3	1後		1.5								
	中国語4	1後		1.5								
	スペイン語1	1前		1.5								
	スペイン語2	1前		1.5								
	スペイン語3	1後		1.5								
	スペイン語4	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語1	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語2	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語3	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語4	1後		1.5								
	日本語(口頭表現)1	1前		1.5								
	日本語(口頭表現)2	1後		1.5								
	日本語(文章表現)1	1前		1.5								
	日本語(文章表現)2	1後		1.5								
	小計(32科目)			0	48	0	0	0	0	0	0	0
言語文化II	特別英語セミナー(ライティング)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(ライティング)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(プレゼンテーション)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(プレゼンテーション)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(リーディング)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(リーディング)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(資格試験英語)1	1-2前		2								
	中級ドイツ語1	2前		2								
	中級ドイツ語2	2後		2								
	中級フランス語1	2前		2								
	中級フランス語2	2後		2								
	中級ロシア語1	2前		2								
	中級ロシア語2	2後		2								
	中級中国語1	2前		2								
	中級中国語2	2後		2								
	中級スペイン語1	2前		2								
	中級スペイン語2	2後		2								
	中級朝鮮・韓国語1	2前		2								
	中級朝鮮・韓国語2	2後		2								
小計(19科目)			0	38	0	0	0	0	0	0	0	

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎科目	基礎セミナーA	1前		2		8	1					
	基礎セミナーB	1後		2		1	0					
小計(2科目)			0	4	0	9	1	0	0	0	0	
言語文化I	英語(基礎)	1前		1								
	英語(中級)	1後		1								
	英語(コミュニケーション)	1後		2								
	英語(上級)	2前		2								
	ドイツ語1	1前		1.5								
	ドイツ語2	1前		1.5								
	ドイツ語3	1後		1.5								
	ドイツ語4	1後		1.5								
	フランス語1	1前		1.5								
	フランス語2	1前		1.5								
	フランス語3	1後		1.5								
	フランス語4	1後		1.5								
	ロシア語1	1前		1.5								
	ロシア語2	1前		1.5								
	ロシア語3	1後		1.5								
	ロシア語4	1後		1.5								
	中国語1	1前		1.5								
	中国語2	1前		1.5								
	中国語3	1後		1.5								
	中国語4	1後		1.5								
	スペイン語1	1前		1.5								
	スペイン語2	1前		1.5								
	スペイン語3	1後		1.5								
	スペイン語4	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語1	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語2	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語3	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語4	1後		1.5								
	日本語(口頭表現)1	1前		1.5								
	日本語(口頭表現)2	1後		1.5								
	日本語(文章表現)1	1前		1.5								
	日本語(文章表現)2	1後		1.5								
	小計(32科目)			0	48	0	0	0	0	0	0	0
言語文化II	特別英語セミナー(ライティング)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(ライティング)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(プレゼンテーション)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(プレゼンテーション)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(リーディング)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(リーディング)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(資格試験英語)1	1-2前		2								
	中級ドイツ語1	2前		2								
	中級ドイツ語2	2後		2								
	中級フランス語1	2前		2								
	中級フランス語2	2後		2								
	中級ロシア語1	2前		2								
	中級ロシア語2	2後		2								
	中級中国語1	2前		2								
	中級中国語2	2後		2								
	中級スペイン語1	2前		2								
	中級スペイン語2	2後		2								
	中級朝鮮・韓国語1	2前		2								
	中級朝鮮・韓国語2	2後		2								
小計(19科目)			0	38	0	0	0	0	0	0	0	









卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目38単位以上、専門科目45単位以上、関連専門科目4単位以上の合計87単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から38単位(「電気電子情報工学序論」、「離散数学及び演習」、「計算機プログラミング基礎及び演習」、「線形回路論及び演習」、「数学1及び演習A、B」、「数学2及び演習」、「確率論・数値解析及び演習」、「電気磁気学基礎演習」、「プログラミング及び演習」、「電子回路工学及び演習」、「電気回路論及び演習」、「量子力学及び演習」、「デジタル回路及び演習」、「情報理論」)、専門科目から45単位以上(「電気電子情報工学実験第1、第2」、「電気磁気学及び演習」、「電気エネルギー基礎論及び演習」、「固体電子工学及び演習」、「卒業研究A、B」の25単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目38単位以上、専門科目45単位以上、関連専門科目4単位以上の合計87単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から38単位(「電気電子情報工学序論」、「離散数学及び演習」、「計算機プログラミング基礎及び演習」、「線形回路論及び演習」、「数学1及び演習A、B」、「数学2及び演習」、「確率論・数値解析及び演習」、「電気磁気学基礎演習」、「プログラミング及び演習」、「電子回路工学及び演習」、「電気回路論及び演習」、「量子力学及び演習」、「デジタル回路及び演習」、「情報理論」)、専門科目から45単位以上(「電気電子情報工学実験第1、第2」、「電気磁気学及び演習」、「電気エネルギー基礎論及び演習」、「固体電子工学及び演習」、「卒業研究A、B」の25単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	哲学	1前		2								
	歴史学	1後・2前		2								
	文学	1前		2								
	地理学	1後		2								
	社会学	2前		2								
	心理学Ⅰ	1後・2前		2								
	心理学Ⅱ	1後		2								
	教育学	1前		2								
	日本国憲法	2前		2								
	法学	1前		2								
	政治学	1後		2								
	経済学A	1前		2								
	経営学	1後		2								
	国際関係論	1前		2								
	国際開発学	2前		2								
	統計学	1前		2								
比較教育論	1後		2									
小計(17科目)	-		0	34	0	0	0	0	0	0	0	
理系基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前		2								
	微分積分学Ⅱ	1後		2		1						
	線形代数学Ⅰ	1前		2								
	線形代数学Ⅱ	1後		2								
	複素関数論	2前		2								
	力学Ⅰ	1前	2									
	力学Ⅱ	1後	2									
	電磁気学Ⅰ	1後	2			5	1					
	電磁気学Ⅱ	2前	2			2	1					
	物理学実験	1後	1.5				1					
	化学基礎Ⅰ	1前	2									
	化学基礎Ⅱ	1後	2									
	化学実験	1前	1.5									
小計(13科目)	-		15	10	0	8	3	0	0	0	0	
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2								
	現代社会の思想的課題	2後		2								
	科学・技術の哲学	2前		2								
	文化を読む	1前		2								
	表象と文化	2前		2								
	芸術と人間	2前		2								
	社会変動と人間生活	2前		2								
	人間と行動	1前		2								
	現代社会と教育	1前		2								
	教育と発達心理学	1前		2								
	現代社会と法	2後		2								
	民主主義の歴史と現在	1前		2								
	市場経済と社会	2後		2								
	産業社会と企業	1前		2								
	グローバル化時代の国際社会	2後		2								
	開発の光と影	2前		2								
	社会と環境	2前		2								
小計(17科目)	-		0	34	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	哲学	1前		2								
	歴史学	1後・2前		2								
	文学	1前		2								
	地理学	1後		2								
	社会学	2前		2								
	心理学Ⅰ	1後・2前		2								
	心理学Ⅱ	1後		2								
	教育学	1前		2								
	日本国憲法	2前		2								
	法学	1前		2								
	政治学	1後		2								
	経済学A	1前		2								
	経営学	1後		2								
	国際関係論	1前		2								
	国際開発学	2前		2								
	統計学	1前		2								
比較教育論	1後		2									
小計(17科目)	-		0	34	0	0	0	0	0	0	0	
理系基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前		2					1			
	微分積分学Ⅱ	1後		2					0	1		
	線形代数学Ⅰ	1前		2					1			
	線形代数学Ⅱ	1後		2					1			
	複素関数論	2前		2								
	力学Ⅰ	1前	2									
	力学Ⅱ	1後	2									
	電磁気学Ⅰ	1後	2						7	1		
	電磁気学Ⅱ	2前	2						1	1		
	物理学実験	1後	1.5							2	1	1
	化学基礎Ⅰ	1前	2									
	化学基礎Ⅱ	1後	2									
	化学実験	1前	1.5									
小計(13科目)	-		15	10	0			11	5	0	1	0
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2								
	現代社会の思想的課題	2後		2								
	科学・技術の哲学	2前		2								
	文化を読む	1前		2								
	表象と文化	2前		2								
	芸術と人間	2前		2								
	社会変動と人間生活	2前		2								
	人間と行動	1前		2								
	現代社会と教育	1前		2								
	教育と発達心理学	1前		2								
	現代社会と法	2後		2								
	民主主義の歴史と現在	1前		2								
	市場経済と社会	2後		2								
	産業社会と企業	1前		2								
	グローバル化時代の国際社会	2後		2								
	開発の光と影	2前		2								
	社会と環境	2前		2								
小計(17科目)	-		0	34	0	0	0	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
理学系 全学教育 科目	図情報とコンピュータ	2後		2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後		2								
	システム工学入門	1前		2								
	情報科学入門	1前		2								
	現代数学への流れ	1後		2								
	先端材料と物性物理	2前		2								
	エレクトロニクスと物性科学	1後		2								
	物理現象の科学	2前		2								
	原子・分子の科学	2後		2								
	物質世界の認識	1前		2								
	物質と材料の科学	1後		2								
	現代の生命科学	2後		2								
	現代医療と生命科学	1前		2								
	生涯健康と医学	2後		2								
	健康増進科学	2前		2								
	遺伝子の世界	1後		2								
	食と農の科学	1前		2								
	動植物の科学	2前		2								
	微生物の科学	1後		2								
	バイオテクノロジー	2前		2								
	地球惑星の科学	1前		2								
	自然環境と人間	1後		2								
	エネルギーと環境	1前		2								
	自然環境と人間社会	1前		2								
	環境問題と人間	2前		2								
	都市と環境	1後		2								
大気水圏環境の科学	1前		2									
小計(27科目)		-	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0
全学 全学 教育 科目	現代芸術論	2前・後		2								
	芸術と人間精神	2前・後		2								
	表象芸術論	2前・後		2								
	音楽芸術論	2前・後		2								
	科学・技術の倫理	2前		2								
	科学技術史	2前・後		2								
	科学技術社会論	2前・後		2								
	科学技術とジェンダー	2前・後		2								
	宗教と人類文化	2前・後		2								
	異文化論	2後		2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前		2								
	留学生と日本	2後		2								
	名大の歴史をたどる	1前		2								
	大学でどう学ぶか	1前		2								
	キャリア形成論	2前・後		2								
	学問の面白さを知る	1前		2								
	切迫する自然災害に備える	2前		2								
	アーカイブズ入門-文書史料の世界をあるく-	2後		2								
	人間関係とコミュニケーション	2前		2								
	ピア・カウンセリング	2前		2								
小計(20科目)		-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
理学系 全学教育 科目	図情報とコンピュータ	2後		2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後		2								
	システム工学入門	1前		2								
	情報科学入門	1前		2								
	現代数学への流れ	1後		2								
	先端材料と物性物理	2前		2								
	エレクトロニクスと物性科学	1後		2				1				
	物理現象の科学	2前		2								
	原子・分子の科学	2後		2								
	物質世界の認識	1前		2								
	物質と材料の科学	1後		2								
	現代の生命科学	2後		2								
	現代医療と生命科学	1前		2								
	生涯健康と医学	2後		2								
	健康増進科学	2前		2								
	遺伝子の世界	1後		2								
	食と農の科学	1前		2								
	動植物の科学	2前		2								
	微生物の科学	1後		2								
	バイオテクノロジー	2前		2								
	地球惑星の科学	1前		2								
	自然環境と人間	1後		2								
	エネルギーと環境	1前		2								
	自然環境と人間社会	1前		2								
	環境問題と人間	2前		2								
	都市と環境	1後		2								
大気水圏環境の科学	1前		2									
小計(27科目)		-	0	54	0	1	0	0	0	0	0	0
全学 全学 教育 科目	現代芸術論	2前・後		2								
	芸術と人間精神	2前・後		2								
	表象芸術論	2前・後		2								
	音楽芸術論	2前・後		2								
	科学・技術の倫理	2前		2								
	科学技術史	2前・後		2								
	科学技術社会論	2前・後		2								
	科学技術とジェンダー	2前・後		2								
	宗教と人類文化	2前・後		2								
	異文化論	2後		2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前		2								
	留学生と日本	2後		2								
	名大の歴史をたどる	1前		2								
	大学でどう学ぶか	1前		2								
	キャリア形成論	2前・後		2								
	学問の面白さを知る	1前		2								
	切迫する自然災害に備える	2前		2								
	アーカイブズ入門-文書史料の世界をあるく-	2後		2								
	人間関係とコミュニケーション	2前		2								
	ピア・カウンセリング	2前		2								
小計(20科目)		-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0





## 卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目38単位以上、専門科目45単位以上、関連専門科目4単位以上の合計87単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

## 1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

## 2. 専門系科目

専門基礎科目から38単位(「電気電子情報工学序論」、「離散数学及び演習」、「計測プログラミング基礎及び演習」、「線形回路論及び演習」、「数学1及び演習A、B」、「数学2及び演習」、「確率論・数値解析及び演習」、「電気磁気学基礎演習」、「プログラミング及び演習」、「電子回路工学及び演習」、「電気回路論及び演習」、「量子力学及び演習」、「デジタル回路及び演習」、「情報理論」)、専門科目から45単位以上(「電気電子情報工学実験第1、第2」、「電気磁気学及び演習」、「電気エネルギー基礎論及び演習」、「固体電子工学及び演習」、「卒業研究A、B」の25単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上

## 卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目38単位以上、専門科目45単位以上、関連専門科目4単位以上の合計87単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

## 1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

## 2. 専門系科目

専門基礎科目から38単位(「電気電子情報工学序論」、「離散数学及び演習」、「計測プログラミング基礎及び演習」、「線形回路論及び演習」、「数学1及び演習A、B」、「数学2及び演習」、「確率論・数値解析及び演習」、「電気磁気学基礎演習」、「プログラミング及び演習」、「電子回路工学及び演習」、「電気回路論及び演習」、「量子力学及び演習」、「デジタル回路及び演習」、「情報理論」)、専門科目から45単位以上(「電気電子情報工学実験第1、第2」、「電気磁気学及び演習」、「電気エネルギー基礎論及び演習」、「固体電子工学及び演習」、「卒業研究A、B」の25単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・誤記の訂正により、「複素関数論」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁気学I」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・誤記の訂正により、「電磁気学II」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報工学序論」の専任教員等の配置を「助教22」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「離散数学及び演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授2」に、「助教3」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算機プログラミング基礎及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形回路論及び演習」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「確率論・数値解析及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プログラミング及び演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電子回路工学及び演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気回路理論及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子力学及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授2」から「准教授0」に、「助教0」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気磁気学及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授0」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁波工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「個体電子工学及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「准教授26」から「准教授20」に、「助教28」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「准教授26」から「准教授20」に、「助教28」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械工学通論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の専任教員等の配置を「助教22」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「企業・研究所見学A」の専任教員等の配置を「助教22」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「企業・研究所見学B」の専任教員等の配置を「助教22」から「助教20」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「テクニカルライティング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。

### 【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーA」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授8」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「微分積分学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「微分積分学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁気学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁気学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エレクトロニクスと物性科学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報工学序論」の専任教員等の配置を「准教授20」から「准教授0」に、「助教20」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算機プログラミング基礎及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習A」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習B」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プログラミング及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気回路論及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「デジタル回路及び演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報工学実験第1」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に、「助教14」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報工学実験第2」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に、「助教14」から「助教19」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気エネルギー基礎論及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁波工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電子デバイス工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「准教授20」から「准教授21」に、「講師0」から「講師2」に、「助教20」から「助教19」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「准教授20」から「准教授21」に、「講師0」から「講師2」に、「助教20」から「助教19」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第1」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第4」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の専任教員等の配置を「准教授20」から「准教授21」に、「講師0」から「講師1」に、「助教20」から「助教0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「企業・研究所見学A」の専任教員等の配置を「准教授20」から「准教授21」に、「講師0」から「講師1」に、「助教20」から「助教0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「企業・研究所見学B」の専任教員等の配置を「准教授20」から「准教授21」に、「講師0」から「講師2」に、「助教20」から「助教11」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「データ統計解析B」の兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報工学序論」の専任教員等の配置を「教授29」から「教授30」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「離散数学及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「確率論・数値解析及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プログラミング及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子力学及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「デジタル回路及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報工学実験第1」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「助教19」から「助教20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報工学実験第2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教19」から「助教20」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気エネルギー基礎論及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「個体電子工学及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授29」から「教授30」に、「准教授21」から「准教授24」に、「助教19」から「助教21」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授29」から「教授30」に、「准教授21」から「准教授24」に、「助教19」から「助教21」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気及び通信法規」の兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報工学特別講義第1」の兼任・兼担の教員を「1」から「8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の専任教員等の配置を「教授29」から「教授30」に、「准教授21」から「准教授24」に、「講師1」から「講師2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「企業・研究所見学A」の専任教員等の配置を「教授29」から「教授30」に、「准教授21」から「准教授24」に、「講師1」から「講師2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「企業・研究所見学B」の専任教員等の配置を「教授29」から「教授30」に、「准教授21」から「准教授24」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電気電子情報先端工学概論」の専任教員等の配置を「教授29」から「教授30」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	183 科目	0 科目	213 科目	30 科目 [ 0 ]	183 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	213 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{213} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡  施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため(元)	
	校舎敷地	628,131 <del>617,966</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131	<del>617,966</del> ㎡		
	運動場用地	105,775 <del>105,994</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775	<del>105,994</del> ㎡		
	小 計	733,906 <del>723,960</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906	<del>723,960</del> ㎡		
	そ の 他	2,507,320 <del>2,495,186</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320	<del>2,495,186</del> ㎡		
	合 計	3,241,226 <del>3,219,146</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226	<del>3,219,146</del> ㎡		
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体	
		590,883 <del>578,743</del> ㎡	0 ㎡	0 ㎡	590,883	<del>578,743</del> ㎡		
		(590,883 <del>578,743</del> ㎡)	( 0 ㎡)	( 0 ㎡)	(590,883	<del>578,743</del> ㎡)		
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体	
	252 <del>234</del> 室	232 <del>240</del> 室	1,680 <del>1,326</del> 室	16 <del>17</del> 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			平成31年4月 室用途変更のため(元)	
	工学部 電気電子情報工学科			100 <del>97</del> <del>93</del> 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学部 電気電子情報 工学科	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	1,109 (1,216)	0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	1,109 (1,216)	0	
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	<del>24,829</del> ㎡ 28,681 ㎡	<del>2,031</del> 2,195 席		3,140,500 冊				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	9,229 ㎡	弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)					
					博士(歴史学)					
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					



大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—	平成14年度		愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻  (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
					修士(建築学)					
博士(環境学)					博士(工学)					
博士(建築学)					博士(建築学)					
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学)	0.48				
					修士(地理学)					
					修士(法学)					
					修士(経済学)					
					博士(環境学)					
					博士(社会学)					
					博士(地理学)					
					博士(法学)					
					博士(経済学)					
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 電気電子情報学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								杉本 重幸  <平成30年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学序論 電気エネルギー変換工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			杉本 重幸  <平成30年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学序論 電気エネルギー変換工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
		安藤 秀樹  <平成29年4月> 博士(工学)			安藤 秀樹  <平成29年4月> 博士(工学)			安藤 秀樹  <平成29年4月> 博士(工学) 基礎セミナーA 電気電子情報工学序論 計算機工学 計算機アーキテクチャ 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			安藤 秀樹  <平成29年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学序論 計算機工学 計算機アーキテクチャ 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	安藤 秀樹  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	安藤 秀樹  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	安藤 秀樹  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	安藤 秀樹  <平成29年4月> 博士(工学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塩川 和夫  <平成29年4月> 博士(理学)
		電気電子情報工学序論 数学1及び演習A 数学1及び演習B 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	横水 康伸  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 電力機器工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学I
専	教授	加藤 丈佳  <平成29年4月> 0
		電気電子情報工学序論 電気回路論及び演習 電気磁気学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塩川 和夫  <平成29年4月> 博士(理学)
		電気電子情報工学序論 数学1及び演習A 数学1及び演習B 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	横水 康伸  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 電力機器工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学I
専	教授	加藤 丈佳  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気回路論及び演習 電気磁気学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塩川 和夫  <平成29年4月> 博士(理学)
		電気電子情報工学序論 数学1及び演習A 数学1及び演習B 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	横水 康伸  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 電力機器工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学I
専	教授	加藤 丈佳  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 電気電子情報工学序論 電気回路論及び演習 電気磁気学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塩川 和夫  <平成29年4月> 博士(理学)
		電気電子情報工学序論 数学1及び演習A 数学1及び演習B 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	横水 康伸  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 電気電子情報工学序論 電力機器工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学I
専	教授	加藤 丈佳  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気回路論及び演習 電気磁気学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河川 信夫  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 計算機プログラミング基礎及び演習 プログラミング及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	岩田 聡  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 磁性体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 基礎セミナーA
専	教授	吉田 隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 数学2及び演習 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河川 信夫  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 計算機プログラミング基礎及び演習 プログラミング及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	岩田 聡  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 磁性体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 基礎セミナーA
専	教授	吉田 隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 数学2及び演習 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河川 信夫  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 電気電子情報工学序論 計算機プログラミング基礎及び演習 プログラミング及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	岩田 聡  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 磁性体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 基礎セミナーA
専	教授	吉田 隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 数学2及び演習 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河川 信夫  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 計算機プログラミング基礎及び演習 <b>情報ネットワーク</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	岩田 聡  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 磁性体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	吉田 隆  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 電気電子情報工学序論 数学2及び演習 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	宮崎 誠一  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	宮崎 誠一  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	宮崎 誠一  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	宮崎 誠一  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 電子デバイス工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学 I			電気電子情報工学序論 電子デバイス工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学 I			電気電子情報工学序論 電子デバイス工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学 I			電気電子情報工学序論 電子デバイス工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学 I
専	教授	古橋 武  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	古橋 武  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	古橋 武  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	古橋 武  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 パワーエレクトロニクス 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 パワーエレクトロニクス 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 パワーエレクトロニクス 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 パワーエレクトロニクス 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	五十嵐 信行  <平成29年4月> 博士(理学)	専	教授	五十嵐 信行  <平成29年4月> 博士(理学)	専	教授	五十嵐 信行  <平成29年4月> 博士(理学)	専	教授	五十嵐 信行  <平成29年4月> 博士(理学)
		電気電子情報工学序論 真空電子工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 真空電子工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 真空電子工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 真空電子工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	佐藤 健一  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	佐藤 健一  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	佐藤 健一  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	佐藤 健一  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 情報ネットワーク 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 基礎セミナーA			電気電子情報工学序論 情報ネットワーク 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 基礎セミナーA			電気電子情報工学序論 情報ネットワーク 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			
専	教授	佐藤 理史  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	佐藤 理史  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	佐藤 理史  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	佐藤 理史  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 オートマトンと形式言語 アルゴリズムとデータ構造 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 オートマトンと形式言語 アルゴリズムとデータ構造 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 オートマトンと形式言語 アルゴリズムとデータ構造 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			基礎セミナーA 電気電子情報工学序論 オートマトンと形式言語 アルゴリズムとデータ構造 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	准教授	三好 由純  <平成29年4月> 博士(理学)	専	准教授	三好 由純  <平成29年4月> 博士(理学)	専	教授	三好 由純  <平成29年4月> 博士(理学)	専	教授	三好 由純  <平成29年4月> 博士(理学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 <b>電磁波工学</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 <b>電磁波工学</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B <b>電気電子情報選択工学概論</b>			電気電子情報工学序論 <b>電磁波工学</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B <b>電気電子情報選択工学概論</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								山本 真義 <平成30年4月> 博士(工学)			山本 真義 <平成30年4月> 博士(工学)
							専 教授	電磁気学 I 電気回路論及び演習		専 教授	基礎セミナーA 電磁気学 I 電気電子情報工学序論 電気回路論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
					山里 敬也 <平成29年4月> 博士(工学)			山里 敬也 <平成29年4月> 博士(工学)			山里 敬也 <平成29年4月> 博士(工学)
				専 教授	電気電子情報工学序論 デジタル回路及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論		専 教授	電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論		専 教授	基礎セミナーA 電気電子情報工学序論 デジタル回路及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
		須田 淳 <平成29年4月> 博士(工学)			須田 淳 <平成29年4月> 博士(工学)			須田 淳 <平成29年4月> 博士(工学)			須田 淳 <平成29年4月> 博士(工学)
専	教授	電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論	専	教授	電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論	専	教授	線形代数学 I 電気電子情報工学序論 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論	専	教授	線形代数学 I 電気電子情報工学序論 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	西澤 典彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	西澤 典彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	西澤 典彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	西澤 典彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気磁気学基礎演習			電気電子情報工学序論 電気磁気学基礎演習			電気電子情報工学序論 電気磁気学基礎演習			電気電子情報工学序論 電気磁気学基礎演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2
専	教授	川瀬 晃道  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	川瀬 晃道  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	川瀬 晃道  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	川瀬 晃道  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学I 電磁気学II			電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学I 電磁気学II			微分積分学I 電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学I			微分積分学I 電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学I
専	教授	早川 直樹  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	早川 直樹  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	早川 直樹  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	早川 直樹  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 電気エネルギー伝送工学 高電圧工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電気エネルギー伝送工学 高電圧工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電気エネルギー伝送工学 高電圧工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			基礎セミナーA 電気電子情報工学序論 電気エネルギー伝送工学 高電圧工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	大野 哲靖  <平成29年4月> 理学修士	専	教授	大野 哲靖  <平成29年4月> 理学修士	専	教授	大野 哲靖  <平成29年4月> 理学修士	専	教授	大野 哲靖  <平成29年4月> 理学修士
		電気電子情報工学序論 電子回路工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電子回路工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電子回路工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電子回路工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	大野 雄高  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	大野 雄高  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	大野 雄高  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	大野 雄高  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 電子デバイス工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 電子デバイス工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	中里 和郎  <平成29年4月> 理学博士	専	教授	中里 和郎  <平成29年4月> 理学博士	専	教授	中里 和郎  <平成29年4月> 理学博士	専	教授	中里 和郎  <平成29年4月> 理学博士
		電気電子情報工学序論 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	町田 忍  <平成29年4月> 理学博士	専	教授	町田 忍  <平成29年4月> 理学博士	専	教授	町田 忍  <平成29年4月> 理学博士	専	教授	町田 忍  <平成29年4月> 理学博士
		電気電子情報工学序論 電気回路論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電気回路論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電気回路論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			
専	教授	天野 浩  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	天野 浩  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	天野 浩  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	天野 浩  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 半導体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学 I			電気電子情報工学序論 半導体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学 I			電気電子情報工学序論 半導体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 電磁気学 I			
専	教授	藤井 俊彰  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	藤井 俊彰  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	藤井 俊彰  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	藤井 俊彰  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 センシングシステム工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 センシングシステム工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 センシングシステム工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	藤巻 朗  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	藤巻 朗  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	藤巻 朗  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	藤巻 朗  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 微分積分学Ⅱ			電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 微分積分学Ⅱ			基礎セミナーA 電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	道木 慎二  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	道木 慎二  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	道木 慎二  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	道木 慎二  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 制御工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 制御工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			基礎セミナーB 電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 制御工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第2 制御工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論
専	教授	武田 一哉  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	武田 一哉  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	武田 一哉  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	武田 一哉  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 情報理論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 情報理論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 情報理論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論			電気電子情報工学序論 情報理論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
								福塚 友和  <平成30年10月> 博士(工学)			福塚 友和  <平成30年10月> 博士(工学)	
						専	教授	線形代数学Ⅱ 電気電子情報工学序 論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論		専	教授	線形代数学Ⅱ 電気電子情報工学序 論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論
		片山 正昭  <平成29年4月> 工学博士			片山 正昭  <平成29年4月> 工学博士			片山 正昭  <平成29年4月> 工学博士			片山 正昭  <平成29年4月> 工学博士	
	専	教授		専	教授		専	教授		専	教授	
		電気電子情報工学序 論 デジタル回路及び 演習 無線通信方式 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論			電気電子情報工学序 論 デジタル回路及び 演習 無線通信方式 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論			基礎セミナーA 電気電子情報工学序 論 デジタル回路及び 演習 無線通信方式 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論			電気電子情報工学序 論 デジタル回路及び 演習 無線通信方式 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論	
		豊田 浩孝  <平成29年4月> 工学博士			豊田 浩孝  <平成29年4月> 工学博士			豊田 浩孝  <平成29年4月> 工学博士			豊田 浩孝  <平成29年4月> 工学博士	
	専	教授		専	教授		専	教授		専	教授	
		電気電子情報工学序 論 プラズマ工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論			電気電子情報工学序 論 <b>電気磁気学及び演習</b> プラズマ工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論			基礎セミナーA 電気電子情報工学序 論 <b>電気磁気学及び演習</b> プラズマ工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論			電気電子情報工学序 論 <b>電気磁気学及び演習</b> プラズマ工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工 学概論	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 勝  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 誘電体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 基礎セミナーA 電磁気学I
専	教授	舟橋 俊久  <平成29年4月> 工学博士
		電気エネルギー変換工学
専	助教	栗本 宗明  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 勝  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 誘電体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論 基礎セミナーA 電磁気学I
専	教授	舟橋 俊久  <平成29年4月> 工学博士
		電気エネルギー変換工学
専	助教	栗本 宗明  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 勝  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 誘電体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論  電磁気学I エレクトロニクスと物性科学
専	准教授	栗本 宗明  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 勝  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 誘電体工学 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電気電子情報先端工学概論  電磁気学I エレクトロニクスと物性科学
専	准教授	栗本 宗明  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	一野 祐亮  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	一野 祐亮  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	一野 祐亮  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	一野 祐亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 数学1及び演習B 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 物理学実験			電気電子情報工学序論 数学1及び演習B 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 物理学実験			離散数学及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			離散数学及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	塩谷 亮太  <平成29年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	塩谷 亮太  <平成29年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	塩谷 亮太  <平成29年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	塩谷 亮太  <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			デジタル回路及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			
専	准教授	岡田 啓  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	岡田 啓  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	岡田 啓  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	岡田 啓  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 数学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 数学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 剛志  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	梶田 信  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	岩田 哲  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 剛志  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 <b>電子回路工学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	梶田 信  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	岩田 哲  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 <b>離散数学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 剛志  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>電子回路工学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	梶田 信  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>物理学実験</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	岩田 哲  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>離散数学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 剛志  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>物理学実験</b> <b>電子回路工学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	梶田 信  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	岩田 哲  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>離散数学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	吉川 大弘  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	吉川 大弘  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	吉川 大弘  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	吉川 大弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 数学2及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 数学2及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			数学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			数学2及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	近藤 博基  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	近藤 博基  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	近藤 博基  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	近藤 博基  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 数学1及び演習A 数学1及び演習B 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 数学1及び演習A 数学1及び演習B 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			数学1及び演習A 数学1及び演習B 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			数学1及び演習A 数学1及び演習B 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授		専	准教授		専	准教授	山下 太郎  <平成30年2月> 理学博士	専	准教授	山下 太郎  <平成30年2月> 理学博士
								微分積分学Ⅱ 物理学実験 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			微分積分学Ⅱ 量子力学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	小島 寛樹  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	小島 寛樹  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	小島 寛樹  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	小島 寛樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	松崎 拓也  <平成29年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	松崎 拓也  <平成29年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	松崎 拓也  <平成29年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	松崎 拓也  <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			プログラミング及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			プログラミング及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	松本 隆太郎  <平成29年4月> 博士(学術)	専	准教授	松本 隆太郎  <平成29年4月> 博士(学術)	専	准教授	松本 隆太郎  <平成29年4月> 博士(学術)	専	准教授	松本 隆太郎  <平成29年4月> 博士(学術)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			基礎セミナーA 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			基礎セミナーA 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					新津 葵一  <平成29年4月> 博士(工学)			新津 葵一  <平成29年4月> 博士(工学)			新津 葵一  <平成29年4月> 博士(工学)
			専	講師	固体電子工学及び演習			固体電子工学及び演習	専	准教授	固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
		西谷 望  <平成29年4月> 理学修士			西谷 望  <平成29年4月> 理学修士			西谷 望  <平成29年4月> 理学修士			西谷 望  <平成29年4月> 理学修士
専	准教授	電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B	専	准教授	電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B	専	准教授	確率論・数値解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B	専	准教授	確率論・数値解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
		竹内 栄二郎  <平成29年4月> 博士(工学)			竹内 栄二郎  <平成29年4月> 博士(工学)			竹内 栄二郎  <平成29年4月> 博士(工学)			竹内 栄二郎  <平成29年4月> 博士(工学)
専	准教授	計算機プログラミング基礎及び演習  電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2	専	准教授	計算機プログラミング基礎及び演習  電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2	専	准教授	計算機プログラミング基礎及び演習	専	准教授	プログラミング及び演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長谷川 浩  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 情報理論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	長尾 全寛  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気磁気学基礎演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電磁気学II
専	准教授	田畑 彰守  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長谷川 浩  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 情報理論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	長尾 全寛  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気磁気学基礎演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電磁気学II
専	准教授	田畑 彰守  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長谷川 浩  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 情報理論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	長尾 全寛  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気磁気学基礎演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電磁気学II
専	准教授	田畑 彰守  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長谷川 浩  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 情報理論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B <b>計算機プログラミング基礎及び演習</b>
専	准教授	長尾 全寛  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気磁気学基礎演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電磁気学II
専	准教授	田畑 彰守  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	内山 剛  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電磁気学I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	内山 剛  <平成29年4月> 工学博士
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電磁気学I
専	講師	梅田 隆行  <平成29年4月> 博士(情報学)
		電気回路論及び演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	内山 剛  <平成29年4月> 工学博士
		卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電磁気学I
専	准教授	能勢 正仁  <平成30年8月> 博士(理学)
		物理学実験 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	講師	梅田 隆行  <平成29年4月> 博士(情報学)
		電気回路論及び演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	内山 剛  <平成29年4月> 工学博士
		卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B 電磁気学I
専	准教授	能勢 正仁  <平成30年8月> 博士(理学)
		物理学実験 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	梅田 隆行  <平成29年4月> 博士(情報学)
		電気回路論及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
											米澤 拓郎  <平成31年3月> 博士(政策・メディア) プログラミング及び 演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
		牧原 克典  <平成29年4月> 博士(工学)			牧原 克典  <平成29年4月> 博士(工学)			牧原 克典  <平成29年4月> 博士(工学)			牧原 克典  <平成29年4月> 博士(工学)
専	准教授	電気電子情報工学序 論 線形回路論及び演習 電気電子情報工学実 験第1 電気電子情報工学実 験第1 電気電子情報工学実 験第2 電気電子情報工学実 験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B	専	准教授	電気電子情報工学序 論 線形回路論及び演習 電気電子情報工学実 験第1 電気電子情報工学実 験第1 電気電子情報工学実 験第2 電気電子情報工学実 験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B	専	准教授	線形回路論及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B	専	准教授	線形回路論及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
								堀田 昌宏  <平成30年10月> 博士(工学)			堀田 昌宏  <平成30年10月> 博士(工学)
						専	准教授	物理学実験 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B	専	准教授	物理学実験 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	本田 善央  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	高橋 桂太  <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		電気電子情報工学序論 デジタル信号処理 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	宮島 千代美  <平成29年4月> 離散数学及び演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	本田 善央  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	高橋 桂太  <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		電気電子情報工学序論 デジタル信号処理 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	宮島 千代美  <平成29年4月> 離散数学及び演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	本田 善央  <平成29年4月> 博士(工学)
		線形回路論及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	高橋 桂太  <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		デジタル信号処理 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	本田 善央  <平成29年4月> 博士(工学)
		線形回路論及び演習  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	准教授	高橋 桂太  <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		デジタル信号処理 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	今田 晋亮  <平成29年4月> 博士(理学)	専	助教	今田 晋亮  <平成29年4月> 博士(理学)	専	講師	今田 晋亮  <平成29年4月> 博士(理学)	専	講師	今田 晋亮  <平成29年4月> 博士(理学)
		電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			確率論・数値解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	助教	竹家 啓  <平成29年4月> 博士(理学)	専	助教	竹家 啓  <平成29年4月> 博士(理学)	専	講師	竹家 啓  <平成29年4月> 博士(理学)	専	講師	竹家 啓  <平成29年4月> 博士(理学)
		電気電子情報工学序論 数学2及び演習A 数学1及び演習B 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 数学2及び演習A 数学1及び演習B 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			数学1及び演習A			数学1及び演習A 数学1及び演習B 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B
専	助教	ジメネスフェリックス  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	ジメネスフェリックス  <平成29年4月> 博士(工学)	専	講師		専	講師	
		電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B						

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								今中 政輝 <平成30年4月> 博士(科学)			今中 政輝 <平成30年4月> 博士(科学)
						専	助教	電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気エネルギー基礎論及び演習 卒業研究A 卒業研究B
		岸本 茂 <平成29年4月> 理工学学士			岸本 茂 <平成29年4月> 理工学学士			岸本 茂 <平成29年4月> 理工学学士			岸本 茂 <平成29年4月> 理工学学士
	専	助教		専	助教		専	助教		専	助教
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
		久志本 真希 <平成29年4月> 博士(工学)			久志本 真希 <平成29年4月> 博士(工学)			久志本 真希 <平成29年4月> 博士(工学)			久志本 真希 <平成29年4月> 博士(工学)
	専	助教		専	助教		専	助教		専	助教
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	宮田 玲  <平成29年4月> 博士(教育学)	専	助教	宮田 玲  <平成29年4月> 博士(教育学)	専	助教	宮田 玲  <平成29年4月> 博士(教育学)	専	助教	宮田 玲  <平成29年4月> 博士(教育学)
		電気電子情報工学序論 計算機プログラミング基礎及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 計算機プログラミング基礎及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			計算機プログラミング基礎及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			計算機プログラミング基礎及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
								今岡 淳  <平成30年4月> 博士(工学)			今岡 淳  <平成30年4月> 博士(工学)
専	助教	山中 真仁  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	山中 真仁  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	山中 真仁  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	山中 真仁  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気磁気学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気磁気学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気磁気学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 電気磁気学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	舟洞 佑記  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	舟洞 佑記  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	舟洞 佑記  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	舟洞 佑記  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 数学2及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 数学2及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			数学2及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			数学2及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B
専	助教	出来 真斗  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	出来 真斗  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	出来 真斗  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	出来 真斗  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 固体電子工学及び演習 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B
専	助教	小林 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	小林 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	小林 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	小林 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	森 洋二郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	森 洋二郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	森 洋二郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	森 洋二郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 離散数学及び演習 線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 離散数学及び演習 線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B
専	助教	大島 大輝  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	大島 大輝  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	大島 大輝  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	大島 大輝  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気磁気学基礎演習 電気電子情報工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 電気磁気学基礎演習 電気電子情報工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B						
			専	助教		専	助教	村手 宏輔  <平成30年4月> 博士(工学)	専	助教	村手 宏輔  <平成30年4月> 博士(工学)
					計算機プログラミング基礎及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			物理学実験 計算機プログラミング基礎及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								大田 晃生 <平成30年4月> 博士(工学)			大田 晃生 <平成30年4月> 博士(工学)
						専	助教	線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			線形回路論及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
		中島 拓 <平成29年4月> 博士(理学)			中島 拓 <平成29年4月> 博士(理学)			中島 拓 <平成29年4月> 博士(理学)			中島 拓 <平成29年4月> 博士(理学)
	専	助教		専	助教		専	助教		専	助教
		電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 確率論・数値解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			確率論・数値解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B
		堤 隆嘉 <平成29年5月> 博士(工学)			堤 隆嘉 <平成29年5月> 博士(工学)			堤 隆嘉 <平成29年5月> 博士(工学)			堤 隆嘉 <平成29年5月> 博士(工学)
	専	助教		専	助教		専	助教		専	助教
		デジタル回路及び演習 電気電子情報工学実験第2			デジタル回路及び演習 電気電子情報工学実験第2			デジタル回路及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2			デジタル回路及び演習 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	田中 雅光  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	田中 雅光  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	田中 雅光  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	田中 雅光  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			量子力学及び演習 <b>電気電子情報工学実験第1</b> 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			量子力学及び演習 <b>電気電子情報工学実験第1</b> 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B
専	助教	田中 宏彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	田中 宏彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	田中 宏彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	田中 宏彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電子回路工学及び演習 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 電子回路工学及び演習 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電子回路工学及び演習 <b>電気電子情報工学実験第1</b> 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			電子回路工学及び演習 <b>電気電子情報工学実験第1</b> 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B
専	助教	土屋 雄司  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	土屋 雄司  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	土屋 雄司  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	土屋 雄司  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 <b>固体電子工学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 <b>固体電子工学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			電気電子情報工学実験第1 電気電子情報工学実験第2 <b>固体電子工学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 陽香  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 陽香  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 電気電子情報工学実験第2 <b>電気磁気学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 陽香  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>電気電子情報工学実験第1</b> 電気電子情報工学実験第2 <b>電気磁気学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B
専	助教	<b>見玉 直人</b>  <平成30年4月> 博士(工学)
		<b>電気磁気学基礎演習</b> <b>電気電子情報工学実験第1</b> <b>電気電子情報工学実験第2</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>廣井 慧</b>  <平成30年7月> 博士(メディアデザイン学)
		<b>離散数学及び演習</b> <b>電気電子情報工学実験第1</b> <b>電気電子情報工学実験第2</b> 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 陽香  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>電気電子情報工学実験第1</b> 電気電子情報工学実験第2 <b>電気磁気学及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B
専	助教	<b>見玉 直人</b>  <平成30年4月> 博士(工学)
		物理学実験 <b>電気磁気学基礎演習</b> <b>電気電子情報工学実験第1</b> <b>電気電子情報工学実験第2</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	<b>廣井 慧</b>  <平成30年7月> 博士(メディアデザイン学)
		<b>離散数学及び演習</b> <b>電気電子情報工学実験第1</b> <b>電気電子情報工学実験第2</b> 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	廣谷 潤  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	廣谷 潤  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	廣谷 潤  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	廣谷 潤  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 電気電子情報工学実験第1  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 量子力学及び演習 電気電子情報工学実験第1  卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			量子力学及び演習 電気電子情報工学実験第1 <b>電気電子情報工学実験第2</b> 卒業研究A 卒業研究B 企業・研究所見学B			
専	助教	櫻田 健  <平成29年4月> 博士(情報科学)	専	助教	櫻田 健  <平成29年4月> 博士(情報科学)	専	助教	櫻田 健  <平成29年4月> 博士(情報科学)	専	助教	櫻田 健  <平成29年4月> 博士(情報科学)
		電気電子情報工学序論 プログラミング及び演習 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B			電気電子情報工学序論 プログラミング及び演習 電気電子情報工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B 工場実習 企業・研究所見学A 企業・研究所見学B						
			専	助教	佐野 京佑  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	佐野 京佑  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	佐野 京佑  <平成29年4月> 博士(工学)
					電子回路工学及び演習			電子回路工学及び演習			電子回路工学及び演習
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産			特許及び知的財産			特許及び知的財産			

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B
兼任	教授	枝廣 正人 <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーB
兼任	教授	酒井 正彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B
兼任	教授	枝廣 正人 <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーB
兼任	教授	酒井 正彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーB
兼任	准教授	義家 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械工学通論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B
兼任	准教授	義家 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械工学通論
兼任	講師	岡本 正吾 <平成30年4月> 博士(情報科学)
		データ統計解析B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B
兼任	准教授	義家 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械工学通論
兼任	准教授	岡本 正吾 <平成30年4月> 博士(情報科学)
		データ統計解析B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	安藤 智浩 <平成31年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学特別講義第2
兼任	講師	関戸 淳二 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	古川 智康 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	高橋 和晃 <平成31年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学特別講義第2
兼任	講師	山中 浩二 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒田 敏秋 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	伊藤 誠 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 愛子 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学)
		経営工学
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第一
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学)
		経営工学
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第一
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	松井 充 <平成31年4月> 博士(工学)
		電気電子情報工学特別講義第2
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		瀬上 唯夫 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
		中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理
		古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学) 経営工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
		本田 洋 <平成31年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学特別講義第2
		加藤 良文 <平成31年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学特別講義第1
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理
		古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学) 経営工学
兼任	講師	小森 憲昭 <平成31年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学特別講義第1
兼任	講師	西山 彰 <平成31年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学特別講義第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
											前田 照彦 <平成31年4月> 博士(工学) 電気機械設計法及び 製図
											大橋 洋二 <平成31年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学特 別講義第1
											尾崎 友哉 <平成31年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学特 別講義第1
											野村 晃大 <平成31年4月> 博士(工学) 電気及び通信法規
					高橋 一正 <平成30年4月> 博士(工学) 産業と経済						高橋 一正 <平成30年4月> 博士(工学) 産業と経済
											長村 隆 <平成31年4月> 博士(工学) 電気及び通信法規
											田口 尚 <平成31年4月> 博士(工学) 電気電子情報工学特 別講義第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
											内井 敏之  <平成31年4月>  博士(工学) 電気電子情報工学特 別講義第1
											内田 達清  <平成31年4月>  博士(工学) 電気電子情報工学特 別講義第1

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更  
大野雄高, 豊田浩孝, 山里敬也, 加藤剛志, 岩田哲, 三好由純, 松崎拓也, 新津葵一, 梅田隆行, 久志本真希, 土屋雄司, 鈴木陽香, 佐野京佑, 義家亮

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
安藤 秀樹, 加藤 丈佳, 河口 信夫, 岩田 聡, 五十嵐 信行, 佐藤 健一, 三好 由純, 山里 敬也, 須田 淳, 西澤 典彦, 川瀬 晃道, 大野 雄高, 藤井 俊彰, 藤巻 朗, 道木 慎二, 片山 正昭, 豊田 浩孝, 堀 勝, 栗本 宗明, 一野 祐亮, 塩谷 亮太, 岡田 啓, 加藤 剛志, 梶田 信, 岩田 哲, 吉川 大弘, 近藤 博基, 小島 寛樹, 松崎 拓也, 松本 隆太郎, 西谷 望, 竹内 栄二郎, 長谷川 浩, 長尾 全寛, 田畑 彰守, 内山 剛, 牧原 克典, 本田 善央, 高橋 桂太, 今田 晋亮, 竹家 啓, 岸本 茂久, 志本 真希, 宮田 玲, 山中 真仁, 舟洞 佑記, 出来 真斗, 小林 健太郎, 森 洋二郎, 中島 拓, 堤 隆嘉, 田中 雅光, 田中 宏彦, 土屋 雄司, 鈴木 陽香, 廣谷 潤

・以下辞任  
中里 和郎, 町田 忍, 宮島 千代美, ジメネス フェリックス, 大島 大輝, 櫻田 健, 枝廣 正人, 酒井 正彦, 舟橋 俊久

・以下就任  
杉本 重幸, 山本 真義, 山下 太郎, 堀田 昌宏, 今中 政輝, 今岡 淳, 村手 宏輔, 大田 晃生, 兒玉 直人, 今岡 淳, 岡本 正吾, 黒田 敏秋, 伊藤 誠, 奥村 由美, 梶川 しのぶ, 宮崎 秀俊, 古澤 和行, 秋澤 淳, 小河 真由美, 小室 輝代, 森 達博, 瀧上 唯夫, 中村 武志, 日下部 玲子, 古澤 和行, 高橋 一正, 福塚 友和, 廣井 慧

・以下担当種別及び職名の変更  
三好 由純, 栗本 宗明, 今田 晋亮, 竹家 啓

【令和元年度】

・以下教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
安藤 秀樹, 横水 康伸, 加藤 丈佳, 河口 信夫, 吉田 隆, 五十嵐 信行, 佐藤 理史, 山本 真義, 山里 敬也, 西澤 典彦, 早川 直樹, 大野 哲靖, 大野 雄高, 藤井 俊彰, 藤巻 朗, 道木 慎二, 片山 正昭, 豊田 浩孝, 栗本 宗明, 加藤 剛志, 梶田 信, 山下 太郎, 新津 葵一, 竹内 栄二郎, 長谷川 浩, 梅田 隆行, 今田 晋亮, 村手 宏輔, 中島 拓, 堤 隆嘉, 兒玉 直人

・以下辞任  
佐藤 健一, 塩谷 亮太, 松崎 拓也, 黒田 敏秋, 伊藤 誠, 山口 佳一, 瀧上 唯夫

・以下就任  
能勢 正仁, 米澤 拓郎, 安藤 智浩, 関戸 淳二, 古川 智康, 高橋 和晃, 山中 浩二, 高木 愛子, 松井 充, 本田 洋, 加藤 良文, 小森 憲昭, 西山 彰, 前田 照彦, 大橋 洋二, 尾崎 友哉, 野村 晃大, 長村 隆, 田口 尚, 内井 敏之, 内田 達清

・以下担当種別及び職名の変更  
新津 葵一, 梅田 隆行, 岡本 正吾

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
29	26	0	28	83	30	25	2	22	79
(30)	(22)	(2)	(21)	(75)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
29	26	0	28	83	29	26	0	28	83
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{83}{83} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{79} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人				必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
				選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	舟橋 俊久	H30.3	選択	電気エネルギー変換工学	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任 (30)				
2	准教授	宮島 千代美	H30.3	必修	離散数学及び演習	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)				
3	助教	ジメネス フェリックス	H30.3	必修	電気電子情報工学序論	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)				
				必修	確率論・数値解析及び演習	①					
				必修	電気電子情報工学実験第1	①					
				必修	電気電子情報工学実験第2	①					
				必修	卒業研究A	①					
				必修	卒業研究B	①					
				選択	工場実習	①					
				選択	企業・研究所見学A	①					
4	助教	大島 大輝	H30.3	必修	電気電子情報工学序論	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任 (30)				
				必修	電気磁気学基礎演習	①					
				必修	電気電子情報工学実験第1	①					
				必修	卒業研究A	①					
				必修	卒業研究B	①					
				選択	工場実習	①					
				選択	企業・研究所見学A	①					
				選択	企業・研究所見学B	①					
5	助教	櫻田 健	H30.3	必修	電気電子情報工学序論	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)				
				必修	プログラミング及び演習	①					
				必修	電気電子情報工学実験第2	①					
				必修	卒業研究A	①					
				必修	卒業研究B	①					
				選択	工場実習	①					
				選択	企業・研究所見学A	①					
				選択	企業・研究所見学B	①					
6	准教授	塩谷 亮太	H30.5	必修	デジタル回路及び演習	①	H30.5.1付け退職のため辞任 (元)				
				必修	卒業研究A	①					
				必修	卒業研究B	①					
				選択	工場実習	①					
				選択	企業・研究所見学A	①					
				選択	企業・研究所見学B	①					
7	准教授	松崎 拓也	H31.3	必修	プログラミング及び演習	①	H31.3.31付け退職のため辞任 (元)				
				必修	卒業研究A	①					
				必修	卒業研究B	①					
				選択	工場実習	①					
				選択	企業・研究所見学A	①					
				選択	企業・研究所見学B	①					
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
7 人				必修	23 科目	必修	23 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
				選択	16 科目	選択	16 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	39 科目	計	39 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|



(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
7	人	必修	23 科目	必修	23 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	16 科目	選択	16 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	39 科目	計	39 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{7}{83} = \boxed{8.43} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	中里 和郎	必修	電気電子情報工学序論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)			
			必修	固体電子工学及び演習	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	工場実習	①				
			選択	企業・研究所見学A	①				
			選択	企業・研究所見学B	①				
2	教授	町田 忍	必修	電気電子情報工学序論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)			
			必修	電気回路論及び演習	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	工場実習	①				
			選択	企業・研究所見学A	①				
			選択	企業・研究所見学B	①				
3	教授	佐藤 健一	必修	電気電子情報工学序論	①	H31.3.31付け65歳で定年退職 (元)			
			選択	情報ネットワーク	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	企業・研究所見学A	①				
			選択	企業・研究所見学B	①				
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	11 科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	12 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	23 科目	計	23 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。  
なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、  
今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 電気電子情報工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。</li> <li>・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会 月1回程度開催:新旧学科・専攻から代表委員が参加。</li> <li>・教授会 年4回程度:講師以上が参加。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会では、教育制度全般(基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価)について検討・改善するための取組を分掌。</li> <li>また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学主催の新任教員研修FDへの参加(本学高等教育研究センターが実施)</li> <li>・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。</li> <li>・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。</li> <li>・教授会での各種説明会の実施。</li> <li>・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。</li> <li>・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。</li> <li>・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。</li> <li>・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等</li> </ul>
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会  
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席  
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席  
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、工学部では、工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人材を育成することを目的としている。
- その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すため、基礎教育に関して共通部分の多い分野を統合した学科構成に再編（平成29年度から教育組織を改編し、化学生命工学科、物理工学科、マテリアル工学科、電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科、エネルギー理工学科、環境土木・建築学科の7学科構成）し、遅い年次で専門分野が選択できる基礎を重視し、創成型科目も充実させた教育カリキュラムへの変更を行うことにより、学部及び大学院教育を充実させ、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。
- 今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。
- (1) 学部では、教養科目、基礎科目を総合大学の強みを生かした全学科目として開講し、人間としての素養を含む基礎を教える。続く専門教育では演習を加えた授業形態で応用力をつける。また、創成型科目※を充実させて、総合力、創造力、俯瞰力を涵養し、大学院での学習に繋げる。
- (※ 1年次からの専門系科目を拡大し、専門教育初期の段階から、既存の知識にとらわれず自らの発想に基づいて授業を設計する科目)
- ただし、日本技術者教育認定機構（JABEE）認定プログラムに沿った教育を採用している学科（環境土木・建築学科）においては、それと齟齬のないカリキュラムとする。
- (2) 導入教育として、安全教育、倫理教育、情報セキュリティ教育、知財教育に関するカリキュラムを充実させる。
- (3) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・令和元年10月頃 公表予定
- b 公表方法
- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
  - ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

## (2) 大学名 名古屋大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601  
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		
学部長	(ニイミ トモヒデ) 新美智秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水谷法美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月1日(30)



<p>学科長等</p>	<p>(サカイ ヤスヒコ)</p> <p>酒 井 康 彦</p> <p>(平成29年4月)</p>	<p>(ナガタ コウジ)</p> <p><del>(ハセガワ ヤスヒサ)</del></p> <p>長 田 孝 二</p> <p>長谷川 泰久</p> <p>(平成31年4月)</p> <p><del>(平成30年4月)</del></p>	<p>変更理由：学科長改選のため</p> <p>変更年月日：平成31年4月1日(元)</p>
-------------	---	--	--

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 機械・航空 宇宙工学科 学士（工学）	工学関係	4年	150人	— 年次 人	600人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	150 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	150 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	150 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	1.03倍	—	令和元年度（4月入学）の編入学の内1名は留学生であるが、外数で記入する。（元）
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	624 ( - ) [ 14 ]	71 ( - ) [ 62 ]	520 ( - ) [ 5 ]	64 ( - ) [ 61 ]	527 ( 13 ) [ 7 ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	583 ( - ) [ 14 ]	71 ( - ) [ 62 ]	464 ( - ) [ 5 ]	64 ( - ) [ 61 ]	481 ( 12 ) [ 7 ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	158 ( - ) [ 4 ]	5 ( - ) [ 4 ]	153 ( - ) [ 1 ]	4 ( - ) [ 4 ]	153 ( 5 ) [ 1 ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	156 ( - ) [ 2 ]	3 ( - ) [ 2 ]	152 ( - ) [ 0 ]	3 ( - ) [ 3 ]	150 ( 2 ) [ 0 ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A					1.06		1.03		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考				
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	156 [ 2 ] ( - )	3 [ 2 ] ( - )	153 [ 1 ] ( 1 )	3 [ 3 ] ( - )	152 [ 0 ] ( 2 )	3 [ 3 ] ( - )	2019年4月 編入学2名				
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	/		155 [ 1 ] ( 0 )	3 [ 3 ] ( 0 )	153 [ 1 ] ( 3 )	3 [ 3 ] ( 0 )					
3年次			/				/		/			/		153 [ 2 ] ( - )	[ ] ( )
4年次														/	
計			[ ] ( )	[ ] ( )			159 [ 4 ] ( - )	314 [ 8 ] ( 1 )	464 [ 9 ] ( 5 )						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	159人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	314人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	進路変更(1人)
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	466人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		1人		1人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{159} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{314} = \boxed{0.31} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{466} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
理学系教育科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2								
	システム工学入門	1前	2								
	情報科学入門	1前	2								
	現代数学への流れ	1後	2								
	先端材料と物性物理	2前	2								
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2								
	物理現象の科学	2前	2			1					
	原子・分子の科学	2後	2								
	物質世界の認識	1前	2								
	物質と材料の科学	1後	2								
	現代の生命科学	2後	2								
	現代医療と生命科学	1前	2								
	生涯健康と医学	2後	2								
	健康増進科学	2前	2								
	遺伝子の世界	1後	2								
	食と農の科学	1前	2								
	動植物の科学	2前	2								
	微生物の科学	1後	2								
	バイオテクノロジー	2前	2								
	地球惑星の科学	1前	2								
	自然環境と人間	1後	2								
	エネルギーと環境	1前	2								
	自然環境と人間社会	1前	2								
	環境問題と人間	2前	2								
	都市と環境	1後	2								
	大気水圏環境の科学	1前	2								
	小計(27科目)	-	0	54	0	1	0	0	0	0	0
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2								
	芸術と人間精神	2前・後	2								
	表象芸術論	2前・後	2								
	音楽芸術論	2前・後	2								
	科学・技術の倫理	2前	2								
	科学技術史	2前・後	2								
	科学技術社会論	2前・後	2								
	科学技術とジェンダー	2前・後	2								
	宗教と人類文化	2前・後	2								
	異文化論	2後	2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2								
	留学生と日本	2後	2								
	名大の歴史をたどる	1前	2								
	大学でどう学ぶか	1前	2								
	キャリア形成論	2前・後	2								
	学問の面白さを知る	1前	2								
	切迫する自然災害に備える	2前	2								
	アーカイブズ入門—文書史料の世界をみる—	2後	2								
	人間関係とコミュニケーション	2前	2								
	ピア・カウンセリング	2前	2								
	小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
理学系教育科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2								
	システム工学入門	1前	2					0	2		
	情報科学入門	1前	2								
	現代数学への流れ	1後	2								
	先端材料と物性物理	2前	2								
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2								
	物理現象の科学	2前	2					2		1	
	原子・分子の科学	2後	2								
	物質世界の認識	1前	2								
	物質と材料の科学	1後	2								
	現代の生命科学	2後	2								
	現代医療と生命科学	1前	2								
	生涯健康と医学	2後	2								
	健康増進科学	2前	2								
	遺伝子の世界	1後	2								
	食と農の科学	1前	2								
	動植物の科学	2前	2								
	微生物の科学	1後	2								
	バイオテクノロジー	2前	2								
	地球惑星の科学	1前	2								
	自然環境と人間	1後	2								
	エネルギーと環境	1前	2								
	自然環境と人間社会	1前	2								
	環境問題と人間	2前	2								
	都市と環境	1後	2								
	大気水圏環境の科学	1前	2								
	小計(27科目)	-	0	54	0			2	2	1	0
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2								
	芸術と人間精神	2前・後	2								
	表象芸術論	2前・後	2								
	音楽芸術論	2前・後	2								
	科学・技術の倫理	2前	2								
	科学技術史	2前・後	2								
	科学技術社会論	2前・後	2								
	科学技術とジェンダー	2前・後	2								
	宗教と人類文化	2前・後	2								
	異文化論	2後	2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2								
	留学生と日本	2後	2								
	名大の歴史をたどる	1前	2								
	大学でどう学ぶか	1前	2								
	キャリア形成論	2前・後	2								
	学問の面白さを知る	1前	2								
	切迫する自然災害に備える	2前	2								
	アーカイブズ入門—文書史料の世界をみる—	2後	2								
	人間関係とコミュニケーション	2前	2								
	ピア・カウンセリング	2前	2								
	小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	工学概論第1	1前		1							1
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							1
	テクニカルライティング	4前		2		1					
	工学倫理	1前		2							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	特許及び知的財産	4後		1							1
	データ統計解析B	4前		2							1
小計(10科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	0	11
合計(224科目)	-	85	347	0	149	131	0	151	0	33	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目46.5単位以上、専門科目37単位以上、関連専門科目3単位以上の合計86.5単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」の10単位、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から46.5単位(「計算機ソフトウェア第1、第2」、「数学1及び演習」、「数学2及び演習」、「材料力学第1及び演習」、「材料力学第2及び演習」、「流体力学基礎及び演習」、「粘性流体力学及び演習」、「熱力学及び演習」、「伝熱工学及び演習」、「機構学」、「材料科学第1」、「解析力学及び演習」、「振動工学第1及び演習」、「振動工学第2及び演習」、「制御工学第1及び演習」、「制御工学第2及び演習」、「電気回路工学及び演習」、「加工学第1及び演習」)、専門科目から37単位以上(「設計製図第1、第2、第3」、「機械・航空宇宙工学実験第1、第2」、「卒業研究A、B」の15単位を含むこと)、関連専門科目から3単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	工学概論第1	1前		1							7
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							7
	テクニカルライティング	4前		2							1
	工学倫理	1前		2							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	特許及び知的財産	4後		1							1
	データ統計解析B	4前		2			1	1			0
小計(10科目)	-	0	18	0	1	1	0	0	0	0	23
合計(224科目)	-	85	347	0	145	109	26	141	0	47	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目46.5単位以上、専門科目37単位以上、関連専門科目3単位以上の合計86.5単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」の10単位、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から46.5単位(「計算機ソフトウェア第1、第2」、「数学1及び演習」、「数学2及び演習」、「材料力学第1及び演習」、「材料力学第2及び演習」、「流体力学基礎及び演習」、「粘性流体力学及び演習」、「熱力学及び演習」、「伝熱工学及び演習」、「機構学」、「材料科学第1」、「解析力学及び演習」、「振動工学第1及び演習」、「振動工学第2及び演習」、「制御工学第1及び演習」、「制御工学第2及び演習」、「電気回路工学及び演習」、「加工学第1及び演習」)、専門科目から37単位以上(「設計製図第1、第2、第3」、「機械・航空宇宙工学実験第1、第2」、「卒業研究A、B」の15単位を含むこと)、関連専門科目から3単位以上





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	理学系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2									
	システム工学入門	1前	2									
	情報科学入門	1前	2									
	現代数学への流れ	1後	2									
	先端材料と物性物理	2前	2									
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2									
	物理現象の科学	2前	2			1						
	原子・分子の科学	2後	2									
	物質世界の認識	1前	2									
	物質と材料の科学	1後	2									
	現代の生命科学	2後	2									
	現代医療と生命科学	1前	2									
	生涯健康と医学	2後	2									
	健康増進科学	2前	2									
	遺伝子の世界	1後	2									
	食と農の科学	1前	2									
	動植物の科学	2前	2									
	微生物の科学	1後	2									
	バイオテクノロジー	2前	2									
地球惑星の科学	1前	2										
自然環境と人間	1後	2										
エネルギーと環境	1前	2										
自然環境と人間社会	1前	2										
環境問題と人間	2前	2										
都市と環境	1後	2										
大気水圏環境の科学	1前	2										
小計(27科目)	-	0	54	0	1	0	0	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2									
	芸術と人間精神	2前・後	2									
	表象芸術論	2前・後	2									
	音楽芸術論	2前・後	2									
	科学・技術の倫理	2前	2									
	科学技術史	2前・後	2									
	科学技術社会論	2前・後	2									
	科学技術とジェンダー	2前・後	2									
	宗教と人類文化	2前・後	2									
	異文化論	2後	2									
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2									
	留学生と日本	2後	2									
	名大の歴史をたどる	1前	2									
	大学でどう学ぶか	1前	2									
	キャリア形成論	2前・後	2									
	学問の面白さを知る	1前	2									
	切迫する自然災害に備える	2前	2									
	アーカイブズ入門—文書史料の世界をあるく—	2後	2									
	人間関係とコミュニケーション	2前	2									
ピア・カウンセリング	2前	2										
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	理学系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2									
	システム工学入門	1前	2			1		1				
	情報科学入門	1前	2									
	現代数学への流れ	1後	2									
	先端材料と物性物理	2前	2									
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2									
	物理現象の科学	2前	2			2		1				
	原子・分子の科学	2後	2									
	物質世界の認識	1前	2									
	物質と材料の科学	1後	2									
	現代の生命科学	2後	2									
	現代医療と生命科学	1前	2									
	生涯健康と医学	2後	2									
	健康増進科学	2前	2									
	遺伝子の世界	1後	2									
	食と農の科学	1前	2									
	動植物の科学	2前	2									
	微生物の科学	1後	2									
	バイオテクノロジー	2前	2									
地球惑星の科学	1前	2										
自然環境と人間	1後	2										
エネルギーと環境	1前	2										
自然環境と人間社会	1前	2										
環境問題と人間	2前	2										
都市と環境	1後	2										
大気水圏環境の科学	1前	2										
小計(27科目)	-	0	54	0	3	1	1	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2									
	芸術と人間精神	2前・後	2									
	表象芸術論	2前・後	2									
	音楽芸術論	2前・後	2									
	科学・技術の倫理	2前	2									
	科学技術史	2前・後	2									
	科学技術社会論	2前・後	2									
	科学技術とジェンダー	2前・後	2									
	宗教と人類文化	2前・後	2									
	異文化論	2後	2									
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2									
	留学生と日本	2後	2									
	名大の歴史をたどる	1前	2									
	大学でどう学ぶか	1前	2									
	キャリア形成論	2前・後	2									
	学問の面白さを知る	1前	2									
	切迫する自然災害に備える	2前	2									
	アーカイブズ入門—文書史料の世界をあるく—	2後	2									
	人間関係とコミュニケーション	2前	2									
ピア・カウンセリング	2前	2										
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	工学概論第1	1前		1							1
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							1
	テクニカルライティング	4前		2		0					1
	工学倫理	1前		2							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	特許及び知的財産	4後		1							1
	データ統計解析B	4前		2		1					0
小計(10科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	11	
合計(224科目)	-	85	347	0	141	105	24	129	0	24	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目46.5単位以上、専門科目37単位以上、関連専門科目3単位以上の合計86.5単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23.5単位以上(数学は「微積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」の10単位、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から46.5単位(「計算機ソフトウェア第1、第2」、「数学Ⅰ及び演習」、「数学Ⅱ及び演習」、「材料力学第1及び演習」、「材料力学第2及び演習」、「流体力学基礎及び演習」、「粘性流体力学及び演習」、「熱力学及び演習」、「伝熱工学及び演習」、「機構学」、「材料科学第1」、「解析力学及び演習」、「振動工学第1及び演習」、「振動工学第2及び演習」、「制御工学第1及び演習」、「制御工学第2及び演習」、「電気回路工学及び演習」、「加工学第1及び演習」)、専門科目から37単位以上(「設計製図第1、第2、第3」、「機械・航空宇宙工学実験第1、第2」、「卒業研究A、B」の15単位を含むこと)、関連専門科目から3単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	工学概論第1	1前		1							7
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							7
	テクニカルライティング	4前		2		0					1
	工学倫理	1前		2							1
	経営工学	4後		2							1
	産業と経済	4後		2							1
	特許及び知的財産	4後		1							1
	データ統計解析B	4前		2		1	1				0
小計(10科目)	-	0	18	0	1	1	0	0	0	23	
合計(224科目)	-	85	347	0	148	113	22	146	0	36	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目46.5単位以上、専門科目37単位以上、関連専門科目3単位以上の合計86.5単位以上を修得すること。卒業要件は合計136単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23.5単位以上(数学は「微積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」の10単位、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から46.5単位(「計算機ソフトウェア第1、第2」、「数学Ⅰ及び演習」、「数学Ⅱ及び演習」、「材料力学第1及び演習」、「材料力学第2及び演習」、「流体力学基礎及び演習」、「粘性流体力学及び演習」、「熱力学及び演習」、「伝熱工学及び演習」、「機構学」、「材料科学第1」、「解析力学及び演習」、「振動工学第1及び演習」、「振動工学第2及び演習」、「制御工学第1及び演習」、「制御工学第2及び演習」、「電気回路工学及び演習」、「加工学第1及び演習」)、専門科目から37単位以上(「設計製図第1、第2、第3」、「機械・航空宇宙工学実験第1、第2」、「卒業研究A、B」の15単位を含むこと)、関連専門科目から3単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数学I」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数学II」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・誤記の訂正により、「複素関数論」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「力学I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・誤記の訂正により、「電磁気学II」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料力学第2及び演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「解析力学及び演習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「振動工学第1及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「振動工学第2及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学序論」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に、「准教授7」から「准教授6」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機力学第2」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機システム」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「3」から「4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空原動機システム」の兼任・兼担の教員を「3」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「熱流体機械システム」の兼任・兼担の教員を「3」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙システム研修」の専任教員等の配置を「准教授26」から「准教授19」に、「講師0」から「講師5」に、「助教24」から「助教22」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「設計製図第4」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学実験第1」の専任教員等の配置を「助教24」から「助教22」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学実験第2」の専任教員等の配置を「助教24」から「助教22」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工場見学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授28」から「教授27」に、「准教授26」から「准教授19」に、「講師0」から「講師5」に、「助教27」から「助教22」に、兼任・兼担の教員を「3」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授28」から「教授27」に、「准教授26」から「准教授19」に、「講師0」から「講師5」に、「助教27」から「助教22」に、兼任・兼担の教員を「3」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「テクニカルライティング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「データ統計解析B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。



## 【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーA」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授6」に、「准教授2」から「准教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「微分積分学Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「システム工学入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理現象の科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料力学第1及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料力学第2及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電熱工学及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料科学第1」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「解析力学及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「振動工学第1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「振動工学第2及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「制御工学第2及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学序論」の兼任・兼担の教員を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「動的システム論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料科学第2」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「加工学第2」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「アクチュエータ工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「信号処理」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「設計基礎論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工作機械工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙推進工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙構造工学」の兼任・兼担の教員を「3」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙構機システム」の兼任・兼担の教員を「4」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「熱流体機械システム」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙システム研修」の専任教員等の配置を「教授27」から「教授26」に、「講師5」から「講師4」に、「助教22」から「助教24」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学実験第1」の専任教員等の配置を「助教22」から「助教24」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学実験第2」の専任教員等の配置を「助教22」から「助教24」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授27」から「教授26」に、「講師5」から「講師4」に、「助教22」から「助教24」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授27」から「教授26」に、「講師5」から「講師4」に、「助教22」から「助教24」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第1」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第4」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「データ統計解析B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。



【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「線形代数学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「力学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁気学Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「システム工学入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学1及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料力学第2及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電熱工学及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料科学第1」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「制御工学第1及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学序論」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「動的システム論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「圧縮性流体力学及び演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「センシング工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「設計基礎論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工作機械工学」の兼任・兼担の教員を「1」から「4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙推進工学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙構造工学」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙構機システム」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙システム研修」の専任教員等の配置を「教授26」から「教授24」に、「准教授19」から「准教授18」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「設計製図第2」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「設計製図第3」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学実験第1」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、「助教24」から「助教21」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機械・航空宇宙工学実験第2」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に、「講師0」から「講師1」に、「助教24」から「助教21」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授26」から「教授25」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授26」から「教授25」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
38 科目	186 科目	0 科目	224 科目	38 科目	186 科目	0 科目	224 科目	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{224} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡  施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）	
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体		
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体	
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 47 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成31年4月 室用途変更のため（元）		
	工学部 機械・航空宇宙工学科			109 106 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学部 機械・航空宇宙 工学科	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	1,118 (1,433)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	1,118 (1,433)	0 0	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,034 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（歴史学） 博士（文学） 博士（歴史学）	—		平成12年度		
人文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	修士（歴史学） 修士（学術） 博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学）	0.73		昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度		
（博士後期課程）	3	16	—	48	修士（教育） 博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	修士（臨床心理学） 博士（心理学）	0.86				
法学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学）	0.38		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	17	—	51	修士（比較法学） 修士（現代法学） 博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42		平成16年度		
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学）	1.01		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	修士（経営管理 学） 博士（経済学）	0.51		平成12年度		
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	修士（学術） 博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	修士（学術） 博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学)	0.73	平成29年度	平成29年度			
(博士後期課程)	3	7	—	21	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度			
(博士後期課程)	3	9	—	27	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.24	平成29年度	平成29年度			
(博士後期課程)	3	10	—	30	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科								昭和28年度			
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度			
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12					
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始		
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				



大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻  (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	—				
					博士(環境学)	0.57				
					博士(理学)	—				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	—				
					修士(建築学)	—				
					博士(環境学)	0.37				
					博士(工学)	—				
					博士(建築学)	—				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学)	—				
					修士(地理学)	—				
					修士(法学)	—				
					修士(経済学)	—				
					博士(環境学)	0.48				
					博士(社会学)	—				
					博士(地理学)	—				
					博士(法学)	—				
					博士(経済学)	—				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 機械・航空宇宙工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								中村 隆 <平成30年4月> 工学博士 計測基礎論 工作機械工学			中村 隆 <平成30年4月> 工学博士 計測基礎論 工作機械工学
専	教授	井上 剛志 <平成29年4月> 博士(工学) 振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B	専	教授	井上 剛志 <平成29年4月> 博士(工学) 振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B	専	教授	井上 剛志 <平成29年4月> 博士(工学) 振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B	専	教授	井上 剛志 <平成29年4月> 博士(工学) 振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	宇野 洋二 <平成29年4月> 工学博士 機械・航空宇宙工学序論 動的システム論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B	専	教授	宇野 洋二 <平成29年4月> 工学博士 機械・航空宇宙工学序論 動的システム論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B						
								奥村 大 <平成30年4月> 博士(工学) 基礎セミナーA 材料力学第2及び演習 材料科学第1			奥村 大 <平成30年4月> 博士(工学) 基礎セミナーA 材料力学第2及び演習 材料科学第1 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笠原 次郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 航空宇宙推進工学 航空原動機システム 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	巨 陽  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学第1及び演習 材料強度学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	原 進  <平成29年4月> 博士(工学)
		最適制御論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笠原 次郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 航空宇宙推進工学 航空原動機システム 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	巨 陽  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学第1及び演習 材料強度学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	原 進  <平成29年4月> 博士(工学)
		最適制御論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笠原 次郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 航空宇宙推進工学 航空原動機システム 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	巨 陽  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学第1及び演習 材料強度学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	原 進  <平成29年4月> 博士(工学)
		最適制御論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笠原 次郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 航空宇宙推進工学 航空原動機システム 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	巨 陽  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーB</b> 材料力学第1及び演習 材料強度学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	原 進  <平成29年4月> 博士(工学)
		最適制御論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	荒井 政大  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	荒井 政大  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	荒井 政大  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	荒井 政大  <平成29年4月> 博士(工学)
		計算機ソフトウェア第2 材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			計算機ソフトウェア第2 材料力学第1及び演習 <b>固体力学</b> 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			計算機ソフトウェア第2 材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			計算機ソフトウェア第2 材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	佐宗 章弘  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	佐宗 章弘  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	佐宗 章弘  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	佐宗 章弘  <平成29年4月> 工学博士
		機械・航空宇宙工学序論 圧縮性流体力学及び演習  機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙工学序論 圧縮性流体力学及び演習  機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			システム工学入門 機械・航空宇宙工学序論 圧縮性流体力学及び演習 <b>航空宇宙推進工学</b> 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙工学序論 圧縮性流体力学及び演習 <b>航空宇宙推進工学</b> 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	砂田 茂  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	砂田 茂  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	砂田 茂  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	砂田 茂  <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機力学第1 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			航空宇宙機力学第1 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			<b>基礎セミナーB</b> 航空宇宙機力学第1 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			<b>数学1及び演習</b> 航空宇宙機力学第1 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	山中 淳彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	山中 淳彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	山中 淳彦  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	山中 淳彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			基礎セミナーA 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			基礎セミナーA 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士
		機構学 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B データ統計解析B 微分積分学I			機構学 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B データ統計解析B 微分積分学I			機構学 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B データ統計解析B 微分積分学I			機構学 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B データ統計解析B 微分積分学I
専	教授	社本 英二  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	社本 英二  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	社本 英二  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	社本 英二  <平成29年4月> 工学博士
		加工学第1及び演習 工作機械工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 物理現象の科学			加工学第1及び演習 工作機械工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 物理現象の科学			物理現象の科学 加工学第1及び演習 工作機械工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			物理現象の科学 加工学第1及び演習 工作機械工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	酒井 康彦  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	酒井 康彦  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	酒井 康彦  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	酒井 康彦  <平成29年4月> 工学博士
		流体力学基礎及び演習 粘性流体力学及び演習 熱流体機械システム 機械・航空宇宙システム研修 工場実習 工場見学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB			流体力学基礎及び演習 粘性流体力学及び演習 熱流体機械システム 機械・航空宇宙システム研修 工場実習 工場見学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB			基礎セミナーB 流体力学基礎及び演習 粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 工場実習 工場見学 卒業研究A 卒業研究B			基礎セミナーB 流体力学基礎及び演習 粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 工場実習 工場見学 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	松本 健郎  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	松本 健郎  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	松本 健郎  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	松本 健郎  <平成29年4月> 工学博士
		材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学II 計算機ソフトウェア第1 有限要素法 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学II 計算機ソフトウェア第1 有限要素法 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			基礎セミナーA 材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			基礎セミナーA 材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新井 史人  <平成29年4月> 博士(工学)
		動的システム論 機械・航空宇宙システム研修 創造設計製作 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	新美 智秀  <平成29年4月> 工学博士
		数学2及び演習 センシング工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新井 史人  <平成29年4月> 博士(工学)
		動的システム論 機械・航空宇宙システム研修 創造設計製作 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	新美 智秀  <平成29年4月> 工学博士
		数学2及び演習 センシング工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 敏郎  <平成30年4月> 工学博士
		計算機ソフトウェア第1 有限要素法 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	新井 史人  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 動的システム論 機械・航空宇宙システム研修 創造設計製作 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	新美 智秀  <平成29年4月> 工学博士
		数学2及び演習 センシング工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 敏郎  <平成30年4月> 工学博士
		計算機ソフトウェア第1 有限要素法 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	新井 史人  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 動的システム論 機械・航空宇宙システム研修 創造設計製作 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秦 誠一  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料科学第2  設計基礎論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	水野 幸治  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 自動車工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	成瀬 一郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
兼担	教授	大岡 昌博  <平成29年4月> 工学博士
		アクチュエータ工学 信号処理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秦 誠一  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料科学第2  設計基礎論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	水野 幸治  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 自動車工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	成瀬 一郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
兼担	教授	大岡 昌博  <平成29年4月> 工学博士
		アクチュエータ工学 信号処理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秦 誠一  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料科学第2 <b>加工学第2</b> 設計基礎論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	水野 幸治  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>力学II</b> 機械・航空宇宙工学序論 自動車工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	成瀬 一郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
兼担	教授	大岡 昌博  <平成29年4月> 工学博士
		アクチュエータ工学 信号処理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秦 誠一  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料科学第2 <b>加工学第2</b> 設計基礎論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	水野 幸治  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>力学II</b> 機械・航空宇宙工学序論 自動車工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	成瀬 一郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
<b>専</b>	教授	大岡 昌博  <平成29年4月> 工学博士
		アクチュエータ工学 信号処理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	長谷川 泰久  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	長谷川 泰久  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	長谷川 泰久  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	長谷川 泰久  <平成29年4月> 博士(工学)
		機構学 メカトロニクス工学 ロボット工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			機構学 メカトロニクス工学 ロボット工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			機構学 メカトロニクス工学 ロボット工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			機構学 メカトロニクス工学 ロボット工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	長谷川 達也  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	長谷川 達也  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	長谷川 達也  <平成29年4月> 工学博士	専	教授	
		解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			基礎セミナーA 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			
専	教授	長田 孝二  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	長田 孝二  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	長田 孝二  <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	長田 孝二  <平成29年4月> 博士(工学)
		粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			物理現象の科学 粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			物理現象の科学 粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 方星  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習  機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	東 俊一  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	教授	梅原 徳次  <平成29年4月> 工学博士
		加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第4 卒業研究A 卒業研究B 電磁気学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 方星  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習  機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	東 俊一  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	教授	梅原 徳次  <平成29年4月> 工学博士
		加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第4 卒業研究A 卒業研究B 電磁気学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 方星  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 <b>伝熱工学及び演習</b> 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	東 俊一  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	教授	梅原 徳次  <平成29年4月> 工学博士
		加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第4 卒業研究A 卒業研究B 電磁気学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 方星  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 熱力学及び演習 <b>伝熱工学及び演習</b> 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	東 俊一  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	教授	梅原 徳次  <平成29年4月> 工学博士
		加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第4 卒業研究A 卒業研究B 電磁気学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福澤 健二  <平成29年4月> 博士(工学)
		情報基礎論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	鈴木 達也  <平成29年4月> 工学博士
		電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	上田 隆司  <平成29年4月> 工学博士
		機械・航空宇宙工学序論 計測基礎論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福澤 健二  <平成29年4月> 博士(工学)
		情報基礎論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	鈴木 達也  <平成29年4月> 工学博士
		電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	上田 隆司  <平成29年4月> 工学博士
		機械・航空宇宙工学序論 計測基礎論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福澤 健二  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 情報基礎論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	鈴木 達也  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	上田 隆司  <平成29年4月> 工学博士

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福澤 健二  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>数学2及び演習</b> 情報基礎論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	鈴木 達也  <平成29年4月> 工学博士
		<b>基礎セミナーA</b> 電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	上田 隆司  <平成29年4月> 工学博士

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	伊藤 伸太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 伸太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 伸太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 伸太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 電気回路工学及び演習  機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			数学1及び演習 電気回路工学及び演習  機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			数学1及び演習 <b>情報基礎論</b> 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			数学1及び演習 <b>情報基礎論</b> 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	伊藤 靖仁  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 靖仁  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 靖仁  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 靖仁  <平成29年4月> 博士(工学)
		粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA			粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA			粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA			粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	准教授	稲垣 伸吉  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	稲垣 伸吉  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	稲垣 伸吉  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	稲垣 伸吉  <平成29年4月> 博士(工学)
		計算機ソフトウェア第2 機械・航空宇宙工学序論 メカトロニクス工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			計算機ソフトウェア第2 機械・航空宇宙工学序論 メカトロニクス工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			<b>システム工学入門</b> 計算機ソフトウェア第2 メカトロニクス工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			計算機ソフトウェア第2 メカトロニクス工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
			専	講師	<b>岡本 正吾</b>  <平成29年4月> 博士(情報科学)	専	准教授	<b>岡本 正吾</b>  <平成29年4月> 博士(情報科学)	専	准教授	<b>岡本 正吾</b>  <平成29年4月> 博士(情報科学)
		振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習  機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B データ統計解析B			振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B データ統計解析B			

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 央峰  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 創造設計製作 機械・航空宇宙工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	義家 亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー変換工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 央峰  <平成29年4月> 博士(工学)
		生体工学 解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 創造設計製作 機械・航空宇宙工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	義家 亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー変換工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 央峰  <平成29年4月> 博士(工学)
		生体工学 解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 創造設計製作 機械・航空宇宙工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	義家 亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー変換工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	吉村 彰記  <平成30年1月> 博士(科学)
		解析力学及び演習 固体力学 航空宇宙構造工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 央峰  <平成29年4月> 博士(工学)
		生体工学 解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 創造設計製作 機械・航空宇宙工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	義家 亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA エネルギー変換工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	吉村 彰記  <平成30年1月> 博士(科学)
		解析力学及び演習 固体力学 航空宇宙構造工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第2  卒業研究A 卒業研究B 線形代数学Ⅱ
専	准教授	山口 浩樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学基礎及び演習 機械・航空宇宙システム研修  卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第2  卒業研究A 卒業研究B 線形代数学Ⅱ
専	准教授	山口 浩樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学基礎及び演習 機械・航空宇宙システム研修  卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第2 <b>機械・航空宇宙工学実験第2</b> 卒業研究A 卒業研究B 線形代数学Ⅱ
専	准教授	山口 浩樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 流体力学基礎及び演習 <b>機械・航空宇宙工学序論</b> 機械・航空宇宙システム研修  卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第2 <b>機械・航空宇宙工学実験第2</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	山口 浩樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学基礎及び演習 <b>機械・航空宇宙工学序論</b> 機械・航空宇宙システム研修 <b>センシング工学</b>  卒業研究A 卒業研究B



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	山本 和弘  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	山本 和弘  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	山本 和弘  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	山本 和弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		燃焼工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学II			燃焼工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学II			燃焼工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学II			基礎セミナーA 燃焼工学 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学II
専	准教授	松田 佑  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	松田 佑  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	松田 佑  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	松田 佑  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			数学2及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			
専	助教	植木 保昭  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	植木 保昭  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	植木 保昭  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	植木 保昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			システム工学入門 伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	森 浩一  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	森 浩一  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	森 浩一  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	森 浩一  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙工学序論 ポテンシャル流れ 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙工学序論 ポテンシャル流れ 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙工学序論 ポテンシャル流れ 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			基礎セミナーB 機械・航空宇宙工学序論 ポテンシャル流れ 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森田 康之  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料科学第1 設計基礎論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	浅井 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	村瀬 晃平  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 機械・航空宇宙工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B 力学I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森田 康之  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料科学第1 設計基礎論 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	浅井 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	村瀬 晃平  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 機械・航空宇宙工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B 力学I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	浅井 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	村瀬 晃平  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 機械・航空宇宙工学実験第1 卒業研究A 卒業研究B 力学I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	浅井 徹  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第3 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田地 宏一  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習 数値解析法 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	野老山 貴行  <平成29年4月> 博士(工学)
		計算機ソフトウェア第1 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第1 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	鈴木 教和  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 設計製図第1 卒業研究A 卒業研究B 力学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田地 宏一  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習 数値解析法 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	野老山 貴行  <平成29年4月> 博士(工学)
		計算機ソフトウェア第1 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第1 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	鈴木 教和  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 設計製図第1 卒業研究A 卒業研究B 力学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田地 宏一  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習 数値解析法 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	野老山 貴行  <平成29年4月> 博士(工学)
		計算機ソフトウェア第1 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第1 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	鈴木 教和  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 設計製図第1 卒業研究A 卒業研究B 力学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田地 宏一  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習 数値解析法 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	野老山 貴行  <平成29年4月> 博士(工学)
		計算機ソフトウェア第1 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第1 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	鈴木 教和  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 設計製図第1 卒業研究A 卒業研究B 力学II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	櫻井 淳平  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	櫻井 淳平  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	櫻井 淳平  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	櫻井 淳平  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙工学序論  加工学第2 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA			電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙工学序論  加工学第2 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA			電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙工学序論 <b>材料科学第2</b> 加工学第2 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA			電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙工学序論 <b>材料科学第2</b> 加工学第2 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	准教授	高木 賢太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	高木 賢太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	高木 賢太郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	高木 賢太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		電子回路 デジタル回路 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			電子回路 デジタル回路 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			電子回路 デジタル回路 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B			電子回路 デジタル回路 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B <b>基礎セミナーA</b> <b>システム工学入門</b>
			専	講師	稲守 孝哉  <平成29年4月> 博士(工学)	専	講師	稲守 孝哉  <平成29年4月> 博士(工学)	専	講師	稲守 孝哉  <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機力学第2 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学I			航空宇宙機力学第2 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学I			航空宇宙機力学第2 航空宇宙機システム 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 力学I			

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	徳 悠葵 <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩川 輝 <平成29年4月> 博士(工学) 数学1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 電磁気学II
専	講師	松岡 健 <平成29年4月> 博士(工学) 航空宇宙機システム 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 物理学実験
専	講師	榑野 大輔 <平成29年4月> 博士(情報理工学) 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	助教	徳 悠葵 <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩川 輝 <平成29年4月> 博士(工学) 数学1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B 電磁気学II
専	講師	松岡 健 <平成29年4月> 博士(工学) 物理学実験 物理現象の科学 航空宇宙機システム 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	榑野 大輔 <平成29年4月> 博士(情報理工学) 基礎セミナーB 微分積分学II 制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	徳 悠葵 <平成29年4月> 博士(工学) 材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	松岡 健 <平成29年4月> 博士(工学) 物理学実験 物理現象の科学 圧縮性流体力学及び演習 航空宇宙推進工学 航空宇宙機システム 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	榑野 大輔 <平成29年4月> 博士(情報理工学) 微分積分学II 制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	講師	徳 悠葵 <平成29年4月> 博士(工学) 材料科学第1 設計基礎論 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								鄭 弘鎮  <平成30年4月> 博士(工学)			鄭 弘鎮  <平成30年4月> 博士(工学)
						専	助教	機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
		伊藤 大輔  <平成29年4月> 博士(工学)			伊藤 大輔  <平成29年4月> 博士(工学)			伊藤 大輔  <平成29年4月> 博士(工学)			伊藤 大輔  <平成29年4月> 博士(工学)
	専			専			助教	材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
		奥田 裕之  <平成29年4月> 博士(工学)			奥田 裕之  <平成29年4月> 博士(工学)			奥田 裕之  <平成29年4月> 博士(工学)			奥田 裕之  <平成29年4月> 博士(工学)
	専			専			助教	電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岩野 耕治  <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学基礎及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	宮田 喜久子  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岩野 耕治  <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学基礎及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	宮田 喜久子  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岡 智絵美  <平成30年4月> 博士(工学)
		電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	岩野 耕治  <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学基礎及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	宮田 喜久子  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岡 智絵美  <平成30年4月> 博士(工学)
		電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	岩野 耕治  <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学基礎及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	宮田 喜久子  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	後藤 圭太  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	溝尻 瑞枝  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	佐久間 臣耶  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	後藤 圭太  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	溝尻 瑞枝  <平成29年4月> 博士(工学)
		電気回路工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	佐久間 臣耶  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	後藤 圭太  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	佐久間 臣耶  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	後藤 圭太  <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	佐久間 臣耶  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	市来 誠  <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	市来 誠  <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山口 皓平  <平成30年2月> 博士(工学) 解析力学及び演習 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	市原 大輔  <平成29年10月> 博士(工学) 数学1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	市来 誠  <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山口 皓平  <平成30年2月> 博士(工学) 解析力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	市原 大輔  <平成29年10月> 博士(工学) 数学1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	市来 誠  <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	秋山 靖博  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	上野 藍  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	秋山 靖博  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	上野 藍  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	秋山 靖博  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	上野 藍  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	秋山 靖博  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	上野 藍  <平成29年4月> 博士(工学)
		熱力学及び演習 伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	青山 忠義  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	青山 忠義  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	青山 忠義  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	青山 忠義  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			物理学実験 伝熱工学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
		川崎 央  <平成29年4月> 博士(工学)			川崎 央  <平成29年4月> 博士(工学)			川崎 央  <平成29年4月> 博士(工学)			川崎 央  <平成29年4月> 博士(工学)
専	助教	熱力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B	専	助教	熱力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B	専	助教	熱力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B	専	助教	熱力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
		前田 英次郎  <平成29年4月> Ph. D.			前田 英次郎  <平成29年4月> Ph. D.			前田 英次郎  <平成29年4月> Ph. D.			前田 英次郎  <平成29年4月> Ph. D.
		材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			材料力学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	早坂 健宏  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	早坂 健宏  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	早坂 健宏  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	早坂 健宏  <平成29年4月> 博士(工学)
		加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	村島 基之  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	村島 基之  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	村島 基之  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	村島 基之  <平成29年4月> 博士(工学)
		加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			加工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	中村 慎一郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	中村 慎一郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	中村 慎一郎  <平成29年4月> 博士(工学)	専	助教	中村 慎一郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B			機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 智昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	飯盛 浩司  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 智昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	飯盛 浩司  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 智昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	東 直輝  <平成30年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習
専	助教	飯盛 浩司  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 智昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		粘性流体力学及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	東 直輝  <平成30年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	飯盛 浩司  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	木村 康裕  <平成31年3月> 博士(工学)
		材料力学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有泉 亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第1及び演習 制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藪井 将太  <平成29年4月> 博士(工学)
		振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久  <平成29年4月> PhD
		工学概論第3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有泉 亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第1及び演習 制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藪井 将太  <平成29年4月> 博士(工学)
		振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久  <平成29年4月> PhD
		工学概論第3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有泉 亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第1及び演習 制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藪井 将太  <平成29年4月> 博士(工学)
		振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久  <平成29年4月> PhD
		工学概論第3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有泉 亮  <平成29年4月> 博士(工学)
		制御工学第1及び演習 制御工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	藪井 将太  <平成29年4月> 博士(工学)
		振動工学第1及び演習 振動工学第2及び演習 機械・航空宇宙システム研修 機械・航空宇宙工学実験第1 機械・航空宇宙工学実験第2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久  <平成29年4月> PhD
		工学概論第3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第3
兼任	准教授	高木 賢太郎 <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学実験第2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第3
兼任	准教授	高木 賢太郎 <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学実験第2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第3
兼任	講師	大藪 進喜 <平成30年4月> 博士(理学) 物理学実験
兼任	助教	廣谷 潤 <平成30年4月> 博士(工学) 物理学実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第3
兼任	講師	関戸 淳二 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	古川 智康 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	山元 純文 <平成31年4月> 博士(工学) 設計製図第2
兼任	講師	山中 浩二 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	関山 浩介  <平成29年4月> 博士(工学) 制御工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	関山 浩介  <平成29年4月> 博士(工学) 制御工学第1及び演習 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥村 由美  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
専	准教授	関山 浩介  <平成29年4月> 博士(工学) 制御工学第1及び演習 機械・航空宇宙工学序論 機械・航空宇宙システム研修 設計製図第2 卒業研究A 卒業研究B
兼任	講師	粥川 宏  <平成30年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学序論
兼任	講師	宮崎 秀俊  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	古賀 恵美  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥村 由美  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	関山 浩介  <平成29年4月> 博士(工学) 制御工学第1及び演習 設計製図第2
兼任	講師	粥川 宏  <平成30年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学序論
兼任	講師	宮崎 秀俊  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	古賀 恵美  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	瀧上 唯夫 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学) 航空宇宙構造工学 工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	藤田 克巳 <平成31年4月> 博士(工学) 設計製図第2
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	阿部 俊夫 <平成31年4月> 博士(工学) 航空宇宙構造工学
兼任	講師	安藤 知治 <平成31年4月> 博士(工学) 工作機械工学
兼任	講師	岩崎 文哉 <平成31年4月> 博士(工学) 航空宇宙推進工学
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辺見 真 <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学 序論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辺見 真 <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学 序論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辺見 真 <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学 序論
兼任	講師	古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学) 経営工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辺見 真 <平成29年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学 序論
兼任	講師	濱田 秀樹 <平成31年4月> 博士(工学) 航空宇宙構造工学
兼任	講師	古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学) 経営工学
兼任	講師	高橋 孝幸( <平成31年4月> 博士(工学) 航空宇宙構造工学
兼任	講師	松下 哲也 <平成31年4月> 博士(工学) 工作機械工学
兼任	講師	上野 浩 <平成31年4月> 博士(工学) 工作機械工学
兼任	講師	神戸 礼士 <平成31年4月> 博士(工学) 工作機械工学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石川 力 <平成31年4月> 博士(工学) 航空宇宙構造工学
兼任	講師	早川 茂之 <平成31年4月> 博士(工学) 航空宇宙推進工学
兼任	講師	藤井 和慶 <平成31年4月> 博士(工学) 航空宇宙構造工学
兼任	講師	本田 史郎 <平成31年4月> 博士(工学) 航空宇宙構造工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	高橋 一正 <平成30年4月> 博士(工学) 産業と経済	兼任	講師	高橋 一正 <平成30年4月> 博士(工学) 産業と経済
						兼任	教授	小林 実 <平成30年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学 序論	兼任	教授	小林 実 <平成30年4月> 博士(工学) 機械・航空宇宙工学 序論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- 以下担当教員の見直しによる変更  
荒井政大、岡本正吾、丸山央峰、松田佑、稲守孝哉、岩川輝、松岡健、椿野大輔

【平成30年度】

- 以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
荒井政大、佐宗章弘、砂田茂、山中淳彦、酒井康彦、松本健郎、新井史人、秦誠一、水野幸治、長谷川達也、長田孝二、長野方星、福澤健二、鈴木達也、伊藤伸太郎、稲垣伸吉、岡本正吾、関山浩介、高橋徹、山口浩樹、浅井徹、櫻井淳平、松岡健、椿野大輔、伊藤大輔、植木保昭、青山忠義、徳悠葵
- 以下辞任  
宇野洋二、上田隆司、松田佑、森田康之、溝尻瑞枝、高木賢太郎
- 以下就任  
中村隆、奥村大、吉村彰記、鄭弘鎮、岡智絵美、山口皓平、市原大輔、東直輝、大藪進喜、廣谷潤、黒田敏秋、伊藤誠、奥村由美、梶川しのぶ、粥川宏、宮崎秀俊、古賀恵美、秋澤淳、小河真由美、小室輝代、森達博、瀧上唯夫、中村武志、日下部玲子、古澤和行、高橋一正、小林実
- 以下担当種別及び職名の変更  
岡本正吾

【令和元年度】

- 以下担当教員の見直しによる変更  
奥村大、巨陽、佐宗章弘、砂田茂、長野方星、福澤健二、稲垣伸吉、義家亮、高橋徹、山口浩樹、山本和弘、植木保昭、森浩一、高木賢太郎、稲守孝哉、松岡健、椿野大輔、徳悠葵、山口皓平、青山忠義、早坂健宏、東直輝、関山浩介、中村武志
- 以下辞任  
新美智秀、長谷川達也、村瀬晃平、岩川輝、中村慎一郎、大藪進喜、廣谷潤、黒田敏秋、伊藤誠、山口佳一、瀧上唯夫
- 以下就任  
木村康裕、関戸淳二、古川智康、山元純文、山中浩二、高木愛子、阿部俊夫、藤田克巳、安藤知治、岩崎文哉、濱田秀樹、高橋孝幸、松下哲也、上野浩、神戸礼士、石川力、早川茂之、藤井和慶、本田史郎
- 以下担当種別及び職名の変更  
奥村大、大岡昌博、植木保昭、徳悠葵、関山浩介

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
28	26	0	27	81	27	18	4	24	73
(28)	(19)	(5)	(22)	(74)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
28	26	0	27	81	28	26	0	27	81
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{81}{81} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{73} = \boxed{1.36} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当なし							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人			必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
				選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	上田隆司	H30.3	選択	機械・航空宇宙工学序論	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任（30）
				選択	計測基礎論	①	
2	准教授	松田 佑	H30.3	必修	数学2及び演習	①	H30.3.31付け退職のため辞任（30）
				選択	機械・航空宇宙工学序論	①	
				選択	機械・航空宇宙システム研修	①	
				必修	卒業研究A	①	
3	准教授	森田 康之	H30.3	必修	材料科学第1	①	H30.3.31付け退職のため辞任（30）
				選択	設計基礎論	①	
				選択	機械・航空宇宙システム研修	①	
				必修	卒業研究A	①	
4	助教	溝尻 瑞枝	H30.2	必修	電気回路工学及び演習	①	H30.2.28付け退職のため辞任（30）
				選択	機械・航空宇宙システム研修	①	
				必修	機械・航空宇宙工学実験第1	①	
				必修	機械・航空宇宙工学実験第2	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
5	教授	新見 智秀	H30.10	必修	数学2及び演習	①	H30.10.14付け退職のため辞任（元）
				選択	センシング工学	①	
				選択	機械・航空宇宙システム研修	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
6	准教授	村瀬 晃平	H31.3	選択	機械・航空宇宙システム研修	①	H31.3.31付け退職のため辞任（元）
				必修	設計製図第3	①	
				必修	機械・航空宇宙工学実験第1	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
				必修	力学I	①	

7	准教授	関山 浩介	H31.3	必修	制御工学第1及び演習	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)		
				選択	機械・航空宇宙工学序論	①			
				必修	機械・航空宇宙システム研修	①			
				必修	設計製図第2	①			
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
8	講師	岩川 輝	H31.3	必修	数学1及び演習	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)		
				選択	機械・航空宇宙システム研修	①			
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
				必修	電磁気学Ⅱ	①			
9	助教	中村 慎一郎	H31.3	選択	機械・航空宇宙システム研修	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)		
				必修	機械・航空宇宙工学実験第1	①			
				必修	機械・航空宇宙工学実験第2	①			
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
9	人	必修	32 科目	必修	32 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	45 科目	計	45 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
9	人	必修	32 科目	必修	32 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	45 科目	計	45 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{9}{81} = \boxed{11.11} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	宇野洋二	選択	機械・航空宇宙工学序論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)			
			選択	動的システム論	①				
			選択	機械・航空宇宙システム研修	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
2	教授	長谷川 達也	選択	基礎セミナーA	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)			
			選択	機械・工区宇宙システム研修	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。  
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 機械・航空宇宙工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。</li> <li>・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会 月1回程度開催:新旧学科・専攻から代表委員が参加。</li> <li>・教授会 年4回程度:講師以上が参加。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会では、教育制度全般(基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価)について検討・改善するための取組を分掌。</li> <li>また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学主催の新任教員研修FDへの参加(本学高等教育研究センターが実施)</li> <li>・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。</li> <li>・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。</li> <li>・教授会での各種説明会の実施。</li> <li>・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。</li> <li>・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。</li> <li>・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。</li> <li>・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等</li> </ul>
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会  
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席  
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席  
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、工学部では、工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人材を育成することを目的としている。
- その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すため、基礎教育に関して共通部分の多い分野を統合した学科構成に再編（平成29年度から教育組織を改編し、化学生命工学科、物理工学科、マテリアル工学科、電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科、エネルギー理工学科、環境土木・建築学科の7学科構成）し、遅い年次で専門分野が選択できる基礎を重視し、創成型科目も充実させた教育カリキュラムへの変更を行うことにより、学部及び大学院教育を充実させ、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。
- 今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。
- (1) 学部では、教養科目、基礎科目を総合大学の強みを生かした全学科目として開講し、人間としての素養を含む基礎を教える。続く専門教育では演習を加えた授業形態で応用力をつける。また、創成型科目※を充実させて、総合力、創造力、俯瞰力を涵養し、大学院での学習に繋げる。
- (※ 1年次からの専門系科目を拡大し、専門教育初期の段階から、既存の知識にとらわれず自らの発想に基づいて授業を設計する科目)
- ただし、日本技術者教育認定機構（JABEE）認定プログラムに沿った教育を採用している学科（環境土木・建築学科）においては、それと齟齬のないカリキュラムとする。
- (2) 導入教育として、安全教育、倫理教育、情報セキュリティ教育、知財教育に関するカリキュラムを充実させる。
- (3) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・令和元年10月頃 公表予定
- b 公表方法
- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
  - ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

## (2) 大学名 名古屋大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601  
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

学部長	(ニイミ トモヒデ) 新美智秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水谷法美 (平成30年1月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
学科長等	(イグチ テツオ) 井口哲夫 (平成29年4月)	(エノキダ ヨウイチ) <del>(ナガサキ タカノリ)</del> 榎田洋一 長崎正雅 (平成31年4月) <del>(平成30年4月)</del>	変更理由：学科長改選のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 エネルギー 理工学科 学士（工学）	工学関係	4年	40人	— 年次 人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	40 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	40 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	40 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	1.04倍	—	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	77 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	115 ( - ) [ 3 ]	— ( - ) [ - ]	99 ( 1 ) [ 2 ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	76 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	108 ( - ) [ 3 ]	— ( - ) [ - ]	89 ( 1 ) [ 2 ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	41 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	44 ( - ) [ 2 ]	— ( - ) [ - ]	45 ( 1 ) [ 1 ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	38 ( - ) [ 0 ]	— ( - ) [ - ]	44 ( - ) [ 2 ]	— ( - ) [ - ]	43 ( 1 ) [ 0 ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A					0.95		1.10		1.07				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	38 [ 0 ] ( - )	0 [ 0 ] ( - )	44 [ 2 ] ( 0 )	0 [ 0 ] ( - )	43 [ 0 ] ( 0 )	0 [ 0 ] ( - )	2018.10入学0名 1年次留置0
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	/		38 [ 0 ] ( 0 )	0 [ 0 ] ( 0 )	46 [ 2 ] ( 2 )	0 [ 0 ] ( - )	44-0+(2-0) 2年次留置2名 退学0
3年次			/				/		/		/
4年次	/				/						
計			[ ] ( )	[ ] ( )			38 [ 0 ] ( - )	82 [ 2 ] ( 0 )	126 [ 2 ] ( 2 )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	38人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	82人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	126人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{126} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学基礎科目	健康・スポーツ科学講義	1前		2							
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1							
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1							
	小計(3科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0
文系基礎科目	哲学	1前		2							
	歴史学	1後・2前		2							
	文学	1前		2							
	地理学	1後		2							
	社会学	2前		2							
	心理学Ⅰ	1後・2前		2							
	心理学Ⅱ	1後		2							
	教育学	1前		2							
	日本国憲法	2前		2							
	法学	1前		2							
	政治学	1後		2							
	経済学A	1前		2							
	経営学	1後		2							
	国際関係論	1前		2							
	国際開発学	2前		2							
	統計学	1前		2							
比較教育論	1後		2								
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	
理系基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前		2							
	微分積分学Ⅱ	1後		2							
	線形代数学Ⅰ	1前		2							
	線形代数学Ⅱ	1後		2							
	複素関数論	1後		2							
	力学Ⅰ	1前	2			1					
	力学Ⅱ	1後	2								
	電磁気学Ⅰ	1後	2								
	電磁気学Ⅱ	1後	2								
	物理学実験	1後	1.5			1					
	化学基礎Ⅰ	1前	2			1					
	化学基礎Ⅱ	1後	2			1					
	化学実験	1前	1.5				1				
小計(13科目)	-	15	10	0	3	2	0	0	0	0	
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2							
	現代社会の思想的課題	2後		2							
	科学・技術の哲学	2前		2							
	文化を読む	1前		2							
	表象と文化	2前		2							
	芸術と人間	2前		2							
	社会変動と人間生活	2前		2							
	人間と行動	1前		2							
	現代社会と教育	1前		2							
	教育と発達心理学	1前		2							
	現代社会と法	2後		2							
	民主主義の歴史と現在	1前		2							
	市場経済と社会	2後		2							
	産業社会と企業	1前		2							
	グローバル化時代の国際社会	2後		2							
	開発の光と影	2前		2							
社会と環境	2前		2								
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学基礎科目	健康・スポーツ科学講義	1前		2							
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1							
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1							
	小計(3科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0
文系基礎科目	哲学	1前		2							
	歴史学	1後・2前		2							
	文学	1前		2							
	地理学	1後		2							
	社会学	2前		2							
	心理学Ⅰ	1後・2前		2							
	心理学Ⅱ	1後		2							
	教育学	1前		2							
	日本国憲法	2前		2							
	法学	1前		2							
	政治学	1後		2							
	経済学A	1前		2							
	経営学	1後		2							
	国際関係論	1前		2							
	国際開発学	2前		2							
	統計学	1前		2							
比較教育論	1後		2								
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	
理系基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前		2							
	微分積分学Ⅱ	1後		2							
	線形代数学Ⅰ	1前		2							
	線形代数学Ⅱ	1後		2							
	複素関数論	2前		2							
	力学Ⅰ	1前	2			1					
	力学Ⅱ	1後	2								
	電磁気学Ⅰ	1後	2								
	電磁気学Ⅱ	2前	2					1			
	物理学実験	1後	1.5			1					
	化学基礎Ⅰ	1前	2			1					
	化学基礎Ⅱ	1後	2			1					
	化学実験	1前	1.5				1				
小計(13科目)	-	15	10	0	3	4	0	0	0	0	
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2							
	現代社会の思想的課題	2後		2							
	科学・技術の哲学	2前		2							
	文化を読む	1前		2							
	表象と文化	2前		2							
	芸術と人間	2前		2							
	社会変動と人間生活	2前		2							
	人間と行動	1前		2							
	現代社会と教育	1前		2							
	教育と発達心理学	1前		2							
	現代社会と法	2後		2							
	民主主義の歴史と現在	1前		2							
	市場経済と社会	2後		2							
	産業社会と企業	1前		2							
	グローバル化時代の国際社会	2後		2							
	開発の光と影	2前		2							
社会と環境	2前		2								
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後		2									
	情報メディアとコミュニケーション	2後		2									
	システム工学入門	1前		2									
	情報科学入門	1前		2									
	現代数学への流れ	1後		2									
	先端材料と物性物理	2前		2									
	エレクトロニクスと物性科学	1後		2									
	物理現象の科学	2前		2									
	原子・分子の科学	2後		2									
	物質世界の認識	1前		2									
	物質と材料の科学	1後		2									
	現代の生命科学	2後		2									
	現代医療と生命科学	1前		2									
	生涯健康と医学	2後		2									
	健康増進科学	2前		2									
	遺伝子の世界	1後		2									
	食と農の科学	1前		2									
	動植物の科学	2前		2									
	微生物の科学	1後		2									
	バイオテクノロジー	2前		2									
	地球惑星の科学	1前		2									
	自然環境と人間	1後		2									
	エネルギーと環境	1前		2			1						
	自然環境と人間社会	1前		2									
環境問題と人間	2前		2										
都市と環境	1後		2										
大気水圏環境の科学	1前		2										
小計(27科目)			-	0	54	0	1	0	0	0	0	0	0
全学教養科目	現代芸術論	2前・後		2									
	芸術と人間精神	2前・後		2									
	表象芸術論	2前・後		2									
	音楽芸術論	2前・後		2									
	科学・技術の倫理	2前		2									
	科学技術史	2前・後		2									
	科学技術社会論	2前・後		2									
	科学技術とジェンダー	2前・後		2									
	宗教と人類文化	2前・後		2									
	異文化論	2後		2									
	ビッグバンから現代社会まで	2前		2									
	留学生と日本	2後		2									
	名大の歴史をたどる	1前		2									
	大学でどう学ぶか	1前		2									
	キャリア形成論	2前・後		2									
	学問の面白さを知る	1前		2									
	切迫する自然災害に備える	2前		2									
	アーカイブズ学入門-文書史料の世界をみる-	2後		2									
	人間関係とコミュニケーション	2前		2									
	ピア・カウンセリング	2前		2									
	小計(20科目)			-	0	40	0	0	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後		2									
	情報メディアとコミュニケーション	2後		2									
	システム工学入門	1前		2									
	情報科学入門	1前		2									
	現代数学への流れ	1後		2									
	先端材料と物性物理	2前		2									
	エレクトロニクスと物性科学	1後		2									
	物理現象の科学	2前		2									
	原子・分子の科学	2後		2									
	物質世界の認識	1前		2									
	物質と材料の科学	1後		2									
	現代の生命科学	2後		2									
	現代医療と生命科学	1前		2									
	生涯健康と医学	2後		2									
	健康増進科学	2前		2									
	遺伝子の世界	1後		2									
	食と農の科学	1前		2									
	動植物の科学	2前		2									
	微生物の科学	1後		2									
	バイオテクノロジー	2前		2									
	地球惑星の科学	1前		2									
	自然環境と人間	1後		2									
	エネルギーと環境	1前		2				1		1			
	自然環境と人間社会	1前		2									
環境問題と人間	2前		2										
都市と環境	1後		2										
大気水圏環境の科学	1前		2										
小計(27科目)			-	0	54	0	1	0	0	0	0	0	0
全学教養科目	現代芸術論	2前・後		2									
	芸術と人間精神	2前・後		2									
	表象芸術論	2前・後		2									
	音楽芸術論	2前・後		2									
	科学・技術の倫理	2前		2									
	科学技術史	2前・後		2									
	科学技術社会論	2前・後		2									
	科学技術とジェンダー	2前・後		2									
	宗教と人類文化	2前・後		2									
	異文化論	2後		2									
	ビッグバンから現代社会まで	2前		2									
	留学生と日本	2後		2									
	名大の歴史をたどる	1前		2									
	大学でどう学ぶか	1前		2									
	キャリア形成論	2前・後		2									
	学問の面白さを知る	1前		2									
	切迫する自然災害に備える	2前		2									
	アーカイブズ学入門-文書史料の世界をみる-	2後		2									
	人間関係とコミュニケーション	2前		2									
	ピア・カウンセリング	2前		2									
	小計(20科目)			-	0	40	0	0	0	0	0	0	0



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	エネルギー理工学序論	2				11							
	エネルギー理工学概論	2				11							
	エネルギー理工学設計及び製作	3				1							
	データ統計解析A	2				1							
	電気電子工学通論	2				1							
	量子力学A	2				1							
	物理化学	2					1						
	プログラミング法および数値計算演習A	1					1						
	プログラミング法および数値計算演習B	1					1						
	数学1及び演習	3				1	1						
	数学2及び演習	3					1						
	数学3及び演習	3					1						
	原子核物理概論	2					1						
	応用力学演習	1				1							
	熱力学演習	1				1							
	応用電磁気学演習	1				1							
	流体力学及び演習	3				1							
	量子力学B	2				1							
	量子力学演習	1					1						
	統計力学	2				1							
	統計力学演習	1					1						
	移動現象論及び演習	3					1						
エネルギー理工学実験第1	1				1			5					
エネルギー理工学実験第2A	2				1			5					
エネルギー理工学実験第2B	2				1			5					
エネルギー理工学セミナーA	1				11	12		6					
エネルギー理工学セミナーB	1				11	12		6					
小計(27科目)		-	50	0	0	58	34	0	27	0	0		
専門科目	原子炉物理学		2			1							
	原子力燃料サイクル工学		2			1		1					
	エネルギーシステム工学		2				1						
	プラズマ工学		2			1							
	原子力環境安全工学		2			1							
	原子力工学設計演習		2			1							
	核融合エネルギー基礎工学		2			2	1						
	原子力関係法規		1									1	
	量子線理工学		2				1						
	放射線保健物理学		2				1						
	放射線計測学A		2			1							
	放射線計測学B		2			1							
	原子炉実習		1				1						
	放射線生物学		1									1	
	加速器工学		1									1	
	材料力学		2				1						
	エネルギー材料学		2			1							
	物性物理学A		2				1						
	物性物理学B		2			1							
	固体化学		2			1							
	結晶物理学		2				1						
	量子ビーム分析科学		2			1							
	量子材料化学		2			1							
	テクニカルライティング		2			1							1
	卒業研究A		5			11	12		9			4	
	卒業研究B		5			11	12		9			4	
小計(26科目)		-	10	44	0	37	32	0	18	0	11		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	エネルギー理工学序論	2				2	3						
	エネルギー理工学概論	2				11						3	
	エネルギー理工学設計及び製作	3				1							
	データ統計解析A	2				0	1						
	電気電子工学通論	2				1							
	量子力学A	2				1							
	物理化学	2						1					
	プログラミング法および数値計算演習A	1						1					
	プログラミング法および数値計算演習B	1						1					
	数学1及び演習	3				1	1						
	数学2及び演習	3						2					
	数学3及び演習	3						2					
	原子核物理概論	2						1					
	応用力学演習	1				1							
	熱力学演習	1				1							
	応用電磁気学演習	1				1							
	流体力学及び演習	3				1							
	量子力学B	2				1							
	量子力学演習	1					1						
	統計力学	2				1							
	統計力学演習	1					1						
	移動現象論及び演習	3					1						
エネルギー理工学実験第1	1				1				5				
エネルギー理工学実験第2A	2				1				5				
エネルギー理工学実験第2B	2				1				5				
エネルギー理工学セミナーA	1				11	12		6					
エネルギー理工学セミナーB	1				11	12		6					
小計(27科目)		-	50	0	0	48	40	0	27	0	3		
専門科目	原子炉物理学		2			1							
	原子力燃料サイクル工学		2			1		0					
	エネルギーシステム工学		2			1							
	プラズマ工学		2			1							
	原子力環境安全工学		2			1							
	原子力工学設計演習		2			1							
	核融合エネルギー基礎工学		2			2	0	0					3
	原子力関係法規		1										1
	量子線理工学		2				1						
	放射線保健物理学		2				1						
	放射線計測学A		2			1							
	放射線計測学B		2			1							
	原子炉実習		1				1						
	放射線生物学		1										1
	加速器工学		1										1
	材料力学		2					1					0
	エネルギー材料学		2			1							
	物性物理学A		2				1						
	物性物理学B		2			0	1						
	固体化学		2			1							
	結晶物理学		2				1						
	量子ビーム分析科学		2			1							
	量子材料化学		2			1							
	テクニカルライティング		2				0						1
	卒業研究A		5			11	12		6			0	
	卒業研究B		5			11	12		6			0	
小計(26科目)		-	10	44	0	34	31	0	12	0	7		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	エネルギー理工学輪講A		1			11	12		6		4
	エネルギー理工学輪講B		1			11	12		6		4
	エネルギー理工学特別講義第1			1							1
	エネルギー理工学特別講義第2			1							1
	エネルギー理工学特別講義第3			1							1
	工学概論第1			1							1
	工学概論第2			1							1
	工学概論第3			2							3
	工学概論第4			3							1
	工学倫理		2								1
	特許及び知的財産			1							1
	インターンシップ			1		11					2
	システム制御工学			2		1					
	エネルギー理工学概論2			2		11					2
小計(14科目)		-	4	16	0	45	24	0	12	0	23
合計(217科目)		-	79	326	0	146	94	0	57	0	34
卒業要件及び履修方法											
<p>全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目50単位以上、専門科目34単位以上、関連専門科目4単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計137単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。</p> <p>1. 全学教育科目 全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上</p> <p>2. 専門系科目 専門基礎科目から50単位以上(「エネルギー理工学序論」、「エネルギー理工学概論」、「エネルギー理工学設計及び製作」、「データ統計解析A」、「電気電子工学通論」、「量子力学A」、「物理化学」、「プログラミング法および数値計算演習A、B」、「数学1及び演習」、「数学2及び演習」、「数学3及び演習」、「原子核物理概論」、「応用力学演習」、「熱力学演習」、「応用電磁気学演習」、「流体力学及び演習」、「量子力学B」、「量子力学演習」、「統計力学」、「統計力学演習」、「移動現象論及び演習」、「エネルギー理工学実験第1、第2A、第2B」、「エネルギー理工学セミナーA、B」)、専門科目から34単位以上(「エネルギー理工学輪講A、B」、「卒業研究A、B」の12単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上(「工学倫理」の2単位を含むこと)</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	エネルギー理工学輪講A		1			11	12		6		0
	エネルギー理工学輪講B		1			11	12		6		0
	エネルギー理工学特別講義第1			1		1					0
	エネルギー理工学特別講義第2			1							1
	エネルギー理工学特別講義第3			1							1
	工学概論第1			1							7
	工学概論第2			1							1
	工学概論第3			2							3
	工学概論第4			3							7
	工学倫理		2								1
	特許及び知的財産			1							1
	インターンシップ			1		11					0
	システム制御工学			2		0					1
	エネルギー理工学概論2			2		11					0
小計(14科目)		-	4	16	0	45	24	0	12	0	23
合計(217科目)		-	79	326	0	132	104	0	51	0	33
卒業要件及び履修方法											
<p>全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目50単位以上、専門科目34単位以上、関連専門科目4単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計137単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。</p> <p>1. 全学教育科目 全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上</p> <p>2. 専門系科目 専門基礎科目から50単位以上(「エネルギー理工学序論」、「エネルギー理工学概論」、「エネルギー理工学設計及び製作」、「データ統計解析A」、「電気電子工学通論」、「量子力学A」、「物理化学」、「プログラミング法および数値計算演習A、B」、「数学1及び演習」、「数学2及び演習」、「数学3及び演習」、「原子核物理概論」、「応用力学演習」、「熱力学演習」、「応用電磁気学演習」、「流体力学及び演習」、「量子力学B」、「量子力学演習」、「統計力学」、「統計力学演習」、「移動現象論及び演習」、「エネルギー理工学実験第1、第2A、第2B」、「エネルギー理工学セミナーA、B」)、専門科目から34単位以上(「エネルギー理工学輪講A、B」、「卒業研究A、B」の12単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上(「工学倫理」の2単位を含むこと)</p>											





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
		情報メディアとコミュニケーション	2後	2								
		システム工学入門	1前	2								
		情報科学入門	1前	2								
		現代数学への流れ	1後	2								
		先端材料と物性物理	2前	2								
		エレクトロニクスと物性科学	1後	2								
		物理現象の科学	2前	2								
		原子・分子の科学	2後	2								
		物質世界の認識	1前	2								
		物質と材料の科学	1後	2								
		現代の生命科学	2後	2								
		現代医療と生命科学	1前	2								
		生涯健康と医学	2後	2								
		健康増進科学	2前	2								
		遺伝子の世界	1後	2								
		食と農の科学	1前	2								
		動植物の科学	2前	2								
		微生物の科学	1後	2								
		バイオテクノロジー	2前	2								
		地球惑星の科学	1前	2								
		自然環境と人間	1後	2			1					
		エネルギーと環境	1前	2								
		自然環境と人間社会	1前	2								
		環境問題と人間	2前	2								
		都市と環境	1後	2								
		大気水圏環境の科学	1前	2								
小計(27科目)	-	0	54	0	1	0	0	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2									
		芸術と人間精神	2前・後	2								
		表象芸術論	2前・後	2								
		音楽芸術論	2前・後	2								
		科学・技術の倫理	2前	2								
		科学技術史	2前・後	2								
		科学技術社会論	2前・後	2								
		科学技術とジェンダー	2前・後	2								
		宗教と人類文化	2前・後	2								
		異文化論	2後	2								
		ビッグバンから現代社会まで	2前	2								
		留学生と日本	2後	2								
		名大の歴史をたどる	1前	2								
		大学でどう学ぶか	1前	2								
		キャリア形成論	2前・後	2								
		学問の面白さを知る	1前	2								
		切迫する自然災害に備える	2前	2								
		アーカイブズ学入門-文書史料の世界をみる-	2後	2								
		人間関係とコミュニケーション	2前	2								
		ピア・カウンセリング	2前	2								
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2								
		情報メディアとコミュニケーション	2後	2								
		システム工学入門	1前	2								
		情報科学入門	1前	2								
		現代数学への流れ	1後	2								
		先端材料と物性物理	2前	2								
		エレクトロニクスと物性科学	1後	2								
		物理現象の科学	2前	2								
		原子・分子の科学	2後	2								
		物質世界の認識	1前	2								
		物質と材料の科学	1後	2								
		現代の生命科学	2後	2								
		現代医療と生命科学	1前	2								
		生涯健康と医学	2後	2								
		健康増進科学	2前	2								
		遺伝子の世界	1後	2								
		食と農の科学	1前	2								
		動植物の科学	2前	2								
		微生物の科学	1後	2								
		バイオテクノロジー	2前	2								
		地球惑星の科学	1前	2								
		自然環境と人間	1後	2			1					
		エネルギーと環境	1前	2								
		自然環境と人間社会	1前	2								
		環境問題と人間	2前	2								
		都市と環境	1後	2								
		大気水圏環境の科学	1前	2								
小計(27科目)	-	0	54	0	1	0	0	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2									
		芸術と人間精神	2前・後	2								
		表象芸術論	2前・後	2								
		音楽芸術論	2前・後	2								
		科学・技術の倫理	2前	2								
		科学技術史	2前・後	2								
		科学技術社会論	2前・後	2								
		科学技術とジェンダー	2前・後	2								
		宗教と人類文化	2前・後	2								
		異文化論	2後	2								
		ビッグバンから現代社会まで	2前	2								
		留学生と日本	2後	2								
		名大の歴史をたどる	1前	2								
		大学でどう学ぶか	1前	2								
		キャリア形成論	2前・後	2								
		学問の面白さを知る	1前	2								
		切迫する自然災害に備える	2前	2								
		アーカイブズ学入門-文書史料の世界をみる-	2後	2								
		人間関係とコミュニケーション	2前	2								
		ピア・カウンセリング	2前	2								
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	エネルギー工学序論		2			11						
	エネルギー工学概論		2			11						
	エネルギー工学設計及び製作		3			1						
	データ統計解析A		2			0	1					
	電気電子工学通論		2			1						
	量子力学A		2			1						
	物理化学		2				1					
	プログラミング法および数値計算演習A		1				1					
	プログラミング法および数値計算演習B		1				1					
	数学1及び演習		3			1	1					
	数学2及び演習		3				1					
	数学3及び演習		3				1					
	原子核物理概論		2				1					
	応用力学演習		1			1						
	熱力学演習		1			1						
	応用電磁気学演習		1			1						
	流体力学及び演習		3			1						
	量子力学B		2			1						
	量子力学演習		1				1					
	統計力学		2			1						
	統計力学演習		1				1					
移動現象論及び演習		3				1						
エネルギー工学実験第1		1			1			5				
エネルギー工学実験第2A		2			1			5				
エネルギー工学実験第2B		2			1			5				
エネルギー工学セミナーA		1			11	12		6				
エネルギー工学セミナーB		1			11	12		6				
小計(27科目)		-	50	0	0	57	35	0	27	0	0	
専門科目	原子炉物理学			2		1						
	原子力燃料サイクル工学			2		1						
	エネルギーシステム工学			2			1					
	プラズマ工学			2		1						
	原子力環境安全工学			2		1						
	原子力工学設計演習			2		1						
	核融合エネルギー基礎工学			2		0	0				3	
	原子力関係法規			1							1	
	量子線理工学			2			1					
	放射線保健物理学			2			1					
	放射線計測学A			2		1						
	放射線計測学B			2		1						
	原子炉実習			1			1					
	放射線生物学			1							1	
	加速器工学			1							1	
	材料力学			2			0				2	
	エネルギー材料学			2		1						
	物性物理学A			2			1					
	物性物理学B			2		0	1					
	固体化学			2		1						
	結晶物理学			2			1					
	量子ビーム分析科学			2		1						
	量子材料化学			2		1						
テクニカルライティング			2		0					1		
卒業研究A		5			11	12		7		0		
卒業研究B		5			11	12		7		0		
小計(26科目)		-	10	44	0	33	31	0	14	0	9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	エネルギー工学序論		2			2	3				
	エネルギー工学概論		2			11					
	エネルギー工学設計及び製作		3			1					
	データ統計解析A		2			0	1				
	電気電子工学通論		2			1					
	量子力学A		2			1					
	物理化学		2				1				
	プログラミング法および数値計算演習A		1				1				
	プログラミング法および数値計算演習B		1				1				
	数学1及び演習		3			1	1				
	数学2及び演習		3				2				
	数学3及び演習		3				2				
	原子核物理概論		2				1				
	応用力学演習		1			1					
	熱力学演習		1			1					
	応用電磁気学演習		1			1					
	流体力学及び演習		3			1					
	量子力学B		2			1					
	量子力学演習		1				1				
	統計力学		2			1					
	統計力学演習		1				1				
移動現象論及び演習		3				1					
エネルギー工学実験第1		1			1				5		
エネルギー工学実験第2A		2			1				5		
エネルギー工学実験第2B		2			1				5		
エネルギー工学セミナーA		1			11	13		7			
エネルギー工学セミナーB		1			11	13		7			
小計(19科目)		-	50	0	0	48	42	0	29	0	0
専門科目	原子炉物理学			2		1					
	原子力燃料サイクル工学			2		1					
	エネルギーシステム工学			2			1				
	プラズマ工学			2		1					
	原子力環境安全工学			2		1					
	原子力工学設計演習			2		1					
	核融合エネルギー基礎工学			2		0	0				3
	原子力関係法規			1							1
	量子線理工学			2			1				
	放射線保健物理学			2			1				
	放射線計測学A			2		1					
	放射線計測学B			2		1					
	原子炉実習			1			1				
	放射線生物学			1							1
	加速器工学			1							1
	材料力学			2			1				0
	エネルギー材料学			2		1					
	物性物理学A			2			1				
	物性物理学B			2		0	1				
	固体化学			2		1					
	結晶物理学			2			1				
	量子ビーム分析科学			2		1					
	量子材料化学			2		1					
テクニカルライティング			2		0					1	
卒業研究A		5			11	13		7		0	
卒業研究B		5			11	13		7		0	
小計(45科目)		-	10	44	0	33	34	0	14	0	7



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	エネルギー理工学輪講A		1			11	12		6		0
	エネルギー理工学輪講B		1			11	12		6		0
	エネルギー理工学特別講義第1			1		1					0
	エネルギー理工学特別講義第2			1							1
	エネルギー理工学特別講義第3			1							1
	工学概論第1			1							1
	工学概論第2			1							1
	工学概論第3			2							3
	工学概論第4			3							1
	工学倫理		2								1
	特許及び知的財産			1							1
	インターンシップ			1		11					0
	システム制御工学			2		0					1
	エネルギー理工学概論2			2		11					0
小計(14科目)		-	4	16	0	45	24	0	12	0	11
合計(217科目)		-	79	326	0	140	95	0	53	0	20

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目50単位以上、専門科目34単位以上、関連専門科目4単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計137単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から50単位以上(「エネルギー理工学序論」、「エネルギー理工学概論」、「エネルギー理工学設計及び製作」、「データ統計解析A」、「電気電子工学通論」、「量子力学A」、「物理化学」、「プログラミング法および数値計算演習A、B」、「数学1及び演習」、「数学2及び演習」、「数学3及び演習」、「原子核物理概論」、「応用力学演習」、「熱力学演習」、「応用電磁気学演習」、「流体力学及び演習」、「量子力学B」、「量子力学演習」、「統計力学」、「統計力学演習」、「移動現象論及び演習」、「エネルギー理工学実験第1、第2A、第2B」、「エネルギー理工学セミナーA、B」)、専門科目から34単位以上(「エネルギー理工学輪講A、B」、「卒業研究A、B」の12単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上(「工学倫理」の2単位を含むこと)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	エネルギー理工学輪講A		1			11	13		7		0
	エネルギー理工学輪講B		1			11	13		7		0
	エネルギー理工学特別講義第1			1		1					0
	エネルギー理工学特別講義第2			1							1
	エネルギー理工学特別講義第3			1							1
	工学概論第1			1							7
	工学概論第2			1							1
	工学概論第3			2							3
	工学概論第4			3							7
	工学倫理		2								1
	特許及び知的財産			1							1
	インターンシップ			1		11					0
	システム制御工学			2		0					1
	エネルギー理工学概論2			2		11					0
小計(14科目)		-	4	16	0	45	26	0	14	0	23
合計(217科目)		-	79	326	0	131	111	0	57	0	30

卒業要件及び履修方法

全学教育科目は49単位以上、専門系科目は専門基礎科目50単位以上、専門科目34単位以上、関連専門科目4単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計137単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から23単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ、Ⅱ」、「物理学実験」の9.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学実験」の5.5単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から50単位以上(「エネルギー理工学序論」、「エネルギー理工学概論」、「エネルギー理工学設計及び製作」、「データ統計解析A」、「電気電子工学通論」、「量子力学A」、「物理化学」、「プログラミング法および数値計算演習A、B」、「数学1及び演習」、「数学2及び演習」、「数学3及び演習」、「原子核物理概論」、「応用力学演習」、「熱力学演習」、「応用電磁気学演習」、「流体力学及び演習」、「量子力学B」、「量子力学演習」、「統計力学」、「統計力学演習」、「移動現象論及び演習」、「エネルギー理工学実験第1、第2A、第2B」、「エネルギー理工学セミナーA、B」)、専門科目から34単位以上(「エネルギー理工学輪講A、B」、「卒業研究A、B」の12単位を含むこと)、関連専門科目から4単位以上(「工学倫理」の2単位を含むこと)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成29年度】**

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・誤記の訂正により、「複素関数論」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・誤記の訂正により、「電磁気学Ⅱ」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「データ統計解析A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「核融合エネルギー基礎工学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料力学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物性物理学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「テクニカルライティング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「助教9」から「助教7」に、兼任・兼担の教員を「4」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「助教9」から「助教7」に、兼任・兼担の教員を「4」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学輪講A」の兼任・兼担の教員を「0」から「4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学輪講B」の兼任・兼担の教員を「0」から「4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学特別講義第1」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「インターンシップ」の兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「システム制御工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学概論2」の兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。

**【平成30年度】**

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーA」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「力学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「電磁気学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギーと環境」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学序論」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学3及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナーA」の専任教員等の配置を「准教授12」から「准教授13」に、「講師6」から「講師7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナーB」の専任教員等の配置を「准教授12」から「准教授13」に、「講師6」から「講師7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料力学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「准教授12」から「准教授13」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「准教授12」から「准教授13」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学輪講A」の専任教員等の配置を「准教授12」から「准教授13」に、「講師6」から「講師7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学輪講B」の専任教員等の配置を「准教授12」から「准教授13」に、「講師6」から「講師7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第1」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第4」の兼任・兼担の教員を「1」から「7」に変更。

**【令和元年度】**

- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学概論」の兼任・兼担の教員を「0」から「3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナーA」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授12」に、「講師7」から「講師6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナーB」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授12」に、「講師7」から「講師6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギーシステム工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授12」に、「講師7」から「講師6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授12」に、「講師7」から「講師6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学輪講A」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授12」に、「講師7」から「講師6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学輪講B」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授12」に、「講師7」から「講師6」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	177 科目	0 科目	217 科目	40 科目 [ 0 ]	177 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	217 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{217} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡  施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）	
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体	
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体	
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学部 エネルギー理工学科			28 29 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学部 エネルギー理工学科	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	146 (193)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	146 (193)	0 0	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」

を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
人文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73		昭和28年度 (平成12年度名称変更)		
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)			平成12年度		
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)			平成16年度		
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)			平成12年度		
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				



大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻  (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻  (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<工学部 エネルギー理工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井口 哲夫  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学序論 エネルギー理工学概論 数学1及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 放射線計測学A 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井口 哲夫  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学序論 エネルギー理工学概論 数学1及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 放射線計測学A 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B エネルギー理工学特別講義第1 インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井口 哲夫  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学概論 数学1及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 放射線計測学A 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B エネルギー理工学特別講義第1 インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井口 哲夫  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学概論 数学1及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 放射線計測学A 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B エネルギー理工学特別講義第1 インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瓜谷 章  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 電気電子工学通論 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 放射線計測学B 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瓜谷 章  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 電気電子工学通論 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 放射線計測学B 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瓜谷 章  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学概論 電気電子工学通論 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 放射線計測学B 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瓜谷 章  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学概論 電気電子工学通論 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 放射線計測学B 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	榎田 洋一  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学序論 エネルギー理工学概論 熱力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 原子力燃料サイクル工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	榎田 洋一  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学序論 エネルギー理工学概論 熱力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 原子力燃料サイクル工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	榎田 洋一  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学概論 熱力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 原子力燃料サイクル工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	榎田 洋一  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学概論 熱力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 原子力燃料サイクル工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 章夫
		<平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		エネルギー工学序論
		エネルギー工学概論
		エネルギー工学セミナーA
		エネルギー工学セミナーB
		原子炉物理学
		原子力工学設計演習
		卒業研究A
		卒業研究B
		エネルギー工学輪講A
		エネルギー工学輪講B
		インターンシップ
エネルギー工学概論2		
基礎セミナーA		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 章夫
		<平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		エネルギー工学序論
		エネルギー工学概論
		エネルギー工学セミナーA
		エネルギー工学セミナーB
		原子炉物理学
		原子力工学設計演習
		卒業研究A
		卒業研究B
		エネルギー工学輪講A
		エネルギー工学輪講B
		インターンシップ
エネルギー工学概論2		
基礎セミナーA		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 章夫
		<平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		エネルギー工学序論
		エネルギー工学概論
		エネルギー工学セミナーA
		エネルギー工学セミナーB
		原子炉物理学
		原子力工学設計演習
		卒業研究A
		卒業研究B
		エネルギー工学輪講A
		エネルギー工学輪講B
		インターンシップ
エネルギー工学概論2		
基礎セミナーA		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 章夫
		<平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		エネルギー工学序論
		エネルギー工学概論
		エネルギー工学セミナーA
		エネルギー工学セミナーB
		原子炉物理学
		原子力工学設計演習
		卒業研究A
		卒業研究B
		エネルギー工学輪講A
		エネルギー工学輪講B
		インターンシップ
エネルギー工学概論2		
基礎セミナーA		



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山澤 弘実  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 統計力学 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 原子力環境安全工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 エネルギーと環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山澤 弘実  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 統計力学 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 原子力環境安全工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 エネルギーと環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山澤 弘実  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学概論 統計力学 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 原子力環境安全工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 エネルギーと環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山澤 弘実  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学概論 統計力学 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 原子力環境安全工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 エネルギーと環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柴田 理尋  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 量子力学A 応用力学演習 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柴田 理尋  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 量子力学A 応用力学演習 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柴田 理尋  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学概論 量子力学A 応用力学演習 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柴田 理尋  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学概論 量子力学A 応用力学演習 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長崎 正雅  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2A エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB エネルギー材料学 固体化学 量子ビーム分析科学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長崎 正雅  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2A エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB エネルギー材料学 固体化学 量子ビーム分析科学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長崎 正雅  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学概論  エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB エネルギー材料学 固体化学 量子ビーム分析科学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長崎 正雅  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学概論  エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB エネルギー材料学 固体化学 量子ビーム分析科学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 義之  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 エネルギー工学設計及び製作 流体工学及び演習 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB  卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 義之  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 エネルギー工学設計及び製作 流体工学及び演習 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB  卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 義之  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>力学I</b> エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 エネルギー工学設計及び製作 流体工学及び演習 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB  卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 義之  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>力学I</b> エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 エネルギー工学設計及び製作 流体工学及び演習 エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB <b>エネルギーシステム工学</b> 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤田 隆明  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学序論 エネルギー理工学概論 応用電磁気学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB プラズマ理工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤田 隆明  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学序論 エネルギー理工学概論 応用電磁気学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB プラズマ理工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤田 隆明  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学概論 応用電磁気学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB プラズマ理工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤田 隆明  <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学概論 応用電磁気学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB プラズマ理工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B インターンシップ エネルギー理工学概論2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八木 伸也  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 量子力学B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 物理学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八木 伸也  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論 量子力学B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 物理学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八木 伸也  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学概論 量子力学B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 物理学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八木 伸也  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学概論 量子力学B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 物理学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾上 順  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論  エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 量子材料化学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 化学基礎I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾上 順  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学序論 エネルギー工学概論  エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 量子材料化学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 化学基礎I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾上 順  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学概論 <b>エネルギー工学実験第1</b> <b>エネルギー工学実験第2A</b> <b>エネルギー工学実験第2B</b> エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 量子材料化学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 化学基礎I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾上 順  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学概論 <b>エネルギー工学実験第1</b> <b>エネルギー工学実験第2A</b> <b>エネルギー工学実験第2B</b> エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 量子材料化学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B インターンシップ エネルギー工学概論2 化学基礎I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 高啓  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学3及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB エネルギーシステム 工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B
専	准教授	岡本 敦  <平成29年4月> 博士(理学)
		数学2及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 高啓  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学3及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB エネルギーシステム 工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B
専	准教授	岡本 敦  <平成29年4月> 博士(理学)
		データ統計解析A 数学2及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 高啓  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 数学3及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB エネルギーシステム 工学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B
専	准教授	岡本 敦  <平成29年4月> 博士(理学)
		電磁気学II エネルギー理工学序 論 データ統計解析A 数学2及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 敦  <平成29年4月> 博士(理学)
		電磁気学II エネルギー理工学序 論 データ統計解析A 数学2及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉橋 幸子  <平成29年4月> 博士(工学)
		プログラミング法および数値計算演習B  エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	山田 智明  <平成29年4月> 博士(工学)
		統計力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 結晶物理学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉橋 幸子  <平成29年4月> 博士(工学)
		プログラミング法および数値計算演習B  エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	山田 智明  <平成29年4月> 博士(工学)
		統計力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 結晶物理学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉橋 幸子  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA エネルギー理工学序論 プログラミング法および数値計算演習B 数学2及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	山田 智明  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学序論 統計力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 結晶物理学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉橋 幸子  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA エネルギー理工学序論 プログラミング法および数値計算演習B 数学2及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	山田 智明  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学序論 統計力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 結晶物理学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 康明  <平成29年4月> 博士(工学)
		原子核物理概論 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B  基礎セミナーA
専	准教授	森泉 純  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 放射線保健物理学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B  基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 康明  <平成29年4月> 博士(工学)
		原子核物理概論 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B  基礎セミナーA
専	准教授	森泉 純  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 放射線保健物理学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B  基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 康明  <平成29年4月> 博士(工学)
		原子核物理概論 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B
専	准教授	森泉 純  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 放射線保健物理学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B  基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 康明  <平成29年4月> 博士(工学)
		原子核物理概論 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B  <b>数学3及び演習</b>
専	准教授	森泉 純  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 放射線保健物理学 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B  <b>基礎セミナーA</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	杉山 貴彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		移動現象論及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	中谷 真人  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	杉山 貴彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		移動現象論及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	中谷 真人  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB <b>物性物理学B</b> 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	杉山 貴彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		移動現象論及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	<b>池永 英司</b>  <平成29年6月> 博士(理学)
		<b>エネルギー理工学セミナーA</b> <b>エネルギー理工学セミナーB</b> <b>材料力学</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>エネルギー理工学輪講A</b> <b>エネルギー理工学輪講B</b>
専	准教授	中谷 真人  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>エネルギーと環境</b> <b>数学3及び演習</b> エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB <b>物性物理学B</b> 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	杉山 貴彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		移動現象論及び演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	<b>池永 英司</b>  <平成29年6月> 博士(理学)
		<b>エネルギー理工学セミナーA</b> <b>エネルギー理工学セミナーB</b> <b>材料力学</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>エネルギー理工学輪講A</b> <b>エネルギー理工学輪講B</b> <b>基礎セミナーB</b>
専	准教授	中谷 真人  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>エネルギーと環境</b> <b>数学3及び演習</b> エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB <b>物性物理学B</b> 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡辺 賢一  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 量子線理工学 原子炉実習 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B 化学実験
専	准教授	富田 英生  <平成29年4月> 博士(工学)
		プログラミング法お よび数値計算演習A エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B 力学I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡辺 賢一  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 量子線理工学 原子炉実習 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B 化学実験
専	准教授	富田 英生  <平成29年4月> 博士(工学)
		プログラミング法お よび数値計算演習A エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B 力学I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡辺 賢一  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 量子線理工学 原子炉実習 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B 化学実験
専	准教授	富田 英生  <平成29年4月> 博士(工学)
		プログラミング法お よび数値計算演習A エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B 力学I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡辺 賢一  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 量子線理工学 原子炉実習 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B 化学実験
専	准教授	富田 英生  <平成29年4月> 博士(工学)
		プログラミング法お よび数値計算演習A エネルギー理工学セ ミナーA エネルギー理工学セ ミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪 講A エネルギー理工学輪 講B 力学I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柚原 淳司  <平成29年4月> 博士(工学)
		量子力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 物性物理学A 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	澤田 佳代  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理化学 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柚原 淳司  <平成29年4月> 博士(工学)
		量子力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 物性物理学A 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	澤田 佳代  <平成29年4月> 博士(工学)
		物理化学 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柚原 淳司  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 量子力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 物性物理学A 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	澤田 佳代  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学基礎II</b> 物理化学 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	助教	<b>SONNENSCHIEIN Volker Thomas</b>  <b>&lt;平成30年4月&gt;</b> <b>博士(物理)(フィンランド)</b>
		<b>エネルギー理工学セミナーA</b> <b>エネルギー理工学セミナーB</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>エネルギー理工学輪講A</b> <b>エネルギー理工学輪講B</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	柚原 淳司  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 量子力学演習 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 物性物理学A 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	准教授	澤田 佳代  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>化学基礎II</b> 物理化学 エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	助教	<b>SONNENSCHIEIN Volker Thomas</b>  <b>&lt;平成30年4月&gt;</b> <b>博士(物理)(フィンランド)</b>
		<b>エネルギー理工学セミナーA</b> <b>エネルギー理工学セミナーB</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>エネルギー理工学輪講A</b> <b>エネルギー理工学輪講B</b>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 知弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学実験第1 エネルギー理工学実験第2A エネルギー理工学実験第2B エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 知弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学実験第1 エネルギー理工学実験第2A エネルギー理工学実験第2B エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 知弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学実験第1 エネルギー理工学実験第2A エネルギー理工学実験第2B エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 知弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学実験第1 エネルギー理工学実験第2A エネルギー理工学実験第2B エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉野 正人  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2A エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B
専	助教	恒吉 達矢  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉野 正人  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2A エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B
専	助教	恒吉 達矢  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉野 正人  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2A エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B
専	助教	恒吉 達矢  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第1 <b>エネルギー工学実験第2A</b> エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉野 正人  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2A エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B
専	助教	恒吉 達矢  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第1 <b>エネルギー工学実験第2A</b> エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山崎 淳  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2A  エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B
専	助教	小川 智史  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第2A エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山崎 淳  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学実験第1 エネルギー工学実験第2A  エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B
専	助教	小川 智史  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学実験第2A エネルギー工学実験第2B エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山崎 淳  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学実験第1 <b>エネルギー工学実験第2B</b> エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B
専	助教	小川 智史  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山崎 淳  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー工学実験第1 <b>エネルギー工学実験第2B</b> エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B
専	助教	小川 智史  <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー工学セミナーA エネルギー工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー工学輪講A エネルギー工学輪講B



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 真太  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー理工学実験第1 エネルギー理工学実験第2A エネルギー理工学実験第2B エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	助教	佐藤 陽祐  <平成29年5月> 博士(理学)
		卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 真太  <平成29年4月> 博士(理学)
		エネルギー理工学実験第1 エネルギー理工学実験第2A エネルギー理工学実験第2B エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
専	助教	佐藤 陽祐  <平成29年5月> 博士(理学)
		卒業研究A 卒業研究B
兼任	教授	山田 陽滋  <平成29年4月> 工学博士
		テクニカルライティング
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐藤 陽祐  <平成29年5月> 博士(理学)
		エネルギー理工学実験第1 エネルギー理工学実験第2A エネルギー理工学実験第2B エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐藤 陽祐  <平成29年5月> 博士(理学)
		エネルギー理工学実験第1 エネルギー理工学実験第2A エネルギー理工学実験第2B エネルギー理工学セミナーA エネルギー理工学セミナーB 卒業研究A 卒業研究B エネルギー理工学輪講A エネルギー理工学輪講B
兼任	教授	鬼頭 雅弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小橋 眞 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学
兼任	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高田 尚記 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料力学
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	西山 聖久 <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼任	講師	曾 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第4

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	井戸 毅 <平成29年4月> 博士(工学)
		核融合エネルギー基礎工学
兼任	講師	久保 伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		核融合エネルギー基礎工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	井戸 毅 <平成29年4月> 博士(工学)
		核融合エネルギー基礎工学
兼任	講師	久保 伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		核融合エネルギー基礎工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	井戸 毅 <平成29年4月> 博士(工学)
		核融合エネルギー基礎工学 エネルギー理工学概論
兼任	講師	関戸 淳二 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	久保 伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		核融合エネルギー基礎工学 エネルギー理工学概論
兼任	講師	古川 智康 <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
		秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山中 浩二 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	高木 愛子 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	梶川 しのぶ <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	宮崎 秀俊 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	山田 敬信 <平成31年4月> 博士(工学) 原子力関係法規
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		小河 真由美  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2
		小室 輝代  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
		森 達博  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
		中村 武志  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
		日下部 玲子  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	黒田 敏秋  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 講師	小河 真由美  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2
	兼任 講師	小室 輝代  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
	兼任 講師	森 達博  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
	兼任 講師	中村 武志  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1
	兼任 講師	日下部 玲子  <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1 放射線生物学
	兼任 講師	立花 章  <平成31年4月> 博士(工学) 放射線生物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	渡邊 清政 <平成29年4月> 博士(工学) 核融合エネルギー基礎工学	兼任	講師	渡邊 清政 <平成29年4月> 博士(工学) 核融合エネルギー基礎工学	兼任	講師	渡邊 清政 <平成29年4月> 博士(工学) 核融合エネルギー基礎工学 エネルギー理工学概論
						兼任	講師	伊藤 誠 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第1			
						兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4	兼任	講師	奥村 由美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理	兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理	兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理	兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学) 工学倫理

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【平成29年度】**

- ・以下担当教員の見直しによる変更  
井口哲夫、岡本敦、中谷真人、小橋眞、高田尚記、渡邊清政、井戸毅、久保伸、山田陽滋

**【平成30年度】**

- ・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
井口哲夫、瓜谷章、榎田洋一、山澤弘実、柴田理尋、長崎正雅、辻義之、藤田隆明、八木伸也、尾上順、伊藤高啓、岡本敦、吉橋幸子、山田智明、小島康明、中谷真人、  
柚原淳司、澤田佳代、恒吉達矢、佐藤陽祐、山崎淳、小川智史、黒田 敏秋、
- ・以下辞任  
渡邊真太、山田陽滋、小橋眞、高田尚記
- ・以下就任  
池永英司、SONNENSCHEN Volker Thomas、黒田敏秋、伊藤誠、奥村由美

**【令和元年度】**

- ・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
辻義之、小島康明、森泉純、池永英司、井戸毅、久保伸、日下部玲子、渡邊清政
- ・以下辞任  
伊藤高啓、佐藤陽祐、山口佳一、黒田敏秋、伊藤誠
- ・以下就任  
関戸淳二、古川智康、山中浩二、高木愛子、山田敬信、立花章

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。



(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	12	0	9	32	11	12	0	6	29
(11)	(12)	(0)	(6)	(29)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
11	12	0	9	32	11	12	0	9	32
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{32}{32} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人			必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
				選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	渡邊 真太	H30.3	必修	エネルギー理工学実験第1	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任 (30)
				必修	エネルギー理工学実験第2A	①	
				必修	エネルギー理工学実験第2B	①	
				必修	エネルギー理工学セミナーA	①	
				必修	エネルギー理工学セミナーB	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
				必修	エネルギー理工学輪講A	①	
				必修	エネルギー理工学輪講B	①	
2	准教授	伊藤 高啓	H31.3	選択	基礎セミナーA	①	H31.3.31付け退職のため辞任 (元)
				必修	数学3及び演習	①	
				必修	エネルギー理工学セミナーA	①	
				必修	理工学エネルギーセミナーB	①	
				選択	エネルギーシステム工学	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
				必修	エネルギー理工学輪講A	①	
				必修	エネルギー理工学輪講B	①	

3	助教	佐藤 陽祐	H31.3	必修	エネルギー理工学実験第1	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)			
				必修	エネルギー理工学実験第2A	①				
				必修	エネルギー理工学実験第2B	①				
				必修	エネルギー理工学セミナーA	①				
				必修	エネルギー理工学セミナーB	①				
				必修	卒業研究A	①				
				必修	卒業研究B	①				
				必修	エネルギー理工学輪講A	①				
				必修	エネルギー理工学輪講B	①				
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
3	人	必修	25	科目	必修	25	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	27	科目	計	27	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	25 科目	必修	25 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	27 科目	計	27 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{32} = \boxed{9.37} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。  
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 エネルギー理工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。</li> <li>・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会 月1回程度開催:新旧学科・専攻から代表委員が参加。</li> <li>・教授会 年4回程度:講師以上が参加。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会では、教育制度全般(基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価)について検討・改善するための取組を分掌。</li> <li>また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学主催の新任教員研修FDへの参加(本学高等教育研究センターが実施)</li> <li>・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。</li> <li>・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。</li> <li>・教授会での各種説明会の実施。</li> <li>・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。</li> <li>・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。</li> <li>・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。</li> <li>・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等</li> </ul>
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会  
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席  
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席  
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし



(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、工学部では、工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すため、基礎教育に関して共通部分の多い分野を統合した学科構成に再編（平成29年度から教育組織を改編し、化学生命工学科、物理工学科、マテリアル工学科、電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科、エネルギー工学科、環境土木・建築学科の7学科構成）し、遅い年次で専門分野が選択できる基礎を重視し、創成型科目も充実させた教育カリキュラムへの変更を行うことにより、学部及び大学院教育を充実させ、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。  
今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 学部では、教養科目、基礎科目を総合大学の強みを生かした全学科目として開講し、人間としての素養を含む基礎を教える。続く専門教育では演習を加えた授業形態で応用力をつける。また、創成型科目※を充実させて、総合力、創造力、俯瞰力を涵養し、大学院での学習に繋げる。  
(※ 1年次からの専門系科目を拡大し、専門教育初期の段階から、既存の知識にとらわれず自らの発想に基づいて授業を設計する科目)  
ただし、日本技術者教育認定機構（JABEE）認定プログラムに沿った教育を採用している学科（環境土木・建築学科）においては、それと齟齬のないカリキュラムとする。

(2) 導入教育として、安全教育、倫理教育、情報セキュリティ教育、知財教育に関するカリキュラムを充実させる。

(3) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

② 自己点検・評価報告書  
a 公表（予定）時期  
・令和元年10月頃 公表予定  
b 公表方法  
・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。  
・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画  
・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）  
a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）  
b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）  
b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

## (2) 大学名 名古屋大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601  
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

学部長	(ニイミ トモヒデ) 新美智秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水谷法美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
学科長等	(カタギ アツシ) 片木 篤 (平成29年4月)	(アラキ ヨシカズ) <del>(ナカムラ ヒカル)</del> 荒木慶一 中村光 (平成31年4月) <del>(平成30年4月)</del>	変更理由：学科長改選のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 環境土木・ 建築学科 学士（工学）	工学関係	4年	80人	— 年次 人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	80 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	80 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	80 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	1.01倍	—	令和元年度（4月入学）の編入学生1名は留学生であるが、外数で記入する。 <b>(元)</b>
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	199 ( - ) [ 6 ]	— ( - ) [ - ]	228 ( - ) [ 12 ]	— ( - ) [ - ]	229 ( 7 ) [ 14 ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	191 ( - ) [ 6 ]	— ( - ) [ - ]	210 ( - ) [ 9 ]	— ( - ) [ - ]	221 ( 6 ) [ 13 ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	85 ( - ) [ 2 ]	— ( - ) [ - ]	85 ( - ) [ 2 ]	— ( - ) [ - ]	86 ( 3 ) [ 3 ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	80 ( - ) [ 1 ]	— ( - ) [ - ]	81 ( - ) [ 1 ]	— ( - ) [ - ]	83 ( 1 ) [ 2 ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A					1.00		1.01		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	80 [ 1 ] ( - )	0 [ 0 ] ( - )	81 [ 1 ] ( 0 )	0 [ 0 ] ( - )	85 [ 1 ] ( 2 )	0 [ 0 ] ( - )	2018.10入学0名 1年次留置2名
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	/		80 [ 1 ] ( 0 )	0 [ 0 ] ( 0 )	83 [ 1 ] ( 4 )	0 [ 0 ] ( - )	81-2+(4-0) 2年次留置4名 退学0
3年次			/				/		/		/
4年次	/				/						
計			[ ] ( )	[ ] ( )			80 [ 1 ] ( - )	161 [ 2 ] ( 0 )	245 [ 4 ] ( 4 )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	80人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	161人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	247人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{80} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{161} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{247} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

＜工学部 環境土木・建築学科＞

(1) -① 授業科目表

**【認可時又は届出時】**

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全学 教育 科目	基礎セミナーA	1前		2		2	2					
	基礎セミナーB	1後		2			3					
	小計(2科目)	-	0	4	0	2	5	0	0	0	0	0
	英語 (基礎)	1前		1								
	英語 (中級)	1後		1								
	英語 (コミュニケーション)	1後		2								
	英語 (上級)	2前		2								
	ドイツ語 1	1前		1.5								
	ドイツ語 2	1前		1.5								
	ドイツ語 3	1後		1.5								
	ドイツ語 4	1後		1.5								
	フランス語 1	1前		1.5								
	フランス語 2	1前		1.5								
	フランス語 3	1後		1.5								
	フランス語 4	1後		1.5								
	ロシア語 1	1前		1.5								
	ロシア語 2	1前		1.5								
	ロシア語 3	1後		1.5								
	ロシア語 4	1後		1.5								
	中国語 1	1前		1.5								
	中国語 2	1前		1.5								
	中国語 3	1後		1.5								
	中国語 4	1後		1.5								
	スペイン語 1	1前		1.5								
	スペイン語 2	1前		1.5								
	スペイン語 3	1後		1.5								
	スペイン語 4	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語 1	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語 2	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語 3	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語 4	1後		1.5								
	日本語 (口頭表現) 1	1前		1.5								
	日本語 (口頭表現) 2	1後		1.5								
日本語 (文章表現) 1	1前		1.5									
日本語 (文章表現) 2	1後		1.5									
小計(32科目)	-	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	
言語 文化 Ⅱ	特別英語セミナー (ライティング) 1	1・2・3・4前		2								
	特別英語セミナー (ライティング) 2	1・2・3・4後		2								
	特別英語セミナー (プレゼンテーション) 1	1・2・3・4前		2								
	特別英語セミナー (プレゼンテーション) 2	1・2・3・4後		2								
	特別英語セミナー (リーディング) 1	1・2・3・4前		2								
	特別英語セミナー (リーディング) 2	1・2・3・4後		2								
	特別英語セミナー (資格試験英語) 1	1・2前		2								
	中級ドイツ語 1	2前		2								
	中級ドイツ語 2	2後		2								
	中級フランス語 1	2前		2								
	中級フランス語 2	2後		2								
	中級ロシア語 1	2前		2								
	中級ロシア語 2	2後		2								
	中級中国語 1	2前		2								
	中級中国語 2	2後		2								
	中級スペイン語 1	2前		2								
	中級スペイン語 2	2後		2								
	中級朝鮮・韓国語 1	2前		2								
	中級朝鮮・韓国語 2	2後		2								
小計(19科目)	-	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	

**【令和元年度】**

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全学 教育 科目	基礎セミナーA	1前		2		5	7	0				
	基礎セミナーB	1後		2		3	2					
	小計(2科目)	-	0	4	0	8	9	0	0	0	0	0
	英語 (基礎)	1前		1								
	英語 (中級)	1後		1								
	英語 (コミュニケーション)	1後		2								
	英語 (上級)	2前		2								
	ドイツ語 1	1前		1.5								
	ドイツ語 2	1前		1.5								
	ドイツ語 3	1後		1.5								
	ドイツ語 4	1後		1.5								
	フランス語 1	1前		1.5								
	フランス語 2	1前		1.5								
	フランス語 3	1後		1.5								
	フランス語 4	1後		1.5								
	ロシア語 1	1前		1.5								
	ロシア語 2	1前		1.5								
	ロシア語 3	1後		1.5								
	ロシア語 4	1後		1.5								
	中国語 1	1前		1.5								
	中国語 2	1前		1.5								
	中国語 3	1後		1.5								
	中国語 4	1後		1.5								
	スペイン語 1	1前		1.5								
	スペイン語 2	1前		1.5								
	スペイン語 3	1後		1.5								
	スペイン語 4	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語 1	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語 2	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語 3	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語 4	1後		1.5								
	日本語 (口頭表現) 1	1前		1.5								
	日本語 (口頭表現) 2	1後		1.5								
日本語 (文章表現) 1	1前		1.5									
日本語 (文章表現) 2	1後		1.5									
小計(32科目)	-	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	
言語 文化 Ⅱ	特別英語セミナー (ライティング) 1	1・2・3・4前		2								
	特別英語セミナー (ライティング) 2	1・2・3・4後		2								
	特別英語セミナー (プレゼンテーション) 1	1・2・3・4前		2								
	特別英語セミナー (プレゼンテーション) 2	1・2・3・4後		2								
	特別英語セミナー (リーディング) 1	1・2・3・4前		2								
	特別英語セミナー (リーディング) 2	1・2・3・4後		2								
	特別英語セミナー (資格試験英語) 1	1・2前		2								
	中級ドイツ語 1	2前		2								
	中級ドイツ語 2	2後		2								
	中級フランス語 1	2前		2								
	中級フランス語 2	2後		2								
	中級ロシア語 1	2前		2								
	中級ロシア語 2	2後		2								
	中級中国語 1	2前		2								
	中級中国語 2	2後		2								
	中級スペイン語 1	2前		2								
	中級スペイン語 2	2後		2								
	中級朝鮮・韓国語 1	2前		2								
	中級朝鮮・韓国語 2	2後		2								
小計(19科目)	-	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎科目 健康・スポーツ科学 文系基礎科目	健康・スポーツ科学講義	1前		2								
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1								
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1								
	小計(3科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	哲学	1前		2								
	歴史学	1後・2前		2								
	文学	1前		2								
	地理学	1後		2								
	社会学	2前		2								
	心理学Ⅰ	1後・2前		2								
	心理学Ⅱ	1後		2								
	教育学	1前		2								
	日本国憲法	2前		2								
	法学	1前		2								
	政治学	1後		2								
	経済学A	1前		2								
経営学	1後		2									
国際関係論	1前		2									
国際開発学	2前		2									
統計学	1前		2									
比較教育論	1後		2									
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	
理系基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前		2		1						
	微分積分学Ⅱ	1後		2								
	線形代数学Ⅰ	1前		2								
	線形代数学Ⅱ	1後		2								
	複素関数論	1後		2								
	力学Ⅰ	1前	2				2					
	力学Ⅱ	1後	2			1	2					
	電磁気学Ⅰ	1後	2									
	電磁気学Ⅱ	1後	2									
	物理学実験	1後	1.5			1						
	化学基礎Ⅰ	1前	2									
	化学基礎Ⅱ	1後	2									
	化学実験	1前		1.5								
小計(13科目)	-	12	14	0	3	4	0	0	0	0	0	
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2								
	現代社会の思想的課題	2後		2								
	科学・技術の哲学	2前		2								
	文化を読む	1前		2								
	表象と文化	2前		2								
	芸術と人間	2前		2								
	社会変動と人間生活	2前		2								
	人間と行動	1前		2								
	現代社会と教育	1前		2								
	教育と発達の心理	1前		2								
	現代社会と法	2後		2								
	民主主義の歴史と現在	1前		2								
	市場経済と社会	2後		2								
	産業社会と企業	1前		2								
グローバル化時代の国際社会	2後		2									
開発の光と影	2前		2									
社会と環境	2前		2									
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎科目 健康・スポーツ科学 文系基礎科目	健康・スポーツ科学講義	1前		2								
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1								
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1								
	小計(3科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	哲学	1前		2								
	歴史学	1後・2前		2								
	文学	1前		2								
	地理学	1後		2								
	社会学	2前		2								
	心理学Ⅰ	1後・2前		2								
	心理学Ⅱ	1後		2								
	教育学	1前		2								
	日本国憲法	2前		2								
	法学	1前		2								
	政治学	1後		2								
	経済学A	1前		2								
経営学	1後		2									
国際関係論	1前		2									
国際開発学	2前		2									
統計学	1前		2									
比較教育論	1後		2									
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	
理系基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前		2		1						
	微分積分学Ⅱ	1後		2								
	線形代数学Ⅰ	1前		2								
	線形代数学Ⅱ	1後		2								
	複素関数論	2前		2								
	力学Ⅰ	1前	2				2					
	力学Ⅱ	1後	2			1	2					
	電磁気学Ⅰ	1後	2									
	電磁気学Ⅱ	2前	2									
	物理学実験	1後	1.5									
	化学基礎Ⅰ	1前	2									
	化学基礎Ⅱ	1後	2									
	化学実験	1前		1.5								
小計(13科目)	-	12	14	0	5	4	0	0	0	0	0	
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2								
	現代社会の思想的課題	2後		2								
	科学・技術の哲学	2前		2								
	文化を読む	1前		2								
	表象と文化	2前		2								
	芸術と人間	2前		2								
	社会変動と人間生活	2前		2								
	人間と行動	1前		2								
	現代社会と教育	1前		2								
	教育と発達の心理	1前		2								
	現代社会と法	2後		2								
	民主主義の歴史と現在	1前		2								
	市場経済と社会	2後		2								
	産業社会と企業	1前		2								
グローバル化時代の国際社会	2後		2									
開発の光と影	2前		2									
社会と環境	2前		2									
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2							
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2								
	システム工学入門	1前	2								
	情報科学入門	1前	2								
	現代数学への流れ	1後	2								
	先端材料と物性物理	2前	2								
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2								
	物理現象の科学	2前	2								
	原子・分子の科学	2後	2								
	物質世界の認識	1前	2								
	物質と材料の科学	1後	2								
	現代の生命科学	2後	2								
	現代医療と生命科学	1前	2								
	生涯健康と医学	2後	2								
	健康増進科学	2前	2								
	遺伝子の世界	1後	2								
	食と農の科学	1前	2								
	動植物の科学	2前	2								
	微生物の科学	1後	2								
	バイオテクノロジー	2前	2								
	地球惑星の科学	1前	2								
	自然環境と人間	1後	2								
	エネルギーと環境	1前	2								
	自然環境と人間社会	1前	2			1					
	環境問題と人間	2前	2								
	都市と環境	1後	2			1					
	大気水圏環境の科学	1前	2								
小計(27科目)	-	0	54	0	2	0	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2								
	芸術と人間精神	2前・後	2								
	表象芸術論	2前・後	2								
	音楽芸術論	2前・後	2								
	科学・技術の倫理	2前	2								
	科学技術史	2前・後	2								
	科学技術社会論	2前・後	2								
	科学技術とジェンダー	2前・後	2								
	宗教と人類文化	2前・後	2								
	異文化論	2後	2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2								
	留学生と日本	2後	2								
	名大の歴史をたどる	1前	2								
	大学でどう学ぶか	1前	2								
	キャリア形成論	2前・後	2								
	学問の面白さを知る	1前	2								
	切迫する自然災害に備える	2前	2								
	アーカイブズ入門-文書史料の世界をあるく-	2後	2								
	人間関係とコミュニケーション	2前	2								
	ピア・カウンセリング	2前	2								
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	理系教養科目	図情報とコンピュータ	2後	2							
	情報メディアとコミュニケーション	2後	2								
	システム工学入門	1前	2								
	情報科学入門	1前	2								
	現代数学への流れ	1後	2								
	先端材料と物性物理	2前	2								
	エレクトロニクスと物性科学	1後	2								
	物理現象の科学	2前	2								
	原子・分子の科学	2後	2								
	物質世界の認識	1前	2								
	物質と材料の科学	1後	2								
	現代の生命科学	2後	2								
	現代医療と生命科学	1前	2								
	生涯健康と医学	2後	2								
	健康増進科学	2前	2								
	遺伝子の世界	1後	2								
	食と農の科学	1前	2								
	動植物の科学	2前	2								
	微生物の科学	1後	2								
	バイオテクノロジー	2前	2								
	地球惑星の科学	1前	2								
	自然環境と人間	1後	2								
	エネルギーと環境	1前	2								
	自然環境と人間社会	1前	2				2	1			
	環境問題と人間	2前	2								
	都市と環境	1後	2				2	2			
	大気水圏環境の科学	1前	2								
小計(27科目)	-	0	54	0	4	3	0	0	0		
全学教養科目	現代芸術論	2前・後	2								
	芸術と人間精神	2前・後	2								
	表象芸術論	2前・後	2								
	音楽芸術論	2前・後	2								
	科学・技術の倫理	2前	2								
	科学技術史	2前・後	2								
	科学技術社会論	2前・後	2								
	科学技術とジェンダー	2前・後	2								
	宗教と人類文化	2前・後	2								
	異文化論	2後	2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前	2								
	留学生と日本	2後	2								
	名大の歴史をたどる	1前	2								
	大学でどう学ぶか	1前	2								
	キャリア形成論	2前・後	2								
	学問の面白さを知る	1前	2								
	切迫する自然災害に備える	2前	2								
	アーカイブズ入門-文書史料の世界をあるく-	2後	2								
	人間関係とコミュニケーション	2前	2								
	ピア・カウンセリング	2前	2								
小計(20科目)	-	0	40	0	0	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	構造物と技術の発展	1前	2			5						
	都市と文明の歴史	1前	2			2	1					
	情報処理序説	1前	2			1						
	形と力	1後	2			1	1					
	人間活動と環境	1後	2			3						
	数学1及び演習	1後	4			1	1					
	確率と統計	1後		2		1						
	解析力学及び演習	2前		3		1	1					
	数学2及び演習	2後		4		1						
	社会資本計画学[土木]	2前	2			2						
	構造解析の基礎及び演習[土木]	2前	4			1			1			
	流れの力学及び演習[土木]	2前	4			2	1		2			
	流れの力学及び演習[建築]	4前		4		2	1		2			
	構造力学及び演習[土木]	2後	4				1					
	土質力学及び演習[土木]	2後	4			1	1		2			
	環境土工学実習[土木]	2後	1			1	5		9			
	図学[建築]	1前	2			1						
	図学[土木]	1前		2		1						
	空間計画論[建築]	2後		2		1	1					
	空間設計工学及び演習第1[建築]	2前	3			2	2					
建築構造力学及び演習[建築]	2前	2.5			1							
空間設計論[建築]	2前	2				1						
空間設計工学及び演習第2[建築]	2後	3				2		2				
応用構造力学及び演習[建築]	2後	2.5				1						
鉄骨構造[建築]	2後	2				1						
小計[土木](16科目)	-	33	11	0	24	12	0	14	0	0		
小計[建築](18科目)	-	31	15	0	23	13	0	4	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	構造物と技術の発展	1前	2			6						
	都市と文明の歴史	1前	2			1	0					1
	情報処理序説	1前	2			1						
	形と力	1後	2			2	0					
	人間活動と環境	1後	2			2	2					
	数学1及び演習	1後	4			1	1					
	確率と統計	1後		2		1						
	解析力学及び演習	2前		3		1	1					
	数学2及び演習	2後		4		0						2
	社会資本計画学[土木]	2前	2			2						
	構造解析の基礎及び演習[土木]	2前	4			1				1		
	流れの力学及び演習[土木]	2前	4			2	0			2		
	流れの力学及び演習[建築]	4前		4		2	0			2		
	構造力学及び演習[土木]	2後	4				1					
	土質力学及び演習[土木]	2後	4			1	1			2		
	環境土工学実習[土木]	2後	1			0	5	0		9		
	図学[建築]	1前	2			1						
	図学[土木]	1前		2		1						
	空間計画論[建築]	2後		2		1	0					
	空間設計工学及び演習第1[建築]	2前	3			1	1			1		1
建築構造力学及び演習[建築]	2前	2.5			1							
空間設計論[建築]	2前	2				0					1	
空間設計工学及び演習第2[建築]	2後	3				1			1		3	
応用構造力学及び演習[建築]	2後	2.5			1	0						
鉄骨構造[建築]	2後	2				1						
小計[土木](16科目)	-	33	11	0	22	11	0	14	0	3		
小計[建築](18科目)	-	31	15	0	22	7	0	4	0	8		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	国土のデザインとプロジェクト[土木]	2前		2		1					2
	国土のデザインとプロジェクト[建築]	4前		2		1					2
	土木史[土木]	3前		2							1
	土木史[建築]	4前		2							1
	学外実習[土木]	3前		1		1					
	都市・国土計画[土木]	3後		2							1
	社会環境保全学[土木]	4前		2		2	1				
	空間設計論[土木]	4前		2			1				
	土木地質学[土木]	4前		2		1					1
	防災・減災技術[土木]	4前		2		1					
	水域環境学[土木]	4前		2		2	1				1
	社会基盤施設の設計と維持管理[土木]	4前		2		1					4
	情報処理及び演習[建築]	2後		1.5			2				2
	造形演習第1[建築]	2前		1							2
	造形演習第2[建築]	3前		1							1
	土質力学及び演習[建築]	4後		4		1	1		2		
	計測技術及び実習[建築]	3前		2.5		3	2		4		1
	衛生工学[建築]	3前		2		1					
	建築学特別講義[建築]	4後		2							1
	工学概論第1	1前		1							1
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							1
	工学倫理	1前		2							1
	データ統計解析B	4前		2							1
	テクニカルライティング	4前		2		1					
	産業と経済	4後		2							1
特許及び知的財産	4後		1							1	
環境土木・建築学概論	4後		2		3						
経営工学	4後		2							1	
小計[土木](21科目)		-	0	39	0	13	3	0	0	0	21
小計[建築](20科目)		-	0	77	0	23	8	0	6	0	42
合計[土木](219科目)		-	77	348	0	115	85	0	63	0	35
合計[建築](221科目)		-	78	404	0	139	106	0	58	0	60

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	国土のデザインとプロジェクト[土木]	2前		2		1	1	0			3
	国土のデザインとプロジェクト[建築]	4前		2		1	1	0			3
	土木史[土木]	3前		2							1
	土木史[建築]	4前		2							1
	学外実習[土木]	3前		1		1					
	都市・国土計画[土木]	3後		2				2	1		0
	社会環境保全学[土木]	4前		2		2	1				
	空間設計論[土木]	4前		2				0			1
	土木地質学[土木]	4前		2		1					2
	防災・減災技術[土木]	4前		2		7	3	0			
	水域環境学[土木]	4前		2		2	1				1
	社会基盤施設の設計と維持管理[土木]	4前		2		1					4
	情報処理及び演習[建築]	2後		1.5					0		3
	造形演習第1[建築]	2前		1							2
	造形演習第2[建築]	3前		1							1
	土質力学及び演習[建築]	4後		4		1	1			2	
	計測技術及び実習[建築]	3前		2.5		2	2			4	1
	衛生工学[建築]	3前		2		1	1				
	建築学特別講義[建築]	4後		2							1
	工学概論第1	1前		1							7
	工学概論第2	4前		1							1
	工学概論第3	4後		2							3
	工学概論第4	1前		3							7
	工学倫理	1前		2							1
	データ統計解析B	4前		2							2
	テクニカルライティング	4前		2			0				1
	産業と経済	4後		2							1
特許及び知的財産	4後		1							1	
環境土木・建築学概論	4後		2		3	2	0			1	
経営工学	4後		2							1	
小計[土木](21科目)		-	0	39	0	18	10	1	0	0	38
小計[建築](20科目)		-	0	77	0	26	17	1	6	0	76
合計[土木](219科目)		-	77	348	0	138	89	1	58	0	51
合計[建築](221科目)		-	78	404	0	147	95	2	47	0	107

卒業要件及び履修方法

(環境土木工学プログラム)

全学教育科目は45.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目37単位以上、専門科目46単位以上、関連専門科目5単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計133.5単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から19.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から37単位以上(「構造物と技術の発展」、「都市と文明の歴史」、「情報処理序説」、「形と力」、「人間活動と環境」、「数学1及び演習」、「社会資本計画学」、「構造解析の基礎及び演習」、「流れの力学及び演習」、「構造力学及び演習」、「土質力学及び演習」、「環境土木工学実習」の33単位を含むこと)、専門科目から46単位以上(「土木の統計学」、「材料工学」、「空間計画論」、「開水路水理学」、「構造材料実験Ⅰ」、「土木の力学」、「コンクリート構造第1」、「土質・基礎工学」、「沿岸海象力学」、「技術英語1」、「水理学実験」、「地盤材料実験」、「技術英語2」、「構造材料実験Ⅱ」、「卒業研究A、B」の32単位を含むこと)、関連専門科目から5単位以上

(建築学プログラム)

全学教育科目は45.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目33単位以上、専門科目47単位以上、関連専門科目8単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計133.5単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から19.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から33単位以上(「構造物と技術の発展」、「都市と文明の歴史」、「情報処理序説」、「形と力」、「人間活動と環境」、「数学1及び演習」、「図学」、「空間設計工学及び演習第1」、「建築構造力学及び演習」、「空間設計論」、「空間設計工学及び演習第2」、「応用構造力学及び演習」、「鉄骨構造」の31単位を含むこと)、専門科目から47単位以上(「物理環境工学」、「コンクリート工学」、「建築設計及び演習第1」、「建築史第1」、「建築計画第1」、「人間環境工学」、「環境システム工学」、「鉄筋コンクリート構造」、「構造・材料実験法」、「建築法規」、「防災安全」、「建築史第2」、「建築生産システム」、「卒業研究A、B」の35単位を含むこと)、関連専門科目から8単位以上

卒業要件及び履修方法

(環境土木工学プログラム)

全学教育科目は45.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目37単位以上、専門科目46単位以上、関連専門科目5単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計133.5単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から19.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から37単位以上(「構造物と技術の発展」、「都市と文明の歴史」、「情報処理序説」、「形と力」、「人間活動と環境」、「数学1及び演習」、「社会資本計画学」、「構造解析の基礎及び演習」、「流れの力学及び演習」、「構造力学及び演習」、「土質力学及び演習」、「環境土木工学実習」の33単位を含むこと)、専門科目から46単位以上(「土木の統計学」、「材料工学」、「空間計画論」、「開水路水理学」、「構造材料実験Ⅰ」、「土木の力学」、「コンクリート構造第1」、「土質・基礎工学」、「沿岸海象力学」、「技術英語1」、「水理学実験」、「地盤材料実験」、「技術英語2」、「構造材料実験Ⅱ」、「卒業研究A、B」の32単位を含むこと)、関連専門科目から5単位以上

(建築学プログラム)

全学教育科目は45.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目33単位以上、専門科目47単位以上、関連専門科目8単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計133.5単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から19.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から33単位以上(「構造物と技術の発展」、「都市と文明の歴史」、「情報処理序説」、「形と力」、「人間活動と環境」、「数学1及び演習」、「図学」、「空間設計工学及び演習第1」、「建築構造力学及び演習」、「空間設計論」、「空間設計工学及び演習第2」、「応用構造力学及び演習」、「鉄骨構造」の31単位を含むこと)、専門科目から47単位以上(「物理環境工学」、「コンクリート工学」、「建築設計及び演習第1」、「建築史第1」、「建築計画第1」、「人間環境工学」、「環境システム工学」、「鉄筋コンクリート構造」、「構造・材料実験法」、「建築法規」、「防災安全」、「建築史第2」、「建築生産システム」、「卒業研究A、B」の35単位を含むこと)、関連専門科目から8単位以上

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎科目	基礎セミナーA	1前		2		2	2					
	基礎セミナーB	1後		2		1	2					
	小計(2科目)	-	0	4	0	3	4	0	0	0	0	
全学基礎科目	英語(基礎)	1前		1								
	英語(中級)	1後		1								
	英語(コミュニケーション)	1後		2								
	英語(上級)	2前		2								
	ドイツ語1	1前		1.5								
	ドイツ語2	1前		1.5								
	ドイツ語3	1後		1.5								
	ドイツ語4	1後		1.5								
	フランス語1	1前		1.5								
	フランス語2	1前		1.5								
	フランス語3	1後		1.5								
	フランス語4	1後		1.5								
	ロシア語1	1前		1.5								
	ロシア語2	1前		1.5								
	ロシア語3	1後		1.5								
	ロシア語4	1後		1.5								
	中国語1	1前		1.5								
	中国語2	1前		1.5								
	中国語3	1後		1.5								
	中国語4	1後		1.5								
	スペイン語1	1前		1.5								
	スペイン語2	1前		1.5								
	スペイン語3	1後		1.5								
	スペイン語4	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語1	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語2	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語3	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語4	1後		1.5								
	日本語(口頭表現)1	1前		1.5								
	日本語(口頭表現)2	1後		1.5								
	日本語(文章表現)1	1前		1.5								
	日本語(文章表現)2	1後		1.5								
小計(32科目)	-	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	
全学基礎科目	特別英語セミナー(ライティング)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(ライティング)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(プレゼンテーション)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(プレゼンテーション)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(リーディング)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(リーディング)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(資格試験英語)1	1-2前		2								
	中級ドイツ語1	2前		2								
	中級ドイツ語2	2後		2								
	中級フランス語1	2前		2								
	中級フランス語2	2後		2								
	中級ロシア語1	2前		2								
	中級ロシア語2	2後		2								
	中級中国語1	2前		2								
	中級中国語2	2後		2								
	中級スペイン語1	2前		2								
	中級スペイン語2	2後		2								
	中級朝鮮・韓国語1	2前		2								
	中級朝鮮・韓国語2	2後		2								
小計(19科目)	-	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	1前		2								
	健康・スポーツ科学実習I	1前		1								
	健康・スポーツ科学実習II	1後		1								
小計(3科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学基礎科目	基礎セミナーA	1前		2		4	6	1				
	基礎セミナーB	1後		2		2	2					
	小計(2科目)	-	0	4	0	6	8	1	0	0	0	
全学基礎科目	英語(基礎)	1前		1								
	英語(中級)	1後		1								
	英語(コミュニケーション)	1後		2								
	英語(上級)	2前		2								
	ドイツ語1	1前		1.5								
	ドイツ語2	1前		1.5								
	ドイツ語3	1後		1.5								
	ドイツ語4	1後		1.5								
	フランス語1	1前		1.5								
	フランス語2	1前		1.5								
	フランス語3	1後		1.5								
	フランス語4	1後		1.5								
	ロシア語1	1前		1.5								
	ロシア語2	1前		1.5								
	ロシア語3	1後		1.5								
	ロシア語4	1後		1.5								
	中国語1	1前		1.5								
	中国語2	1前		1.5								
	中国語3	1後		1.5								
	中国語4	1後		1.5								
	スペイン語1	1前		1.5								
	スペイン語2	1前		1.5								
	スペイン語3	1後		1.5								
	スペイン語4	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語1	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語2	1前		1.5								
	朝鮮・韓国語3	1後		1.5								
	朝鮮・韓国語4	1後		1.5								
	日本語(口頭表現)1	1前		1.5								
	日本語(口頭表現)2	1後		1.5								
	日本語(文章表現)1	1前		1.5								
	日本語(文章表現)2	1後		1.5								
小計(32科目)	-	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	
全学基礎科目	特別英語セミナー(ライティング)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(ライティング)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(プレゼンテーション)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(プレゼンテーション)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(リーディング)1	1-2-3-4前		2								
	特別英語セミナー(リーディング)2	1-2-3-4後		2								
	特別英語セミナー(資格試験英語)1	1-2前		2								
	中級ドイツ語1	2前		2								
	中級ドイツ語2	2後		2								
	中級フランス語1	2前		2								
	中級フランス語2	2後		2								
	中級ロシア語1	2前		2								
	中級ロシア語2	2後		2								
	中級中国語1	2前		2								
	中級中国語2	2後		2								
	中級スペイン語1	2前		2								
	中級スペイン語2	2後		2								
	中級朝鮮・韓国語1	2前		2								
	中級朝鮮・韓国語2	2後		2								
小計(19科目)	-	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学講義	1前		2								
	健康・スポーツ科学実習I	1前		1								
	健康・スポーツ科学実習II	1後		1								
小計(3科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学教育科目	哲学	1前		2									
	歴史学	1後・2前		2									
	文学	1前		2									
	地理学	1後		2									
	社会学	2前		2									
	心理学I	1後・2前		2									
	心理学II	1後		2									
	教育学	1前		2									
	日本国憲法	2前		2									
	法学	1前		2									
	政治学	1後		2									
	経済学A	1前		2									
	経営学	1後		2									
	国際関係論	1前		2									
	国際開発学	2前		2									
	統計学	1前		2									
	比較教育論	1後		2									
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0		
理系基礎科目	微分積分学I	1前		2		1							
	微分積分学II	1後		2									
	線形代数学I	1前		2									
	線形代数学II	1後		2									
	複素関数論	2前		2									
	力学I	1前	2				2						
	力学II	1後	2			1	2						
	電磁気学I	1後	2										
	電磁気学II	2前		2									
	物理学実験	1後	1.5			1							
	化学基礎I	1前	2										
	化学基礎II	1後	2										
	化学実験	1前		1.5									
小計(13科目)	-	12	14	0	3	4	0	0	0	0	0		
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2									
	現代社会の思想的課題	2後		2									
	科学・技術の哲学	2前		2									
	文化を読む	1前		2									
	表象と文化	2前		2									
	芸術と人間	2前		2									
	社会変動と人間生活	2前		2									
	人間と行動	1前		2									
	現代社会と教育	1前		2									
	教育と発達心理学	1前		2									
	現代社会と法	2後		2									
	民主主義の歴史と現在	1前		2									
	市場経済と社会	2後		2									
	産業社会と企業	1前		2									
	グローバル化時代の国際社会	2後		2									
	開発の光と影	2前		2									
	社会と環境	2前		2									
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学教育科目	哲学	1前		2									
	歴史学	1後・2前		2									
	文学	1前		2									
	地理学	1後		2									
	社会学	2前		2									
	心理学I	1後・2前		2									
	心理学II	1後		2									
	教育学	1前		2									
	日本国憲法	2前		2									
	法学	1前		2									
	政治学	1後		2									
	経済学A	1前		2									
	経営学	1後		2									
	国際関係論	1前		2									
	国際開発学	2前		2									
	統計学	1前		2									
	比較教育論	1後		2									
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0		
理系基礎科目	微分積分学I	1前		2		1							
	微分積分学II	1後		2									
	線形代数学I	1前		2									
	線形代数学II	1後		2									
	複素関数論	2前		2									
	力学I	1前	2				2						
	力学II	1後	2			1	2						
	電磁気学I	1後	2										
	電磁気学II	2前		2									
	物理学実験	1後	1.5										
	化学基礎I	1前	2										
	化学基礎II	1後	2										
	化学実験	1前		1.5									
小計(13科目)	-	12	14	0	5	4	0	0	0	0	0		
文系教養科目	生と死の人間学	2後		2									
	現代社会の思想的課題	2後		2									
	科学・技術の哲学	2前		2									
	文化を読む	1前		2									
	表象と文化	2前		2									
	芸術と人間	2前		2									
	社会変動と人間生活	2前		2									
	人間と行動	1前		2									
	現代社会と教育	1前		2									
	教育と発達心理学	1前		2									
	現代社会と法	2後		2									
	民主主義の歴史と現在	1前		2									
	市場経済と社会	2後		2									
	産業社会と企業	1前		2									
	グローバル化時代の国際社会	2後		2									
	開発の光と影	2前		2									
	社会と環境	2前		2									
小計(17科目)	-	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
理学系教育科目	図情報とコンピュータ	2後		2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後		2								
	システム工学入門	1前		2								
	情報科学入門	1前		2								
	現代数学への流れ	1後		2								
	先端材料と物性物理	2前		2								
	エレクトロニクスと物性科学	1後		2								
	物理現象の科学	2前		2								
	原子・分子の科学	2後		2								
	物質世界の認識	1前		2								
	物質と材料の科学	1後		2								
	現代の生命科学	2後		2								
	現代医療と生命科学	1前		2								
	生涯健康と医学	2後		2								
	健康増進科学	2前		2								
	遺伝子の世界	1後		2								
	食と農の科学	1前		2								
	動植物の科学	2前		2								
	微生物の科学	1後		2								
	バイオテクノロジー	2前		2								
地球惑星の科学	1前		2									
自然環境と人間	1後		2									
エネルギーと環境	1前		2									
自然環境と人間社会	1前		2		1							
環境問題と人間	2前		2									
都市と環境	1後		2		1							
大気水圏環境の科学	1前		2									
小計(27科目)		-	0	54	0	2	0	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後		2								
	芸術と人間精神	2前・後		2								
	表象芸術論	2前・後		2								
	音楽芸術論	2前・後		2								
	科学・技術の倫理	2前		2								
	科学技術史	2前・後		2								
	科学技術社会論	2前・後		2								
	科学技術とジェンダー	2前・後		2								
	宗教と人類文化	2前・後		2								
	異文化論	2後		2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前		2								
	留学生と日本	2後		2								
	名大の歴史をたどる	1前		2								
	大学でどう学ぶか	1前		2								
	キャリア形成論	2前・後		2								
	学問の面白さを知る	1前		2								
	切迫する自然災害に備える	2前		2								
	アーカイブズ入門-文書史料の世界をみる-	2後		2								
	人間関係とコミュニケーション	2前		2								
	ピア・カウンセリング	2前		2								
小計(20科目)		-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
理学系教育科目	図情報とコンピュータ	2後		2								
	情報メディアとコミュニケーション	2後		2								
	システム工学入門	1前		2								
	情報科学入門	1前		2								
	現代数学への流れ	1後		2								
	先端材料と物性物理	2前		2								
	エレクトロニクスと物性科学	1後		2								
	物理現象の科学	2前		2								
	原子・分子の科学	2後		2								
	物質世界の認識	1前		2								
	物質と材料の科学	1後		2								
	現代の生命科学	2後		2								
	現代医療と生命科学	1前		2								
	生涯健康と医学	2後		2								
	健康増進科学	2前		2								
	遺伝子の世界	1後		2								
	食と農の科学	1前		2								
	動植物の科学	2前		2								
	微生物の科学	1後		2								
	バイオテクノロジー	2前		2								
地球惑星の科学	1前		2									
自然環境と人間	1後		2									
エネルギーと環境	1前		2									
自然環境と人間社会	1前		2			2	1					
環境問題と人間	2前		2									
都市と環境	1後		2			2	2					
大気水圏環境の科学	1前		2									
小計(27科目)		-	0	54	0	4	3	0	0	0	0	
全学教養科目	現代芸術論	2前・後		2								
	芸術と人間精神	2前・後		2								
	表象芸術論	2前・後		2								
	音楽芸術論	2前・後		2								
	科学・技術の倫理	2前		2								
	科学技術史	2前・後		2								
	科学技術社会論	2前・後		2								
	科学技術とジェンダー	2前・後		2								
	宗教と人類文化	2前・後		2								
	異文化論	2後		2								
	ビッグバンから現代社会まで	2前		2								
	留学生と日本	2後		2								
	名大の歴史をたどる	1前		2								
	大学でどう学ぶか	1前		2								
	キャリア形成論	2前・後		2								
	学問の面白さを知る	1前		2								
	切迫する自然災害に備える	2前		2								
	アーカイブズ入門-文書史料の世界をみる-	2後		2								
	人間関係とコミュニケーション	2前		2								
	ピア・カウンセリング	2前		2								
小計(20科目)		-	0	40	0	0	0	0	0	0	0	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	構造物と技術の発展	1前	2			5						
	都市と文明の歴史	1前	2			1	1					
	情報処理序説	1前	2			1						
	形と力	1後	2			0	1					
	人間活動と環境	1後	2			3						
	数学1及び演習	1後	4			1	1					
	確率と統計	1後		2		1						
	解析力学及び演習	2前		3		1	1					
	数学2及び演習	2後		4		0						2
	社会資本計画学[土木]	2前		2		2						
	構造解析の基礎及び演習[土木]	2前		4		1			0			
	流れの力学及び演習[土木]	2前		4		3	0		2			
	流れの力学及び演習[建築]	4前		4		3	0		2			
	構造力学及び演習[土木]	2後		4			1					
	土質力学及び演習[土木]	2後		4		1	1		2			
	環境土工学実習[土木]	2後		1		0	5	1	9			
	図学[建築]	1前		2		1						
	図学[土木]	1前		2		1						
	空間計画論[建築]	2後		2		1	0					
	空間設計工学及び演習第1[建築]	2前		3		1	2		1			
建築構造力学及び演習[建築]	2前		2.5		1							
空間設計論[建築]	2前		2			1						
空間設計工学及び演習第2[建築]	2後		3			2		1			2	
応用構造力学及び演習[建築]	2後		2.5			1						
鉄骨構造[建築]	2後		2			1						
小計[土木](16科目)	-		33	11	0	21	11	1	13	0	2	
小計[建築](18科目)	-		31	15	0	20	11	0	4	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	構造物と技術の発展	1前	2			7						
	都市と文明の歴史	1前	2			1	0					1
	情報処理序説	1前	2			1						
	形と力	1後	2			2	0					
	人間活動と環境	1後	2			3						
	数学1及び演習	1後	4			1	1					
	確率と統計	1後		2		1						
	解析力学及び演習	2前		3		1	1					
	数学2及び演習	2後		4		0						2
	社会資本計画学[土木]	2前		2		2						
	構造解析の基礎及び演習[土木]	2前		4		1				0		
	流れの力学及び演習[土木]	2前		4		2	0			2		
	流れの力学及び演習[建築]	4前		4		2	0			2		
	構造力学及び演習[土木]	2後		4			1					
	土質力学及び演習[土木]	2後		4		1	1			2		
	環境土工学実習[土木]	2後		1		0	4	1	7			
	図学[建築]	1前		2		1						
	図学[土木]	1前		2		1						
	空間計画論[建築]	2後		2		1	0					
	空間設計工学及び演習第1[建築]	2前		3		1	1			1		1
建築構造力学及び演習[建築]	2前		2.5		1							
空間設計論[建築]	2前		2			0					1	
空間設計工学及び演習第2[建築]	2後		3			1			1		3	
応用構造力学及び演習[建築]	2後		2.5			1						
鉄骨構造[建築]	2後		2			1						
小計[土木](16科目)	-		33	11	0	24	8	1	11	0	3	
小計[建築](18科目)	-		31	15	0	23	6	0	4	0	8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	土木の統計学[土木]	2前	2				1						
	材料工学[土木]	2後	2				1						
	空間計画論[土木]	2後	2				1	0					
	開水路水理学[土木]	2後	2				0	1					
	構造材料実験Ⅰ[土木]	2後	1				2	4		2			
	土木の力学[土木]	3前	2				1						
	コンクリート構造第1[土木]	3前	2					1					
	土質・基礎工学[土木]	3前	2				1						
	沿岸海象力学[土木]	3前	2					1					
	技術英語1[土木]	3前	1									1	
	水理学実験[土木]	3前	1				0	2		2			
	地盤材料実験[土木]	3前	1				2	2		2		0	
	技術英語2[土木]	3後	1									1	
	構造材料実験Ⅱ[土木]	3後	1				2	4		2			
	情報処理演習[土木]	2前		1				1					
	数値解析学[土木]	2後		2				1					
	衛生工学[土木]	3前		2			1						
	計測技術及び実習[土木]	3前		2.5			3	2		3		1	
	応用構造力学[土木]	3前		2				1					
	交通論[土木]	3前		2			2	1					
	交通論[建築]	4前		2			2	1					
	都市環境システム工学[土木]	3前		2			2						
	極限強度学[土木]	3後		2			0	1					
	鋼構造工学[土木]	3後		2			1						
	コンクリート構造第2[土木]	3後		2				1					
	地盤工学[土木]	3後		2				1					
	水文・河川工学[土木]	3後		2			1						
	海岸・海洋工学[土木]	3後		2			1					1	
	社会資本・空間計画演習[土木]	3後		1			4	1		0			
	環境情報演習[土木]	3後		1			1			1			
	橋梁設計演習[土木]	4前		1			1			1		1	
	社会資本計画学[建築]	3前		2			2						
	物理環境工学[建築]	2後	2				1	1					
	コンクリート工学[建築]	2後	2				2	0					
	建築設計及び演習第1[建築]	3前	3				1	2		1		1	
	建築史第1[建築]	2後	2				1						
	建築計画第1[建築]	3前	2				0	1					
	人間環境工学[建築]	3前	2				1						
	環境システム工学[建築]	3前	2				1						
	耐震工学[建築]	3前		2			1						
	鉄筋コンクリート構造[建築]	3前	2				1						
	構造・材料実験法[建築]	3前	2				2	3		1			
	建築法規[建築]	3前	1					1				3	
	防災安全[建築]	3前	1				1	1					
	建築設計及び演習第2[建築]	3後		3			0	2		0		2	
建築史第2[建築]	3前	2				1							
建築計画第2[建築]	3後		2				1				1		
都市・国土計画[建築]	3後		2				1				1		
設備工学[建築]	3後		2			1	1						
環境システム設計及び演習[建築]	3後		2.5			1	2		1				
建築構造解析及び演習[建築]	3後		2.5				1						
構造設計工学[建築]	3後		2			1							
建築基礎構造[建築]	3後		2			1							
建築材料工学[建築]	3後		2			1	0				1		
建築生産システム[建築]	3後	2									1		
総合設計及び演習第1(構造)[建築]	4前		3				1				1		
総合設計及び演習第1(計画)[建築]	4前		3			7	6		3				
総合設計及び演習第1(環境設備)[建築]	4前		3			7	6		3				
建築史第3[建築]	3後		2			2							
社会環境保全学[建築]	4前		2			2	1						
総合設計及び演習第2[建築]	4後		3			7	6		3				
卒業研究A	4前	5				24	19	1	12		0		
卒業研究B	4後	5				24	19	1	12		0		
小計[土木](32科目)	-	-	32	29	0	75	64	2	37	0	5		
小計[建築](33科目)	-	-	35	42	0	95	76	2	36	0	10		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	土木の統計学[土木]	2前	2				1						
	材料工学[土木]	2後	2				1						
	空間計画論[土木]	2後	2				1	0					
	開水路水理学[土木]	2後	2				0	1					
	構造材料実験Ⅰ[土木]	2後	1				3	3		2			
	土木の力学[土木]	3前	2				1						
	コンクリート構造第1[土木]	3前	2					1					
	土質・基礎工学[土木]	3前	2				1						
	沿岸海象力学[土木]	3前	2					1					
	技術英語1[土木]	3前	1									1	
	水理学実験[土木]	3前	1				0	2		2			
	地盤材料実験[土木]	3前	1				2	2		2		0	
	技術英語2[土木]	3後	1									1	
	構造材料実験Ⅱ[土木]	3後	1				3	3		2			
	情報処理演習[土木]	2前		1				1					
	数値解析学[土木]	2後		2				1					
	衛生工学[土木]	3前		2			1	1					
	計測技術及び実習[土木]	3前		2.5			3	2		2		2	
	応用構造力学[土木]	3前		2				1					
	交通論[土木]	3前		2			2	1					
	交通論[建築]	4前		2			2	1					
	都市環境システム工学[土木]	3前		2			2						
	極限強度学[土木]	3後		2			1	0					
	鋼構造工学[土木]	3後		2			1						
	コンクリート構造第2[土木]	3後		2				1					
	地盤工学[土木]	3後		2				1					
	水文・河川工学[土木]	3後		2			1						
	海岸・海洋工学[土木]	3後		2			1					1	
	社会資本・空間計画演習[土木]	3後		1			4	1		0			
	環境情報演習[土木]	3後		1			1			1			
	橋梁設計演習[土木]	4前		1			1			1		1	
	社会資本計画学[建築]	3前		2			2						
	物理環境工学[建築]	2後	2				1	1					
	コンクリート工学[建築]	2後	2				2	0					
	建築設計及び演習第1[建築]	3前	3				1	0		1		3	
	建築史第1[建築]	2後	2				1						
	建築計画第1[建築]	3前	2				0	1					
	人間環境工学[建築]	3前	2				1						
	環境システム工学[建築]	3前	2				1						
	耐震工学[建築]	3前		2			1						
	鉄筋コンクリート構造[建築]	3前	2				1						
	構造・材料実験法[建築]	3前	2				2	3		2			
	建築法規[建築]	3前	1					1				3	
	防災安全[建築]	3前	1				2	1					
	建築設計及び演習第2[建築]	3後		3			0	2		0		2	
建築史第2[建築]	3前	2				1							
建築計画第2[建築]	3後		2				0				1		
都市・国土計画[建築]	3後		2				1		1		0		
設備工学[建築]	3後		2			1	1						
環境システム設計及び演習[建築]	3後		2.5			1	2		0				
建築構造解析及び演習[建築]	3後		2.5			1	1						
構造設計工学[建築]	3後		2			1							
建築基礎構造[建築]	3後		2			1							
建築材料工学[建築]	3後		2			1	0				1		
建築生産システム[建築]	3後	2									1		
総合設計及び演習第1(構造)[建築]	4前		3				1				1		
総合設計及び演習第1(計画)[建築]	4前		3			2	2		2		2		
総合設計及び演習第1(環境設備)[建築]	4前		3			2	2		0				
建築史第3[建築]	3後		2			2							
社会環境保全学[建築]	4前		2			2	1						
総合設計及び演習第2[建築]	4後		3			2	2		2		2		
卒業研究A	4前	5				26	18	1	11		2		
卒業研究B	4後	5				26	18	1	11		2		
小計[土木](32科目)	-	-	32	29	0	82	60	2	34	0	10		
小計[建築](33科目)	-	-	35	42	0	86	59	3	29	0	20		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	国土のデザインとプロジェクト[土木]	2前		2		1		1			0
	国土のデザインとプロジェクト[建築]	4前		2		1				0	
	土木史[土木]	3前		2						1	
	土木史[建築]	4前		2						1	
	学外実習[土木]	3前		1		1					
	都市・国土計画[土木]	3後		2				1		0	
	社会環境保全学[土木]	4前		2		2	1				
	空間設計論[土木]	4前		2			1				
	土木地質学[土木]	4前		2		1				1	
	防災・減災技術[土木]	4前		2		1					
	水域環境学[土木]	4前		2		2	1			1	
	社会基盤施設の設計と維持管理[土木]	4前		2		1				4	
	情報処理及び演習[建築]	2後		1.5			2			1	
	造形演習第1[建築]	2前		1						2	
	造形演習第2[建築]	3前		1						1	
	土質力学及び演習[建築]	4後		4		1	1		2		
	計測技術及び実習[建築]	3前		2.5		3	2		3	1	
	衛生工学[建築]	3前		2		1					
	建築学特別講義[建築]	4後		2						1	
	工学概論第1	1前		1						1	
	工学概論第2	4前		1						1	
	工学概論第3	4後		2						3	
	工学概論第4	1前		3						1	
	工学倫理	1前		2						1	
	データ統計解析B	4前		2						1	
	テクニカルライティング	4前		2		0				1	
	産業と経済	4後		2						1	
特許及び知的財産	4後		1						1		
環境土木・建築学概論	4後		2		3	2			1		
経営工学	4後		2						1		
小計[土木](21科目)	-	0	39	0	12	6	1	0	0	20	
小計[建築](20科目)	-	0	38	0	9	7	0	5	0	20	
合計[土木](219科目)	-	77	348	0	116	89	4	50	0	27	
合計[建築](221科目)	-	78	365	0	132	102	2	45	0	34	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連専門科目	国土のデザインとプロジェクト[土木]	2前		2		1		1			3
	国土のデザインとプロジェクト[建築]	4前		2		1		1		3	
	土木史[土木]	3前		2						1	
	土木史[建築]	4前		2						1	
	学外実習[土木]	3前		1		1					
	都市・国土計画[土木]	3後		2				1	1	0	
	社会環境保全学[土木]	4前		2		2	1				
	空間設計論[土木]	4前		2			0			1	
	土木地質学[土木]	4前		2		1				1	
	防災・減災技術[土木]	4前		2		7	3	1			
	水域環境学[土木]	4前		2		2	1			1	
	社会基盤施設の設計と維持管理[土木]	4前		2		1				4	
	情報処理及び演習[建築]	2後		1.5			0			3	
	造形演習第1[建築]	2前		1						2	
	造形演習第2[建築]	3前		1						1	
	土質力学及び演習[建築]	4後		4		1	1		2		
	計測技術及び実習[建築]	3前		2.5		3	2		2	2	
	衛生工学[建築]	3前		2		1	1				
	建築学特別講義[建築]	4後		2						1	
	工学概論第1	1前		1						7	
	工学概論第2	4前		1						1	
	工学概論第3	4後		2						3	
	工学概論第4	1前		3						7	
	工学倫理	1前		2						1	
	データ統計解析B	4前		2						2	
	テクニカルライティング	4前		2		0				1	
	産業と経済	4後		2						1	
特許及び知的財産	4後		1						1		
環境土木・建築学概論	4後		2		3	1	1		1		
経営工学	4後		2						1		
小計[土木](21科目)	-	0	39	0	18	7	4	0	0	37	
小計[建築](20科目)	-	0	38	0	9	5	2	4	0	39	
合計[土木](219科目)	-	77	348	0	139	90	8	45	0	50	
合計[建築](221科目)	-	78	365	0	133	85	6	37	0	67	

卒業要件及び履修方法

(環境土木工学プログラム)

全学教育科目は45.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目37単位以上、専門科目46単位以上、関連専門科目5単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計133.5単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から19.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から37単位以上(「構造物と技術の発展」、「都市と文明の歴史」、「情報処理序説」、「形と力」、「人間活動と環境」、「数学1及び演習」、「社会資本計画学」、「構造解析の基礎及び演習」、「流れの力学及び演習」、「構造力学及び演習」、「土質力学及び演習」、「環境土木工学実習」の33単位を含むこと)、専門科目から46単位以上(「土木の統計学」、「材料工学」、「空間計画論」、「開水路水理学」、「構造材料実験Ⅰ」、「土木の力学」、「コンクリート構造第1」、「土質・基礎工学」、「沿岸海象力学」、「技術英語1」、「水理学実験」、「地盤材料実験」、「技術英語2」、「構造材料実験Ⅱ」、「卒業研究A、B」の32単位を含むこと)、関連専門科目から5単位以上

(建築学プログラム)

全学教育科目は45.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目33単位以上、専門科目47単位以上、関連専門科目8単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計133.5単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から19.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から33単位以上(「構造物と技術の発展」、「都市と文明の歴史」、「情報処理序説」、「形と力」、「人間活動と環境」、「数学1及び演習」、「図学」、「空間設計工学及び演習第1」、「建築構造力学及び演習」、「空間設計論」、「空間設計工学及び演習第2」、「応用構造力学及び演習」、「鉄骨構造」の31単位を含むこと)、専門科目から47単位以上(「物理環境工学」、「コンクリート工学」、「建築設計及び演習第1」、「建築史第1」、「建築計画第1」、「人間環境工学」、「環境システム工学」、「鉄筋コンクリート構造」、「構造・材料実験法」、「建築法規」、「防災安全」、「建築史第2」、「建築生産システム」、「卒業研究A、B」の35単位を含むこと)、関連専門科目から8単位以上

卒業要件及び履修方法

(環境土木工学プログラム)

全学教育科目は45.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目37単位以上、専門科目46単位以上、関連専門科目5単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計133.5単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から19.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から37単位以上(「構造物と技術の発展」、「都市と文明の歴史」、「情報処理序説」、「形と力」、「人間活動と環境」、「数学1及び演習」、「社会資本計画学」、「構造解析の基礎及び演習」、「流れの力学及び演習」、「構造力学及び演習」、「土質力学及び演習」、「環境土木工学実習」の33単位を含むこと)、専門科目から46単位以上(「土木の統計学」、「材料工学」、「空間計画論」、「開水路水理学」、「構造材料実験Ⅰ」、「土木の力学」、「コンクリート構造第1」、「土質・基礎工学」、「沿岸海象力学」、「技術英語1」、「水理学実験」、「地盤材料実験」、「技術英語2」、「構造材料実験Ⅱ」、「卒業研究A、B」の32単位を含むこと)、関連専門科目から5単位以上

(建築学プログラム)

全学教育科目は45.5単位以上、専門系科目は専門基礎科目33単位以上、専門科目47単位以上、関連専門科目8単位以上の合計88単位以上を修得すること。卒業要件は合計133.5単位以上を修得し、かつ卒業判定に合格しなければならない。

1. 全学教育科目

全学基礎科目から16単位以上(基礎セミナー2単位以上、言語文化から英語6単位以上、その他外国語6単位以上の計12単位以上、健康・スポーツ科学2単位以上を含む)、文系基礎科目及び文系教養科目から4単位以上、理系基礎科目から19.5単位以上(数学は「微分積分学Ⅰ、Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ、Ⅱ」、「複素関数論」から8単位以上、物理学は「力学Ⅰ、Ⅱ」、「電磁気学Ⅰ」、「物理学実験」の7.5単位、化学は「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」の4単位を含むこと)、理系教養科目から4単位以上、全学教養科目2単位以上

2. 専門系科目

専門基礎科目から33単位以上(「構造物と技術の発展」、「都市と文明の歴史」、「情報処理序説」、「形と力」、「人間活動と環境」、「数学1及び演習」、「図学」、「空間設計工学及び演習第1」、「建築構造力学及び演習」、「空間設計論」、「空間設計工学及び演習第2」、「応用構造力学及び演習」、「鉄骨構造」の31単位を含むこと)、専門科目から47単位以上(「物理環境工学」、「コンクリート工学」、「建築設計及び演習第1」、「建築史第1」、「建築計画第1」、「人間環境工学」、「環境システム工学」、「鉄筋コンクリート構造」、「構造・材料実験法」、「建築法規」、「防災安全」、「建築史第2」、「建築生産システム」、「卒業研究A、B」の35単位を含むこと)、関連専門科目から8単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・誤記の訂正により、「複素関数論」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・誤記の訂正により、「電磁気学Ⅱ」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「都市と文明の歴史」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「形と力」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数学2及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「構造解析の基礎及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「流れの力学及び演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「流れの力学及び演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「環境土木工学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「講師0」から「講師1」に、「助教9」から「助教8」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「空間計画論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「空間設計工学及び演習第1」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「空間設計工学及び演習第2」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「空間計画論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「開水路水理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「構造材料実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「水理学実験」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「地盤材料実験」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「構造材料実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「計測技術及び実習」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「極限強度学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「社会資本・空間計画学演習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、「准教授2」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「コンクリート工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築設計及び演習第1」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築計画第1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「構造・材料実験法」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築設計及び演習第2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授2」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築計画第2」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築材料工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授20」から「教授24」に、「准教授23」から「准教授19」に、「講師0」から「講師1」に、「助教17」から「助教12」に、兼任・兼担の教員を「4」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授20」から「教授24」に、「准教授23」から「准教授19」に、「講師0」から「講師1」に、「助教17」から「助教12」に、兼任・兼担の教員を「4」から「0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「国土のデザインとプロジェクト」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「国土のデザインとプロジェクト」の兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「都市・国土計画」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「情報処理及び演習」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「計測技術及び実習」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「テクニカルライティング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境土木・建築学概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。

## 【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」に、「准教授2」から「准教授6」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「力学I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物理学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「自然環境と人間」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「都市と環境」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造物と技術の発展」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「都市と文明の歴史」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼任の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「形と力」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「流れの力学及び演習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「流れの力学及び演習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「環境土木工学実習」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に、「助教8」から「助教7」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「空間設計工学及び演習第1」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、兼任・兼任の教員を「0」から「1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「空間設計論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼任の教員を「0」から「1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「空間設計工学及び演習第2」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、兼任・兼任の教員を「2」から「3」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「構造材料実験I」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「構造材料実験II」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「衛生工学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「計測技術及び実習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に、兼任・兼任の教員を「1」から「2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「極限強度学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築設計及び演習第1」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授0」に、兼任・兼任の教員を「1」から「3」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「構造・材料実験法」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「防災安全」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築計画第2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼任の教員を「0」から「1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「都市・国土計画」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼任の教員を「1」から「0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「環境システム設計及び演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築構造解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「総合設計及び演習第1（計画）」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授2」に、「准教授6」から「准教授2」に、「助教3」から「助教2」に、兼任・兼任の教員を「0」から「2」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「総合設計及び演習第1（環境設備）」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授2」に、「准教授6」から「准教授2」に、「助教3」から「助教0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「総合設計及び演習第2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授2」に、「准教授6」から「准教授2」に、「助教3」から「助教2」に、兼任・兼任の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授24」から「教授26」に、「准教授19」から「准教授18」に、「助教12」から「助教11」に、兼任・兼任の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授24」から「教授26」に、「准教授19」から「准教授18」に、「助教12」から「助教11」に、兼任・兼任の教員を「0」から「2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「国土のデザインとプロジェクト」の兼任・兼任の教員を「0」から「3」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「国土のデザインとプロジェクト」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼任の教員を「0」から「3」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「都市・国土計画」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「空間設計論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼任の教員を「0」から「1」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「防災・減災技術」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授7」に、「准教授0」から「准教授3」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「情報処理及び演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授0」に、兼任・兼任の教員を「1」から「3」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「計測技術及び実習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に、兼任・兼任の教員を「1」から「2」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「衛生工学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第1」の兼任・兼任の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「工学概論第4」の兼任・兼任の教員を「1」から「7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「データ統計解析B」の兼任・兼任の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境土木・建築学概論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「講師0」から「講師1」に変更。



【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーA」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に、「准教授6」から「准教授7」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「基礎セミナーB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造物と技術の発展」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「人間活動と環境」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「構造解析の基礎及び演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「環境土木工学実習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に、「准教授1」から「准教授0」に、「助教7」から「助教9」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「応用構造力学及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「構造材料実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に、「助教2」から「助教3」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「地盤材料実験」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「構造材料実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に、「助教2」から「助教3」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「情報処理演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「計測技術及び実習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「助教2」から「助教4」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「応用構造力学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「地盤工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「物理環境工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「人間環境工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「構造・材料実験法」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「建築設計及び演習第2」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「都市・国土計画」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「環境システム設計及び演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「総合設計及び演習第1（構造）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「1」から「4」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「総合設計及び演習第1（環境設備）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授26」から「教授25」に、「准教授18」から「准教授16」に、「講師1」から「講師0」に、「助教11」から「助教14」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授26」から「教授25」に、「准教授18」から「准教授16」に、「講師1」から「講師0」に、「助教11」から「助教14」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「国土のデザインとプロジェクト」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「国土のデザインとプロジェクト」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「都市・国土計画」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「土木地質学」の兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・（土木）担当教員の見直しにより、「防災・減災技術」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・（建築）担当教員の見直しにより、「計測技術及び実習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「助教2」から「助教4」に、兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境土木・建築学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「講師1」から「講師0」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
54 科目	214 科目	0 科目	268 科目	54 科目 [ 0 ]	214 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	268 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{268} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡  施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	590,883 -578,743 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	590,883 -578,743 ㎡	大学全体		
	(590,883 578,743 ㎡)	( 0 ㎡)	( 0 ㎡)	(590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成31年4月 室用途変更のため（元）		
	工学部 環境土木・建築学科			4 9 5 0 5 1 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	工学部 環境土木・ 建築学科	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	155 (201)	0 0	
計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] ( 2,739 [1,489])	910 [698] ( 282 [269])	198 (352)	155 (201)	0 0		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（歴史学） 博士（文学） 博士（歴史学）	—		平成12年度		
人文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	修士（歴史学） 修士（学術） 博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学）	0.73		昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度		
（博士後期課程）	3	16	—	48	修士（教育） 博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	修士（臨床心理学） 博士（心理学）	0.86				
法学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学）	0.38		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	17	—	51	修士（比較法学） 修士（現代法学） 博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42		平成16年度		
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学）	1.01		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	修士（経営管理 学） 博士（経済学）	0.51		平成12年度		
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	修士（学術） 博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	修士（学術） 博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科											
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		昭和28年度 平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科											
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12		昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
<u>看護学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻  (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		



大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<工学部 環境土木・建築学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	奥宮 正哉  <平成29年4月> 工学博士
		環境システム工学 設備工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 都市と環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	奥宮 正哉  <平成29年4月> 工学博士
		環境システム工学 設備工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 都市と環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	奥宮 正哉  <平成29年4月> 工学博士
		環境システム工学 設備工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(環境設備) 卒業研究A 卒業研究B 都市と環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	奥宮 正哉  <平成29年4月> 工学博士
		環境システム工学 設備工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(環境設備) 卒業研究A 卒業研究B 都市と環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 博和  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間計画論 空間計画論 卒業研究A 卒業研究B 学外実習
専	教授	舘石 和雄  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造解析の基礎及び演習 構造材料実験I 構造材料実験II 鋼構造工学 卒業研究A 卒業研究B 物理学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 博和  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間計画論 空間計画論 <b>社会資本・空間計画学演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 学外実習
専	教授	舘石 和雄  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造解析の基礎及び演習 構造材料実験I 構造材料実験II 鋼構造工学 卒業研究A 卒業研究B 物理学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 博和  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーB</b> <b>形と力</b> <b>構造材料実験I</b> <b>構造材料実験II</b> <b>極限強度学</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>力学I</b> 空間計画論 空間計画論 <b>社会資本・空間計画学演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 学外実習 <b>防災・減災技術</b>
専	教授	舘石 和雄  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造解析の基礎及び演習 構造材料実験I 構造材料実験II 鋼構造工学 卒業研究A 卒業研究B 物理学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 博和  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>基礎セミナーB</b> <b>形と力</b> <b>構造材料実験I</b> <b>構造材料実験II</b> <b>応用構造力学</b> <b>極限強度学</b> <b>卒業研究A</b> <b>卒業研究B</b> <b>力学I</b> 空間計画論 空間計画論 <b>社会資本・空間計画学演習</b> 卒業研究A 卒業研究B 学外実習 <b>防災・減災技術</b>
専	教授	舘石 和雄  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造解析の基礎及び演習 構造材料実験I 構造材料実験II 鋼構造工学 卒業研究A 卒業研究B 物理学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 一平  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造・材料実験法 建築材料工学 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	久野 覚  <平成29年4月> 工学博士
		人間活動と環境 計測技術及び実習 物理環境工学 人間環境工学 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 一平  <平成29年4月> 博士(工学)
		コンクリート工学 構造・材料実験法 建築材料工学 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B
専	教授	久野 覚  <平成29年4月> 工学博士
		人間活動と環境 計測技術及び実習 物理環境工学 人間環境工学 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 一平  <平成29年4月> 博士(工学)
		コンクリート工学 構造・材料実験法 建築材料工学  卒業研究A 卒業研究B
専	教授	久野 覚  <平成29年4月> 工学博士
		人間活動と環境 計測技術及び実習 物理環境工学 人間環境工学  総合設計及び演習第1(環境設備) 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 一平  <平成29年4月> 博士(工学)
		コンクリート工学 構造・材料実験法 建築材料工学  卒業研究A 卒業研究B
専	教授	久野 覚  <平成29年4月> 工学博士
		人間活動と環境 計測技術及び実習 物理環境工学 人間環境工学  総合設計及び演習第1(環境設備) 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸田 祐嗣  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 土木の力学 水文・河川工学 卒業研究A 卒業研究B  水域環境学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸田 祐嗣  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 土木の力学 水文・河川工学 卒業研究A 卒業研究B  水域環境学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸田 祐嗣  <平成29年4月> 博士(工学)
		土木の力学 水文・河川工学 卒業研究A 卒業研究B <b>防災・減災技術</b> 水域環境学
専	教授	<b>荒木 慶一</b>  <平成30年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>基礎セミナーB</b> <b>構造物と技術の発展</b> <b>形と力</b> <b>建築構造解析及び演習</b> 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸田 祐嗣  <平成29年4月> 博士(工学)
		土木の力学 水文・河川工学 卒業研究A 卒業研究B <b>防災・減災技術</b> 水域環境学
専	教授	<b>荒木 慶一</b>  <平成30年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>基礎セミナーB</b> <b>構造物と技術の発展</b> <b>形と力</b> <b>応用構造力学及び演習</b> <b>建築構造解析及び演習</b> <b>総合設計及び演習第1(構造)</b> 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 俊行  <平成29年4月> 博士(工学)
		情報処理序説 計測技術及び実習 交通論(土木)  交通論(建築) 社会資本・空間計画学演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習
専	教授	森 保宏  <平成29年4月> Ph. D. (工学) (米国)
		確率と統計 防災安全 構造設計工学 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 俊行  <平成29年4月> 博士(工学)
		情報処理序説 計測技術及び実習 交通論(土木)  交通論(建築) 社会資本・空間計画学演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習
専	教授	森 保宏  <平成29年4月> Ph. D. (工学) (米国)
		確率と統計 防災安全 構造設計工学 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 俊行  <平成29年4月> 博士(工学)
		情報処理序説 計測技術及び実習 交通論(土木)  交通論(建築) 社会資本・空間計画学演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習
専	教授	森 保宏  <平成29年4月> Ph. D. (工学) (米国)
		確率と統計 防災安全 構造設計工学   卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 俊行  <平成29年4月> 博士(工学)
		情報処理序説 計測技術及び実習 交通論(土木)  交通論(建築) 社会資本・空間計画学演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習
専	教授	森 保宏  <平成29年4月> Ph. D. (工学) (米国)
		確率と統計 防災安全 構造設計工学   卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		水谷 法美  <平成29年4月> 工学博士
専	教授	構造物と技術の発展 数学1及び演習 流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 海岸・海洋工学 卒業研究A 卒業研究B 水域環境学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		森川 高行  <平成29年4月> 工学修士
専	教授	都市と文明の歴史 社会資本計画学 社会資本・空間計画 学演習 社会資本計画学 卒業研究A 卒業研究B 自然環境と人間社会
		水谷 法美  <平成29年4月> 工学博士
専	教授	構造物と技術の発展 数学1及び演習 流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 海岸・海洋工学 卒業研究A 卒業研究B 水域環境学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		森川 高行  <平成29年4月> 工学修士
専	教授	都市と文明の歴史 社会資本計画学 社会資本・空間計画 学演習 社会資本計画学 卒業研究A 卒業研究B 自然環境と人間社会
		水谷 法美  <平成29年4月> 工学博士
専	教授	構造物と技術の発展 数学1及び演習 流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 海岸・海洋工学 卒業研究A 卒業研究B 水域環境学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		森川 高行  <平成29年4月> 工学修士
専	教授	都市と文明の歴史 社会資本計画学 社会資本・空間計画 学演習 社会資本計画学 卒業研究A 卒業研究B 自然環境と人間社会
		水谷 法美  <平成29年4月> 工学博士
専	教授	構造物と技術の発展 数学1及び演習 流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 海岸・海洋工学 卒業研究A 卒業研究B 水域環境学



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西澤 泰彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		図学 図学 空間設計工学及び演習第1 建築史第1 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 建築史第3 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 環境土木・建築学概論
専	教授	谷川 寛樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		人間活動と環境 都市環境システム工学 環境情報演習 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西澤 泰彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		図学 図学 空間設計工学及び演習第1 建築史第1 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 建築史第3 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 環境土木・建築学概論
専	教授	谷川 寛樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		人間活動と環境 都市環境システム工学 環境情報演習 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西澤 泰彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>都市と環境</b> 図学 図学 空間設計工学及び演習第1 建築史第1 総合設計及び演習第1(計画) 建築史第3 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 環境土木・建築学概論
専	教授	谷川 寛樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>自然環境と人間社会</b> 人間活動と環境 都市環境システム工学 環境情報演習 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学 <b>防災・減災技術</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西澤 泰彦  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>都市と環境</b> 図学 図学 空間設計工学及び演習第1 建築史第1 総合設計及び演習第1(計画) 建築史第3 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 環境土木・建築学概論
専	教授	谷川 寛樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>自然環境と人間社会</b> 人間活動と環境 都市環境システム工学 環境情報演習 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学 <b>防災・減災技術</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中村 英樹  <平成29年4月> 工学博士
		交通論(土木) 交通論(建築) 社会資本・空間計画 学演習 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	教授	中村 光  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造物と技術の発展 材料工学 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 橋梁設計演習 卒業研究A 卒業研究B 社会基盤施設の設計 と維持管理 力学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中村 英樹  <平成29年4月> 工学博士
		交通論(土木) 交通論(建築) 社会資本・空間計画 学演習 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	教授	中村 光  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造物と技術の発展 材料工学 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 橋梁設計演習 卒業研究A 卒業研究B 社会基盤施設の設計 と維持管理 力学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中村 英樹  <平成29年4月> 工学博士
		交通論(土木) 交通論(建築) 社会資本・空間計画 学演習 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	教授	中村 光  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造物と技術の発展 材料工学 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 橋梁設計演習 卒業研究A 卒業研究B <b>防災・減災技術</b> 社会基盤施設の設計 と維持管理 力学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中村 英樹  <平成29年4月> 工学博士
		交通論(土木) 交通論(建築) 社会資本・空間計画 学演習 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専	教授	中村 光  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造物と技術の発展 材料工学 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 橋梁設計演習 卒業研究A 卒業研究B <b>防災・減災技術</b> 社会基盤施設の設計 と維持管理 力学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中野 正樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造物と技術の発展 土質・基礎工学 地盤材料実験  卒業研究A 卒業研究B 土木地質学  微分積分学I
専	教授	勅使川原 正臣  <平成29年4月> 工学博士
		構造物と技術の発展 コンクリート工学 鉄筋コンクリート構造 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中野 正樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造物と技術の発展 土質・基礎工学 地盤材料実験  卒業研究A 卒業研究B 土木地質学  微分積分学I
専	教授	勅使川原 正臣  <平成29年4月> 工学博士
		構造物と技術の発展 コンクリート工学 鉄筋コンクリート構造 <b>構造・材料実験法</b> 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中野 正樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造物と技術の発展 土質・基礎工学 地盤材料実験  卒業研究A 卒業研究B 土木地質学 <b>防災・減災技術</b> 微分積分学I
専	教授	勅使川原 正臣  <平成29年4月> 工学博士
		構造物と技術の発展 コンクリート工学 鉄筋コンクリート構造 <b>構造・材料実験法</b> 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中野 正樹  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造物と技術の発展 土質・基礎工学 地盤材料実験 <b>地盤工学</b> 卒業研究A 卒業研究B 土木地質学 <b>防災・減災技術</b> 微分積分学I
専	教授	勅使川原 正臣  <平成29年4月> 工学博士
		構造物と技術の発展 コンクリート工学 鉄筋コンクリート構造 <b>構造・材料実験法</b> 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	富田 孝史  <平成29年4月> 博士(工学)  卒業研究A 卒業研究B 国土のデザインとプロジェクト 国土のデザインとプロジェクト

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		飛田 潤  <平成29年4月> 工学博士 建築構造力学及び演習 計測技術及び実習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習 環境土木・建築学概論
専	教授	富田 孝史  <平成29年4月> 博士(工学)  卒業研究A 卒業研究B 国土のデザインとプロジェクト 国土のデザインとプロジェクト
		福和 伸夫  <平成29年4月> 工学博士 構造物と技術の発展 耐震工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		飛田 潤  <平成29年4月> 工学博士 建築構造力学及び演習 計測技術及び実習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習 環境土木・建築学概論
専	教授	富田 孝史  <平成29年4月> 博士(工学)  物理学実験 卒業研究A 卒業研究B 国土のデザインとプロジェクト 国土のデザインとプロジェクト 環境土木・建築学概論
		福和 伸夫  <平成29年4月> 工学博士 構造物と技術の発展 耐震工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		飛田 潤  <平成29年4月> 工学博士 建築構造力学及び演習 計測技術及び実習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習 環境土木・建築学概論
専	教授	富田 孝史  <平成29年4月> 博士(工学)  物理学実験 卒業研究A 卒業研究B 国土のデザインとプロジェクト 国土のデザインとプロジェクト 環境土木・建築学概論
		福和 伸夫  <平成29年4月> 工学博士 構造物と技術の発展 耐震工学 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 新太  <平成29年4月> 工学博士
		人間活動と環境 衛生工学 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学  衛生工学
専	教授	片木 篤  <平成29年4月> 工学博士
		建築設計及び演習第1 建築史第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 建築史第3 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 新太  <平成29年4月> 工学博士
		人間活動と環境 衛生工学 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学  衛生工学
専	教授	片木 篤  <平成29年4月> 工学博士
		建築設計及び演習第1 建築史第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 建築史第3 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 新太  <平成29年4月> 工学博士
		基礎セミナーA 人間活動と環境 衛生工学 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学  防災・減災技術 衛生工学
専	教授	片木 篤  <平成29年4月> 工学博士
		建築設計及び演習第1 建築史第2 総合設計及び演習第1(計画)  建築史第3 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 新太  <平成29年4月> 工学博士
		基礎セミナーA 人間活動と環境 衛生工学 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学  防災・減災技術 衛生工学
専	教授	片木 篤  <平成29年4月> 工学博士
		建築設計及び演習第1 建築史第2 総合設計及び演習第1(計画)  建築史第3 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野田 利弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 土質力学及び演習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 防災・減災技術 土質力学及び演習 環境土木・建築学概論
専	教授	林 希一郎  <平成29年4月> 博士(国際協力学)
		社会資本計画学 都市環境システム工学 社会資本計画学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
		護 雅史  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B 建築基礎構造

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野田 利弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 土質力学及び演習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 防災・減災技術 土質力学及び演習 環境土木・建築学概論
専	教授	林 希一郎  <平成29年4月> 博士(国際協力学)
		社会資本計画学 都市環境システム工学 社会資本計画学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	教授	護 雅史  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B 建築基礎構造

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野田 利弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 土質力学及び演習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 防災・減災技術 土質力学及び演習
専	教授	林 希一郎  <平成29年4月> 博士(国際協力学)
		社会資本計画学 都市環境システム工学 社会資本計画学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	教授	護 雅史  <平成29年4月> 博士(工学)
		防災安全 卒業研究A 卒業研究B 建築基礎構造

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野田 利弘  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 土質力学及び演習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 防災・減災技術 土質力学及び演習
専	教授	林 希一郎  <平成29年4月> 博士(国際協力学)
		社会資本計画学 都市環境システム工学 社会資本計画学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	教授	護 雅史  <平成29年4月> 博士(工学)
		防災安全 卒業研究A 卒業研究B 建築基礎構造

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	井料 美帆 <平成29年4月> 博士(工学) 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専任	准教授	宮脇 勝 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2 都市・国土計画 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田代 喬 <平成29年5月> 博士(工学) 流れの力学及び演習 流れの力学及び演習
専任	准教授	井料 美帆 <平成29年4月> 博士(工学) 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専任	准教授	宮脇 勝 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2 建築設計及び演習第2 都市・国土計画 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	田代 喬 <平成29年5月> 博士(工学) 流れの力学及び演習 流れの力学及び演習
専任	准教授	井料 美帆 <平成29年4月> 博士(工学) 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専任	准教授	宮脇 勝 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2 建築設計及び演習第2 都市・国土計画 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA 都市・国土計画(土木)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	田代 喬 <平成29年5月> 博士(工学) 流れの力学及び演習 流れの力学及び演習
専任	准教授	井料 美帆 <平成29年4月> 博士(工学) 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA
専任	准教授	宮脇 勝 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2 建築設計及び演習第2 都市・国土計画 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーA 都市・国土計画(土木)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	古川 忠稔  <平成29年4月> 博士(工学)
		応用構造力学及び演習 構造・材料実験法 総合設計及び演習第1(構造) 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	三輪 富生  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 土木の統計学 交通論(土木) 交通論(建築) 社会資本・空間計画学演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	古川 忠稔  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>形と力</b> 応用構造力学及び演習 構造・材料実験法 総合設計及び演習第1(構造) 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	三輪 富生  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 土木の統計学 交通論(土木) 交通論(建築) 社会資本・空間計画学演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	古川 忠稔  <平成29年4月> 博士(工学)
		応用構造力学及び演習 構造・材料実験法 総合設計及び演習第1(構造) 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	三輪 富生  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 土木の統計学 交通論(土木) 交通論(建築) 社会資本・空間計画学演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 富生  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 土木の統計学 交通論(土木) 交通論(建築) 社会資本・空間計画学演習 卒業研究A 卒業研究B



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 正太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料実験 数値解析学 地盤工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	山本 佳士  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造材料実験Ⅰ コンクリート構造第1 構造材料実験Ⅱ コンクリート構造第2 卒業研究A 卒業研究B 力学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 正太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料実験 数値解析学 地盤工学 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	山本 佳士  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造材料実験Ⅰ コンクリート構造第1 構造材料実験Ⅱ コンクリート構造第2 卒業研究A 卒業研究B 力学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 正太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料実験 数値解析学 地盤工学 卒業研究A 卒業研究B <b>防災・減災技術</b>
専	准教授	山本 佳士  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造材料実験Ⅰ コンクリート構造第1 構造材料実験Ⅱ コンクリート構造第2 卒業研究A 卒業研究B 力学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山本 佳士  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造材料実験Ⅰ コンクリート構造第1 構造材料実験Ⅱ コンクリート構造第2 卒業研究A 卒業研究B 力学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小松 尚  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第1 建築設計及び演習第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	中井 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験  卒業研究A 卒業研究B  土質力学及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小松 尚  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第1 <b>建築計画第1</b> 建築設計及び演習第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B <b>環境土木・建築学概論</b>
専	准教授	中井 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験  卒業研究A 卒業研究B  土質力学及び演習 <b>環境土木・建築学概論</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小松 尚  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>都市と環境</b> 空間設計工学及び演習第1 <b>建築計画第1</b> 建築設計及び演習第2 総合設計及び演習第1(計画)  総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B <b>環境土木・建築学概論</b>
専	准教授	中井 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験  卒業研究A 卒業研究B  <b>防災・減災技術</b> 土質力学及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小松 尚  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>都市と環境</b> 空間設計工学及び演習第1 <b>建築計画第1</b> 建築設計及び演習第2 総合設計及び演習第1(計画)  総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B <b>環境土木・建築学概論</b>
専	准教授	中井 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		解析力学及び演習 土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験  卒業研究A 卒業研究B  <b>数値解析学</b> <b>防災・減災技術</b> 土質力学及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		中村 晋一郎
		<平成29年4月> 博士(工学)
専	講師	環境土木工学実習 卒業研究A 卒業研究B 国土のデザインとプロジェクト 国土のデザインとプロジェクト 都市・国土計画

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		中村 晋一郎
		<平成29年4月> 博士(工学)
専	講師	基礎セミナーA 環境土木工学実習 都市・国土計画(建築) 卒業研究A 卒業研究B 国土のデザインとプロジェクト 国土のデザインとプロジェクト 都市・国土計画 防災・減災技術 環境土木・建築学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		中村 晋一郎
		<平成29年4月> 博士(工学)
専	准教授	基礎セミナーA 環境土木工学実習 都市・国土計画(建築) 卒業研究A 卒業研究B 国土のデザインとプロジェクト 国土のデザインとプロジェクト 都市・国土計画 防災・減災技術 環境土木・建築学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 友昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 環境土木工学実習 沿岸海象力学 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B  水域環境学
専	准教授	長江 拓也  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造・材料実験法 建築構造解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 力学I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 友昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 環境土木工学実習 沿岸海象力学 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B  水域環境学
専	准教授	長江 拓也  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造・材料実験法 建築構造解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 力学I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 友昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 環境土木工学実習 沿岸海象力学 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B <b>防災・減災技術</b> 水域環境学
専	准教授	長江 拓也  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 構造・材料実験法 建築構造解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 力学I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 友昭  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学1及び演習 環境土木工学実習 沿岸海象力学 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B <b>防災・減災技術</b> 水域環境学
専	准教授	長江 拓也  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>基礎セミナーA</b> 構造・材料実験法 建築構造解析及び演習 卒業研究A 卒業研究B 力学I

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	椿 涼太  <平成29年4月> 博士(工学)
		開水路水理学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	白川 博章  <平成29年4月> 博士(学術)
		卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	判治 剛  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学及び演習 構造材料実験I 構造材料実験II 情報処理演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	椿 涼太  <平成29年4月> 博士(工学)
		開水路水理学 <b>水理学実験</b> 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	白川 博章  <平成29年4月> 博士(学術)
		卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	判治 剛  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学及び演習 構造材料実験I 構造材料実験II 情報処理演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	椿 涼太  <平成29年4月> 博士(工学)
		開水路水理学 <b>水理学実験</b> 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	白川 博章  <平成29年4月> 博士(学術)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>自然環境と人間社会</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	判治 剛  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学及び演習 構造材料実験I 構造材料実験II 情報処理演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	椿 涼太  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>環境土木工学実習</b> 開水路水理学 <b>水理学実験</b> 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB
専	准教授	白川 博章  <平成29年4月> 博士(学術)
		<b>基礎セミナーA</b> <b>自然環境と人間社会</b> 卒業研究A 卒業研究B
専	准教授	判治 剛  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>力学II</b> 構造力学及び演習 構造材料実験I 構造材料実験II 情報処理演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯塚 悟  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 物理環境工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯塚 悟  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 物理環境工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯塚 悟  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 計測技術及び実習 物理環境工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(環境設備) 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯塚 悟  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 人間活動と環境 計測技術及び実習 物理環境工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(環境設備) 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	尾崎 文宣  <平成29年4月> 博士(工学)
		鉄骨構造 構造・材料実験法 建築法規 防災安全 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 社会環境保全学 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学 力学I
専	准教授	平山 修久  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	尾崎 文宣  <平成29年4月> 博士(工学)
		鉄骨構造 構造・材料実験法 建築法規 防災安全 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 社会環境保全学 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学 力学I
専	准教授	平山 修久  <平成29年4月> 博士(工学)
		卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	尾崎 文宣  <平成29年4月> 博士(工学)
		鉄骨構造 構造・材料実験法 建築法規 防災安全 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学 力学I
専	准教授	平山 修久  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 衛生工学(土木) 卒業研究A 卒業研究B 衛生工学(建築)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	尾崎 文宣  <平成29年4月> 博士(工学)
		鉄骨構造 構造・材料実験法 建築法規 防災安全 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 社会環境保全学 卒業研究A 卒業研究B 社会環境保全学 力学I
専	准教授	平山 修久  <平成29年4月> 博士(工学)
		基礎セミナーA 情報処理演習 衛生工学(土木) 卒業研究A 卒業研究B 衛生工学(建築)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	北根 安雄  <平成29年4月> Ph.D. (工学) (米 国)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 応用構造力学 卒業研究A 卒業研究B 力学Ⅱ
専	准教授	廣畑 幹人  <平成29年4月> 博士 (工学)
		形と力 環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 極限強度学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	北根 安雄  <平成29年4月> Ph.D. (工学) (米 国)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 応用構造力学 卒業研究A 卒業研究B 力学Ⅱ
専	准教授	廣畑 幹人  <平成29年4月> 博士 (工学)
		形と力 環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 極限強度学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	北根 安雄  <平成29年4月> Ph.D. (工学) (米 国)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 応用構造力学 卒業研究A 卒業研究B 力学Ⅱ
専	准教授	廣畑 幹人  <平成29年4月> 博士 (工学)
		形と力 環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 極限強度学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	北根 安雄  <平成29年4月> Ph.D. (工学) (米 国)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 応用構造力学 卒業研究A 卒業研究B 力学Ⅱ
専	准教授	廣畑 幹人  <平成29年4月> 博士 (工学)
		形と力 環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 極限強度学 卒業研究A 卒業研究B 基礎セミナーB



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	齋藤 輝幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 設備工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	齋藤 輝幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 設備工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	齋藤 輝幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>都市と環境</b> 計測技術及び実習 設備工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(環境設備) 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	齋藤 輝幸  <平成29年4月> 博士(工学)
		<b>都市と環境</b> <b>人間活動と環境</b> 計測技術及び実習 <b>人間環境工学</b> 設備工学 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(環境設備) 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	栗田 貴宣  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	奥岡 桂次郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 計測技術及び実習 環境情報演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	栗田 貴宣  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	奥岡 桂次郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 計測技術及び実習 環境情報演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	奥岡 桂次郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 計測技術及び実習 環境情報演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習
兼任	助教	柿元 祐史  <平成30年4月> 修士(工学)
		計測技術及び実習(土木) 計測技術及び実習(建築)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	輪銅 真貴子  <平成31年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習(土木) 環境システム設計及び演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習(建築)
専	助教	奥岡 桂次郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 計測技術及び実習 環境情報演習 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習
専	助教	柿元 祐史  <平成30年4月> 修士(工学)
		計測技術及び実習(土木) 計測技術及び実習(建築)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉川 高広  <平成29年4月> 博士(工学) 土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 土質力学及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉川 高広  <平成29年4月> 博士(工学) 土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 土質力学及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉川 高広  <平成29年4月> 博士(工学) 土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 土質力学及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		笠井 拓哉  <平成30年8月> 博士(生命科学) 環境土木工学実習 卒業研究A 卒業研究B
		干場 大也  <平成31年4月> 博士(工学) 環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	吉川 高広  <平成29年4月> 博士(工学) 土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 土質力学及び演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	玄 英麗  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習
専	助教	三浦 泰人  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 橋梁設計演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	玄 英麗  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 環境システム設計及び演習 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習
専	助教	三浦 泰人  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 橋梁設計演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	三浦 泰人  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 橋梁設計演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	三浦 泰人  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 橋梁設計演習 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	酒井 崇之  <平成29年4月> 博士(工学)
		土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 土質力学及び演習
専	助教	清水 優  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	酒井 崇之  <平成29年4月> 博士(工学)
		土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 土質力学及び演習
専	助教	清水 優  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	酒井 崇之  <平成29年4月> 博士(工学)
		土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 土質力学及び演習
専	助教	清水 優  <平成29年4月> 博士(工学)
		環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	浅井 竜也  <平成30年4月> 博士(工学)
		構造・材料実験法 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	酒井 崇之  <平成29年4月> 博士(工学)
		土質力学及び演習 環境土木工学実習 地盤材料実験 卒業研究A 卒業研究B 土質力学及び演習
専	助教	清水 優  <平成29年4月> 博士(工学)
		構造解析の基礎及び 演習 環境土木工学実習 構造材料実験Ⅰ 構造材料実験Ⅱ 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	浅井 竜也  <平成30年4月> 博士(工学)
		構造・材料実験法 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	尾花 まき子  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 環境土木工学実習 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	平井 敬  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 構造・材料実験法 総合設計及び演習第 1(計画) 総合設計及び演習第 1(環境設備) 総合設計及び演習第 2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	尾花 まき子  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 環境土木工学実習 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	平井 敬  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 構造・材料実験法 総合設計及び演習第 1(計画) 総合設計及び演習第 1(環境設備) 総合設計及び演習第 2 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	尾花 まき子  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 環境土木工学実習 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	平井 敬  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 構造・材料実験法 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	尾花 まき子  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 環境土木工学実習 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	平井 敬  <平成29年4月> 博士(工学)
		計測技術及び実習 構造・材料実験法 卒業研究A 卒業研究B 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀田 典裕  <平成29年4月> 博士(工学)
		建築設計及び演習第1 卒業研究A  卒業研究B
専	助教	趙 容桓  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 環境土木工学実習 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	飯塚 千佳  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀田 典裕  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第1 建築設計及び演習第1  卒業研究A 卒業研究B
専	助教	趙 容桓  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 環境土木工学実習 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	高取 千佳  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第1(環境設備) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀田 典裕  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第1 建築設計及び演習第1 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	趙 容桓  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 環境土木工学実習 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	高取 千佳  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀田 典裕  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第1 建築設計及び演習第1 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	趙 容桓  <平成29年4月> 博士(工学)
		流れの力学及び演習 流れの力学及び演習 環境土木工学実習 水理学実験 卒業研究A 卒業研究B
専	助教	高取 千佳  <平成29年4月> 博士(工学)
		空間設計工学及び演習第2 建築設計及び演習第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鬼頭 雅弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鬼頭 雅弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鬼頭 雅弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習
兼任	准教授	岡本 正吾 <平成30年4月> 博士(情報科学)
		データ統計解析B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鬼頭 雅弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		特許及び知的財産
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		データ統計解析B
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習
兼任	准教授	岡本 正吾 <平成30年4月> 博士(情報科学)
		データ統計解析B



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	恒川 和久  <平成29年4月> 工学学士
		都市と文明の歴史 空間設計工学及び演習第2 建築設計及び演習第1 建築計画第2  情報処理及び演習
専	准教授	太幡 英亮  <平成29年4月> 博士<工学>
		空間設計工学及び演習第1 空間設計論 建築設計及び演習第1  空間設計論 情報処理及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	恒川 和久  <平成29年4月> 工学学士
		都市と文明の歴史 空間設計工学及び演習第2 建築設計及び演習第1 建築計画第2  情報処理及び演習
専	准教授	太幡 英亮  <平成29年4月> 博士<工学>
		空間設計工学及び演習第1 空間設計論 建築設計及び演習第1  空間設計論 情報処理及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	恒川 和久  <平成29年4月> 工学学士
		都市と文明の歴史 空間設計工学及び演習第2 建築設計及び演習第1 建築計画第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 情報処理及び演習
兼任	准教授	太幡 英亮  <平成29年4月> 博士<工学>
		空間設計工学及び演習第1 空間設計論 建築設計及び演習第1 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 空間設計論 情報処理及び演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	恒川 和久  <平成29年4月> 工学学士
		都市と文明の歴史 空間設計工学及び演習第2 建築設計及び演習第1 建築計画第2 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 情報処理及び演習
兼任	准教授	太幡 英亮  <平成29年4月> 博士<工学>
		空間設計工学及び演習第1 空間設計論 建築設計及び演習第1 総合設計及び演習第1(計画) 総合設計及び演習第2 卒業研究A 卒業研究B 空間設計論 情報処理及び演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼担	講師	西山 聖久  <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼担	講師	曾 剛  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼任	講師	近藤 清久  <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤施設の設計と維持管理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼担	講師	西山 聖久  <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼担	講師	曾 剛  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼担	助教	小林 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習
兼任	講師	近藤 清久  <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤施設の設計と維持管理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼担	講師	西山 聖久  <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼担	講師	曾 剛  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼担	助教	小林 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習
兼任	講師	近藤 清久  <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤施設の設計と維持管理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	LELEITO EMANUEL LANGAT  <平成29年4月> 博士(工学)
		技術英語1 技術英語2 工学概論第3
兼担	講師	西山 聖久  <平成29年4月> PhD(工学)(英国)
		工学概論第3
兼担	講師	曾 剛  <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第3
兼担	助教	小林 健太郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		数学2及び演習
兼任	講師	関戸 淳二  <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	近藤 清久  <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤施設の設計と維持管理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古川 恵太  <平成29年4月> 博士(工学)
		水域環境学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古川 恵太  <平成29年4月> 博士(工学)
		水域環境学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古川 恵太  <平成29年4月> 博士(工学)
		水域環境学
兼任	講師	黒田 敏秋  <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	平井 節生  <平成30年4月> 博士(工学)
		社会基盤施設の設計 と維持管理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古川 恵太  <平成29年4月> 博士(工学)
		水域環境学
兼任	講師	古川 智康  <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	山中 浩二  <平成31年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	春日 昭夫  <平成31年4月> 博士(工学)
		国土のデザインとプ ロジェクト(土木) 国土のデザインとプ ロジェクト(建築)
兼任	講師	平井 節生  <平成30年4月> 博士(工学)
		社会基盤施設の設計 と維持管理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 英也 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計 と維持管理
兼任	講師	川除 達也 <平成29年4月> 博士(工学) 橋梁設計演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 英也 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計 と維持管理
兼任	講師	川除 達也 <平成29年4月> 博士(工学) 橋梁設計演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	又木 慎治 <平成30年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計 と維持管理
兼任	講師	鈴木 英也 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計 と維持管理
兼任	講師	川除 達也 <平成29年4月> 博士(工学) 橋梁設計演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平澤 興 <平成31年4月> 博士(工学) 国土のデザインとプ ロジェクト(土木) 国土のデザインとプ ロジェクト(建築)
兼任	講師	又木 慎治 <平成30年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計 と維持管理
兼任	講師	鈴木 英也 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計 と維持管理
兼任	講師	高木 愛子 <平成31年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	武内 淳 <平成31年4月> 博士(工学) 環境土木・建築学概 論
兼任	講師	阿知波 敏弘 <平成31年4月> 博士(工学) 総合設計及び演習第 1(構造)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池田 哲郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池田 哲郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池田 哲郎  <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学
兼任	講師	伊藤 誠  <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	奥村 由美  <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ  <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	久保 久志  <平成30年4月> 博士(工学)
		建築設計及び演習第1
兼任	講師	宮崎 秀俊  <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥村 由美  <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	梶川 しのぶ  <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	久保 久志  <平成30年4月> 博士(工学)
		建築設計及び演習第1
兼任	講師	宮崎 秀俊  <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒田 茂 <平成29年4月> 博士(工学) 建築法規
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	柴田 義冬 <平成29年4月> 博士(工学) 計測技術及び実習 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒田 茂 <平成29年4月> 博士(工学) 建築法規
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	柴田 義冬 <平成29年4月> 博士(工学) 計測技術及び実習 計測技術及び実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	黒田 孝次 <平成30年4月> 博士(工学) 国土のデザインとプロジェクト(土木) 国土のデザインとプロジェクト(建築)
兼任	講師	黒田 茂 <平成29年4月> 博士(工学) 建築法規
兼任	講師	山口 佳一 <平成29年4月> 博士(工学) 工学概論第1
兼任	講師	柴田 義冬 <平成29年4月> 博士(工学) 計測技術及び実習 計測技術及び実習
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古賀 恵美 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第4
兼任	講師	柴田 義冬 <平成29年4月> 博士(工学) 計測技術及び実習 計測技術及び実習
兼任	講師	秋澤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) 工学概論第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	出村 嘉史 <平成29年4月> 博士(工学)
		土木史
兼任	講師	諸江 一紀 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報処理及び演習 造形演習第2
兼任	講師	水津 功 <平成29年4月> 博士(工学)
		造形演習第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	出村 嘉史 <平成29年4月> 博士(工学)
		土木史
兼任	講師	諸江 一紀 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報処理及び演習 造形演習第2
兼任	講師	水津 功 <平成29年4月> 博士(工学)
		造形演習第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	出村 嘉史 <平成29年4月> 博士(工学)
		土木史
兼任	講師	諸江 一紀 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報処理及び演習 造形演習第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	水津 功 <平成29年4月> 博士(工学)
		造形演習第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	諸江 一紀 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報処理及び演習 造形演習第2
兼任	講師	小河 真由美 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	小室 輝代 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	松田 和彦 <平成31年4月> 博士(工学)
		建築法規
兼任	講師	森 達博 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	水津 功 <平成29年4月> 博士(工学)
		造形演習第1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水内 智英 <平成29年4月> 博士(工学)
		造形演習第1
兼任	講師	田村 尚土 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合設計及び演習第1(構造)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水内 智英 <平成29年4月> 博士(工学)
		造形演習第1
兼任	講師	田村 尚土 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合設計及び演習第1(構造)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水内 智英 <平成29年4月> 博士(工学)
		造形演習第1
兼任	講師	大田 弘 <平成30年4月> 博士(工学)
		国土のデザインとプロジェクト(土木) 国土のデザインとプロジェクト(建築)
兼任	講師	瀬上 唯夫 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	田村 尚土 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合設計及び演習第1(構造)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水内 智英 <平成29年4月> 博士(工学)
		造形演習第1
兼任	講師	杉山 映 <平成31年4月> 博士(工学)
		総合設計及び演習第1(構造)
兼任	講師	中村 武志 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第1
兼任	講師	田中 秀夫 <平成31年4月> 博士(工学)
		総合設計及び演習第1(環境設備)
兼任	講師	田村 尚土 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合設計及び演習第1(構造)



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学倫理
兼任	講師	福田 徹也 <平成29年4月> 博士(工学)
		土质地質学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学倫理
兼任	講師	福田 徹也 <平成29年4月> 博士(工学)
		土质地質学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	田中 不二男 <平成30年4月> 博士(工学)
		建築法規
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学倫理
兼任	講師	福田 徹也 <平成29年4月> 博士(工学)
		土质地質学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 典子 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	田中 不二男 <平成30年4月> 博士(工学)
		建築法規
兼任	講師	二宮 利治 <平成31年4月> 博士(工学)
		総合設計及び演習第1(構造)
兼任	講師	日下部 玲子 <平成30年4月> 博士(工学)
		工学概論第4
兼任	講師	比屋根 均 <平成29年4月> 博士(工学)
		工学倫理
兼任	講師	福田 徹也 <平成29年4月> 博士(工学)
		土质地質学
兼任	講師	牧野 章文 <平成31年4月> 博士(工学)
		総合設計及び演習第1(構造)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Dykes David William <平成29年4月> 博士(工学) 技術英語 1 技術英語 2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Dykes David William <平成29年4月> 博士(工学) 技術英語 1 技術英語 2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 裕行 <平成30年4月> 博士(工学) 建築法規
兼任	講師	Dykes David William <平成29年4月> 博士(工学) 技術英語 1 技術英語 2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 裕行 <平成30年4月> 博士(工学) 建築法規
兼任	講師	栗原 健太郎 <平成31年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演 習第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	久野 紀光 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2
		古田 和真 <平成29年4月> 博士(工学) 建築材料工学
兼任	講師	降旗 範行 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第2
		大嶽 清和 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	久野 紀光 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2
		古田 和真 <平成29年4月> 博士(工学) 建築材料工学
兼任	講師	降旗 範行 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第2
		大嶽 清和 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	久野 紀光 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2
		古田 和真 <平成29年4月> 博士(工学) 建築材料工学
兼任	講師	古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学) 経営工学
		降旗 範行 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第2
兼任	講師	崎谷 浩一郎 <平成30年4月> 博士(工学) 国土のデザインとプロジェクト(土木) 国土のデザインとプロジェクト(建築)
		大嶽 清和 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古田 和真 <平成29年4月> 博士(工学) 建築材料工学
		古澤 和行 <平成30年4月> 博士(工学) 経営工学
兼任	講師	降旗 範行 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第2
		崎谷 浩一郎 <平成30年4月> 博士(工学) 国土のデザインとプロジェクト(土木) 国土のデザインとプロジェクト(建築)
兼任	講師	大嶽 清和 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 司 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第1
兼任	講師	山崎 泰司 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計 と維持管理
兼任	講師	山本 寛 <平成29年4月> 博士(工学) 建築法規

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 司 <平成29年4月> 博士(工学) 建築設計及び演習第1
兼任	講師	山崎 泰司 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計 と維持管理
兼任	講師	山本 寛 <平成29年4月> 博士(工学) 建築法規

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平野 章博 <平成30年10月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2
兼任	講師	裏橋 信夫 <平成30年10月> 博士(工学) 建築生産システム
兼任	講師	高橋 一正 <平成30年4月> 博士(工学) 産業と経済

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平野 章博 <平成30年10月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2
兼任	講師	裏橋 信夫 <平成30年10月> 博士(工学) 建築生産システム
兼任	講師	高橋 一正 <平成30年4月> 博士(工学) 産業と経済
兼任	講師	鎌田 一郎 <平成31年4月> 博士(工学) 海岸・海洋工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水谷 信雄 <平成29年4月> 博士(工学) 建築法規
兼任	講師	置塩 淳夫 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2
兼任	講師	牧 哲史 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計と維持管理
兼任	講師	野中 知秀 <平成29年4月> 博士(工学) 建築生産システム

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水谷 信雄 <平成29年4月> 博士(工学) 建築法規
兼任	講師	置塩 淳夫 <平成29年4月> 博士(工学) 空間設計工学及び演習第2
兼任	講師	牧 哲史 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤施設の設計と維持管理
兼任	講師	野中 知秀 <平成29年4月> 博士(工学) 建築生産システム

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更  
加藤 博和、丸山 一平、森川 高行、勅使川原 正臣、飛田 潤、福和 伸夫、護 雅史、田代 喬、宮脇 勝、古川 忠稔、小松 尚、中井 健太郎、椿 涼太、中村 晋一郎、堀田 典裕、武田 一哉、小林 健太郎

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
奥宮 正哉、加藤 博和、丸山 一平、久野 覚、戸田 祐嗣、森 保宏、西澤 泰彦、谷川 寛樹、中村 光、中野 正樹、勅使川原 正臣、富田 孝史、片山 新太、片木 篤、野田 利弘、護 雅史、宮脇 勝、古川 忠稔、山田 正太郎、小松 尚、中井 健太郎、中村 友昭、長江 拓也、白川 博章、飯塚 悟、尾崎 文宣、平山 修久、齋藤 輝幸、中村 晋一郎、平井 敬、堀田 典裕、高取 千佳、恒川 和久、太幡 英亮  
・以下辞任  
廣畑 幹人、栗田 貴宣、玄 英麗、佐々木 司、山崎 泰司、山本 寛、水谷 信雄、置塩 淳夫、牧 哲史、野中 知秀  
・以下就任  
荒木 慶一、浅井 竜也、岡本 正吾、柿元 祐史、黒田 敏秋、平井 節生、又木 慎治、伊藤 誠、奥村 由美、梶川 しのぶ、久保 久志、宮崎 秀俊、古賀 恵美、黒田 孝次、秋澤 淳、小河 真由美、小室 輝代、森 達博、大田 弘、瀧上 唯夫、中村 武志、田中 不二男、日下部 玲子、鈴木 裕行、古澤 和行、崎谷 浩一郎、平野 章博、裏橋 信夫、高橋 一正  
・以下担当種別及び職名の変更  
田代 喬、恒川 和久、太幡 英亮

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更  
加藤 博和、荒木 慶一、中野 正樹、中井 健太郎、椿 涼太、判治 剛、飯塚 悟、平山 修久、齋藤 輝幸、清水 優、高取 千佳、LELEITO EMANUEL LANGAT  
・以下辞任  
久野 覚、古川 忠稔、山田 正太郎、北根 安雄、黒田 敏秋、川除 達也、池田 哲郎、伊藤 誠、黒田 孝次、黒田 茂、山口 佳一、出村 嘉史、大田 弘、瀧上 唯夫、田村 尚土、Dykes David William、久野 紀光  
・以下就任  
鵜飼 真貴子、笠井 拓哉、干場 大也、関戸 淳二、古川 智康、山中 浩二、春日 昭夫、平澤 興、高木 愛子、武内 淳、阿知波 敏弘、松田 和彦、杉山 映、田中 秀夫、二宮 利治、牧野 章文、栗原 健太郎、鎌田 一郎  
・以下担当種別及び職名の変更  
中村 晋一郎、柿元 祐史

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
20	23	0	17	60	25	16	0	15	56
(24)	(21)	(1)	(12)	(58)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
20	23	0	17	60	20	23	0	17	60
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{60}{60} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{56} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人				必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
				選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」



(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	廣畑 幹人	H30.3	必修	形と力	①	H30.3.31付け他大学教員就任のため辞任(30)
				必修	環境土木工学実習	①	
				必修	構造材料実験Ⅰ	①	
				必修	構造材料実験Ⅱ	①	
				選択	極限強度学	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
				選択	基礎セミナーB	①	
2	准教授	恒川 和久	H30.3	必修	都市と文明の歴史	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任(30)
				必修	空間設計工学及び演習第2	①	
				必修	建築設計及び演習第1	①	
				選択	建築計画第2	①	
				選択	総合設計及び演習第1(計画)	①	
				選択	総合設計及び演習第2	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
3	准教授	太幡 英亮	H30.3	必修	空間設計工学及び演習第1	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任(30)
				選択	空間設計論	①	
				必修	建築設計及び演習第1	①	
				選択	空間設計論	①	
				選択	情報処理及び演習	①	
4	助教	栗田 貴宣	H30.3	必修	環境土木工学実習	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任(30)
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
5	助教	玄 英麗	H30.3	選択	計測技術及び実習	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任(30)
				選択	環境システム設計及び演習	①	
				選択	総合設計及び演習第1(計画)	①	
				選択	総合設計及び演習第1(環境設備)	①	
				選択	総合設計及び演習第2	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
				選択	計測技術及び実習	①	
6	准教授	古川 忠稔	H31.3	必修	応用構造力学及び演習	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				必修	構造・材料実験法	①	
				選択	総合設計及び演習第1(構造)	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
7	准教授	山田 正太郎	H31.3	必修	地盤材料実験	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				選択	数値解析学	①	
				選択	地盤工学	①	
				必修	卒業研究A	①	
				必修	卒業研究B	①	
				選択	防災・減災技術	①	

8	准教授	北根 安雄	H31.3	必修	環境土木工学実習	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)		
				必修	構造材料実験Ⅰ	①			
				必修	構造材料実験Ⅱ	①			
				選択	応用構造力学	①			
				必修	卒業研究A	①			
				必修	卒業研究B	①			
				必修	力学Ⅱ	①			
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
8	人	必修	31 科目	必修	31 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	20 科目	選択	20 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	51 科目	計	51 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
8	人	必修	31 科目	必修	31 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	20 科目	選択	20 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	51 科目	計	51 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{8}{60} = \boxed{13.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	久野 覚	必修	人間活動と環境	①	H31. 3. 31付け65歳で定年退職 (元)			
			選択	計測技術及び実習	①				
			必修	物理環境工学	①				
			必修	人間環境工学	①				
			選択	総合設計及び演習第1 (環境整備)	①				
			必修	卒業研究A	①				
			必修	卒業研究B	①				
			選択	計測技術及び実習	①				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。          なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 環境土木・建築学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。</li> <li>・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会 月1回程度開催:新旧学科・専攻から代表委員が参加。</li> <li>・教授会 年4回程度:講師以上が参加。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務委員会では、教育制度全般(基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価)について検討・改善するための取組を分掌。</li> <li>また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学主催の新任教員研修FDへの参加(本学高等教育研究センターが実施)</li> <li>・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。</li> <li>・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。</li> <li>・教授会での各種説明会の実施。</li> <li>・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。</li> <li>・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。</li> <li>・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。</li> <li>・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等</li> </ul>
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会  
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席  
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席  
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、工学部では、工学を拓くための学力および資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人材を育成することを目的としている。
- その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すため、基礎教育に関して共通部分の多い分野を統合した学科構成に再編（平成29年度から教育組織を改編し、化学生命工学科、物理工学科、マテリアル工学科、電気電子情報工学科、機械・航空宇宙工学科、エネルギー理工学科、環境土木・建築学科の7学科構成）し、遅い年次で専門分野が選択できる基礎を重視し、創成型科目も充実させた教育カリキュラムへの変更を行うことにより、学部及び大学院教育を充実させ、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。
- 今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。
- (1) 学部では、教養科目、基礎科目を総合大学の強みを生かした全学科目として開講し、人間としての素養を含む基礎を教える。続く専門教育では演習を加えた授業形態で応用力をつける。また、創成型科目※を充実させて、総合力、創造力、俯瞰力を涵養し、大学院での学習に繋げる。
- (※ 1年次からの専門系科目を拡大し、専門教育初期の段階から、既存の知識にとらわれず自らの発想に基づいて授業を設計する科目)
- ただし、日本技術者教育認定機構（JABEE）認定プログラムに沿った教育を採用している学科（環境土木・建築学科）においては、それと齟齬のないカリキュラムとする。
- (2) 導入教育として、安全教育、倫理教育、情報セキュリティ教育、知財教育に関するカリキュラムを充実させる。
- (3) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・令和元年10月頃 公表予定
- b 公表方法
- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
  - ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。